

2023 年度

博士課程

Doctoral Program

学生便覧

Student Guide

信州大学大学院総合医理工学研究科

Graduate School of Medicine, Science and Technology

総合理工学専攻

Department of Science and Technology



**SHINSHU
UNIVERSITY**

この学生便覧はあなたが修了するまで適用されます。

本冊子は、研究科のウェブページ（在学生の方へ）に掲載しています。
<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/sogoiriko/students/>

目次

1.	信州大学の理念と目標	4
(1)	信州大学の理念	4
(2)	信州大学の目標	4
2.	総合医理工学研究科の教育・研究の目標	4
3.	「学位授与の方針」(ディプロマポリシー)	5
(1)	信州大学大学院	5
(2)	総合医理工学研究科	5
(3)	総合理工学専攻	5
4.	「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラムポリシー)	5
(1)	信州大学大学院	5
(2)	総合医理工学研究科	6
(3)	総合理工学専攻	7
5.	履修プロセス概念図	8
6.	総合医理工学研究科の構成	9
(1)	医学系専攻 Department of Medical Sciences	9
(2)	総合理工学専攻 Department of Science and Technology	9
(3)	生命医工学専攻 Department of Biomedical Engineering	10
7.	専攻・ユニットの窓口	11
(1)	専攻事務窓口	11
(2)	ユニット事務窓口	11
8.	学修について	13
(1)	修了要件	13
(2)	早期修了	13
(3)	研究指導体制	13
(4)	研究成果の発表	13
9.	在学期間	14
10.	授業の履修について	14
(1)	授業時間・形態	14
(2)	授業日程	14
(3)	授業時間帯	14
(4)	履修方法 Completion Requirements	18
(5)	履修登録手順	20
(6)	研究計画・報告について	21
11.	成績の認定	21
(1)	他研究科(修士課程)・学部の授業科目の履修	21
(2)	他研究科(博士課程)・他の大学院等において履修した単位の取扱い	21
(3)	入学前に修得した単位の取扱い	22
(4)	成績の疑義申し立て	22
12.	他の大学院等における研究指導について	22
13.	社会人学生について	22
14.	長期履修制度	22
15.	学位論文の審査について	23

(1) 学位論文の審査の手続き・スケジュールについて	23
(2) 学位論文の審査体制と学位授与のプロセスについて	24
16. 授与される学位について	24
(1) 学位の種類	24
(2) 学位に付記する専攻分野の名称	24
(3) 学位論文の公表	24
17. 学修関連のシステム・情報	25
(1) ポータルサイト A C S U	25
(2) シラバス	25
(3) 公用掲示板	25
18. 学生生活にあたって	26
19. 身分異動	27
(1) 休学	27
(2) 復学	27
(3) 退学	28
(4) 除籍	28
(5) 再入学	28
(6) 転学	28
(7) 転専攻	28
(8) 留学	29
(9) その他	29
20. 学生証	29
21. 証明書等の発行	30
22. 学生旅客運賃割引証の発行	31
23. 留学生に係る証明書等について	31
(1) 国費外国人留学生証明書	31
(2) 文部科学省外国人留学生学習奨励費受給証明書	31
24. 学研災・学研賠等	31
(1) 学生教育研究災害傷害保険	31
(2) 学研災付帯賠償責任保険	32
(3) 学研災付帯学生生活総合保険（略称：付帯学総）	32
25. 授業料の納付について	32
26. 授業料免除・徴収猶予	33
27. 奨学金・その他の経済的支援	33
(1) 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金	33
(2) 日本学生支援機構以外の奨学金	33
(3) 留学生に対する奨学金等の制度について	33
28. 研究支援	34
(1) 日本学術振興会「特別研究員」	34
(2) 日本学術振興会海外特別研究員制度（日本人学生のみ）	34
(3) 日本学術振興会若手研究者海外挑戦プログラム（日本人学生のみ）	34
(4) その他の研究助成	34
29. 博士人材データベース（JGRAD）	35
30. 一般的な学生生活上の相談について	35
(1) メンタルヘルス相談について	35

(2) 教育問題相談窓口について.....	35
学生相談センター.....	35
ハラスメント相談員.....	36
イコール・パートナーシップ委員会.....	36
31. 就職・キャリア.....	36
32. 図書館.....	36
33. 健康管理.....	37
(1) 健康診断.....	37
(2) 禁煙.....	37
(3) AED（自動体外式除細動器）.....	37
34. 安全管理.....	40
(1) 建物への入棟について.....	40
(2) 駐車場利用について.....	40
(3) 院生研究室・学生ラウンジ等について.....	40
(4) 安全の手引き.....	40
(5) 事件・災害時.....	40
(6) その他.....	41
35. 研究科開設科目一覧.....	42
(1) 必修科目・選択必修科目について.....	42
(2) 大学院共通教育用科目.....	44
(3) 各分野・ユニットの科目一覧.....	44
36. 総合理工学専攻 教員一覧.....	59
37. 規則・規程.....	64

1. 信州大学の理念と目標

(1) 信州大学の理念

信州大学は、信州の豊かな自然、その歴史と文化、人々の営みを大切にします。
信州大学は、その知的資産と活動を通じて、自然環境の保全、人々の福祉向上、産業の育成と活性化に奉仕します。

信州大学は、世界の多様な文化・思想の交わるところであり、それらを理解し受け入れ共に生きる若者を育てます。

信州大学は、自立した個性を大切にします。

信州大学で学び、研究する我々は、その成果を人々の幸福に役立て、人々を傷つけるためには使いません。

(2) 信州大学の目標

信州大学は、その存立の理念に基づき、教育・研究・地域貢献・国際交流において次の目標を掲げます。

(教育)

かけがえのない自然を愛し、人類文化・思想の多様性を受容し、豊かなコミュニケーション能力を持つ教養人であり、自ら具体的な課題を見出しその解決に果敢に挑戦する精神と高度の専門知識・能力を備えた個性を育てます。

(研究)

人類の知のフロンティアを切り拓き、自然との共存のもとに人類社会の持続的発展を目指した独創的研究を推進し、その成果を地域と世界に発信し、若い才能を引きつける研究環境を築きます。

(地域貢献)

信州の自然環境の保全、歴史と文化・伝統の継承・発展、人々の教育・福祉の向上と産業発展の具体的課題に貢献するため、大学を人々に開放し関連各界との緊密な連携・協力を進めます。

(国際交流)

諸外国から学生・研究者を積極的に受け入れ、世界に開かれた大学とし、信州の国際交流の大きい推進力となります。

2. 総合医理工学研究科の教育・研究の目標

本研究科は、本学の教育・研究の理念に基づき、信州の豊かな自然環境のもと、地域に根ざし世界に開かれた大学院として、それぞれの専門分野において社会に資する有為な博士人材を育成するための教育・研究を推進する。

本研究科は、医学、理工学から生命医工学にわたる幅広い学問分野を網羅する利点を生かして、専門研究分野における深い知識・卓越した技能に加えて、専門分野以外の課題を見渡すとともに自身の研究課題の社会的意義を再認識する俯瞰力、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力、専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を見出す応用力と健全な倫理観を兼ね備えた博士人材を養成することを教育・研究の目標とする。

3. 「学位授与の方針」（ディプロマポリシー）

(1) 信州大学大学院

信州大学大学院では、俯瞰力と独創力を備え、持続可能な価値社会を創造する質の高い高度専門職業人や、先端的研究を推進する人材を養成するために、以下のように各課程の学位授与方針を定める。

1. 修士課程にあつては、広い視野に立って精深な学識を持ち、専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を修得している。
2. 博士課程にあつては、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するのに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を修得している。
3. 専門職学位課程にあつては、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を修得している。

(2) 総合医理工学研究科

総合医理工学研究科は、本学の理念と研究科の教育目標に則り、以下の知識と能力・技能等を十分培い、かつ、専攻ごとに定められた学位授与方針に適う知識と能力・技能等を有する学生に「博士」の学位を授与する。

1. 専門分野以外の課題を見渡し自身の研究課題の社会的意義を再認識する俯瞰力。
2. 高度専門職業人・研究者として、科学・技術を発展させるための健全な倫理観。

(3) 総合理工学専攻

総合理工学専攻では、研究科及び専攻の教育目標に則り、以下の知識と能力等を十分培い、かつ、分野・ユニットごとに定められた修了判定基準に適う知識と能力等を有する学生に「博士」の学位を授与する。

1. 理工学系の専門分野における深い知識・卓越した技能。
2. 理工学系分野における課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力。
3. 理工学系の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力。

4. 「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラムポリシー）

(1) 信州大学大学院

大学院課程における教育課程編成の方針

1. 信州大学大学院は、研究科及び専攻の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を自ら開設するとともに、研究指導の計画を策定し、体系的に教育課程を編成します。
2. 信州大学大学院は、教育課程の編成に当たっては、専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力を修得させるとともに、当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養を涵養するよう適切に配慮します。

大学院課程における教育課程実施の方針

1. 信州大学大学院は、専門性の一層の向上を図り幅広い学識を涵養するため、コースワークを充実させ、コースワークから研究指導へ有機的につながる体系的な教育を行います。また、各研究科の「学位授与の方針」に定めた、修了時までには修得すべき知識・能力等がカリキュラム体系のなかでどのように養成されるのかを示すため、シラバスで「学位授与の方針」で

定められた知識・能力等との対応を示し、それら諸能力等を修得するプロセスを履修プロセス概念図で示します。

2. 信州大学大学院は、学生個々人の主体的で活発な勉学意欲を促進する立場から、授業時間外の多様な学修研究機会を通じ、諸課題に積極的に挑戦させます。
3. 信州大学大学院は、成績評価の公正さと透明性を確保するため、成績の評定は、学位授与の方針に基づき各科目に掲げられた授業の狙い・目標に向けた到達度をめやすとして採点します。

【評価方法】

- ・講義科目においては、理解度を見る筆記試験やレポート、参加度により、授業達成目標への到達度を判定します。
 - ・演習、実験、実習、実技科目においては、試験やレポートに加え、参加度や発表内容、実技等を通して、授業達成目標への到達度を判定します。
 - ・授業達成目標への到達度は、可能な限り複数の評価手段によって判定します。
4. 信州大学大学院は、修士課程及び博士課程の学位論文審査体制を充実させ、厳格な審査を行います。

(2) 総合医理工学研究科

総合医理工学研究科は、本学の理念と研究科の教育目標に則り、医学系、理工学系及び生命工学分野の高度専門職業人、研究者に必要とされる専門分野における深い知識・卓越した技能、科学・技術を発展させるための健全な倫理観、専門分野以外の課題を見渡し自身の研究課題の社会的意義を再認識する俯瞰力、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力、専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を見出す応用力を身につけることを目標として、学位論文の作成を中心に、以下のような教育課程編成の方針により、講義、演習、実験並びに実習等からなる専門性の高いカリキュラムを実施する。

1. 本研究科の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設するとともに、研究指導の計画を策定し、体系的に教育課程を編成する。
2. 教育課程の編成に当たり専攻分野に関する深い専門的知識と卓越した技能を修得させるための体系的な教育課程を編成する。
3. 専門分野以外の課題を見渡し自身の研究課題の社会的意義を再認識する俯瞰力を修得させるための研究科共通科目、専門性を高めながら、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力、科学・技術を発展させるための健全な倫理観、専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を見出す応用力を修得させるための専攻共通科目等を開講する。
4. 成績評価の公正さと透明性を確保するため、成績の評定は、学位授与の方針に基づき各科目に掲げられた授業の狙い・目標に向けた到達度をめやすとして採点する。

【評価方法】

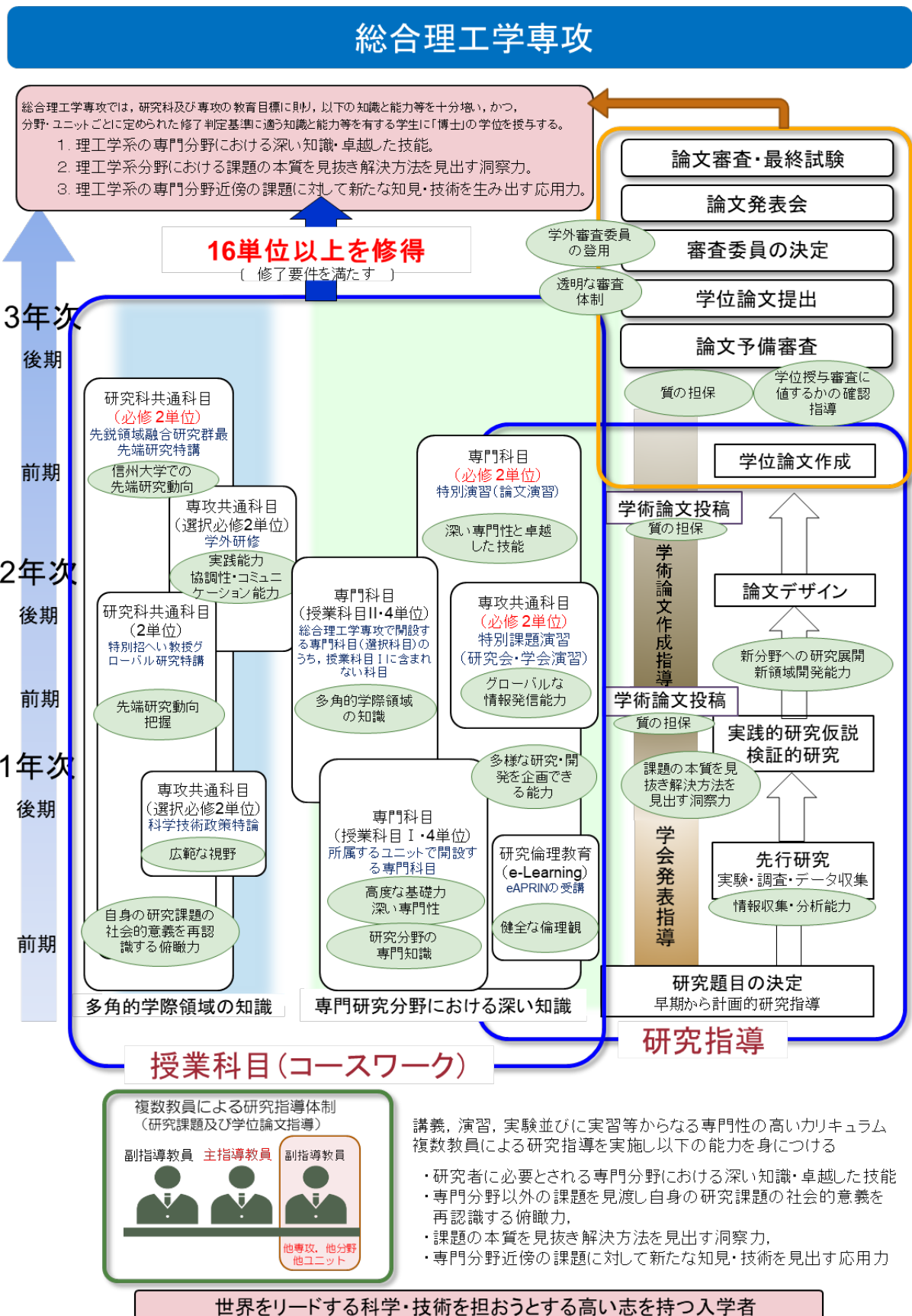
- ・講義科目においては、理解度を見る筆記試験やレポート、参加度により、授業達成目標への到達度を判定する。
 - ・演習、実験、実習、実技科目においては、試験やレポートに加え、参加度や発表内容、実技等を通して、授業達成目標への到達度を判定する。
 - ・授業達成目標への到達度は、可能な限り複数の評価手段によって判定する。
5. 博士学位論文審査体制を充実させ、厳格で透明な論文審査を行い修了判定を実施する。

(3) 総合理工学専攻

総合理工学専攻は、研究科及び専攻の教育目標に則り、理工農学系各分野の高度専門職業人、研究者に必要とされる専門分野における深い知識・卓越した技能、洞察力、応用力を身につけることを目標として、学位論文の作成を中心に、以下のような教育課程編成の方針により、講義、演習、実験並びに実習等からなる専門性の高いカリキュラムを実施する。

1. 本専攻の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設するとともに、研究指導の計画を策定し、コースワークから学位論文作成へ有機的につながる体系的な教育課程を編成する。
2. 教育課程の編成に当たり専攻分野に関する深い専門知識と卓越した技能を修得させるための専門科目を開講する。
3. 高い専門性と総合性のバランスを確保し、洞察力、応用力を修得させるため、本専攻が幅広い学問分野により構成されているという利点を生かして、ユニット・分野を越えた専攻共通科目を開講する。

5. 履修プロセス概念図



6. 総合医理工学研究科の構成

総合医理工学研究科は以下の専攻・分野・ユニット・コースで構成されています。

(1) 医学系専攻 Department of Medical Sciences

分野 Division	ユニット Unit	修業年限 取得できる学位
医学分野 Medical Science Division		4年 博士(医学)
保健学分野 Health Science Division	母子保健学ユニット Child and Women's Health Science Unit	3年 博士(保健学)
	成人保健学ユニット Adult Health Science Unit	
	老年保健学ユニット Geriatric Health Science Unit	
	医療生命科学ユニット Health and Medical Science Unit	

(2) 総合理工学専攻 Department of Science and Technology

分野 Division	ユニット Unit	修業年限 取得できる学位
ファイバー工学分野 Textile Technology Division	バイオフィ이버工学ユニット Biofiber Technology Unit	3年 博士(工学) 博士(農学) 博士(学術)
	フロンティアファイバー工学ユニット Frontier Fiber Technology Unit	
	スマート材料工学ユニット Smart Materials Science and Technology Unit	
	感性・ファッション工学ユニット Kansei and Fashion Engineering Unit	
エネルギー・システム工学分野 Energy and Systems Engineering Division	エネルギー材料・デバイス工学ユニット Energy Materials and Devices Engineering Unit	3年 博士(工学) 博士(学術)
	情報通信システム工学ユニット Information and Communication Systems Engineering Unit	
	機械システム工学ユニット Mechanical Systems Engineering Unit	
物質創成科学分野 Materials Science and Engineering Division	分子機能材料工学ユニット Functional Molecules and Materials Unit	3年 博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)
	物質解析科学ユニット Matter and Spacetime Sciences Unit	
	極限材料工学ユニット High Performance Materials Unit	
	分子基盤科学ユニット Fundamental Molecular Science Unit	
山岳環境科学分野 Mountain and Environmental Science Division	生物・大気・水環境科学ユニット Mountain Environmental Sciences Unit	3年 博士(理学) 博士(農学) 博士(学術)
	地殻環境科学ユニット Crustal Environment Science Unit	
	環境共生学ユニット Environmental Symbiosis Sciences Unit	

生物・生命科学分野 Biological and Agricultural Sciences Division	先端生命科学ユニット Integrated Bioscience Unit	3年 博士(理学) 博士(農学) 博士(学術)
	食品生命科学ユニット Food Science and Biotechnology Unit	
	生物資源科学ユニット Bioresource Science Unit	
数理・社会システム科学分野 Mathematical and Social Systems Science Division	建築環境システム工学ユニット Architectural and Environmental Engineering Unit	3年 博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)
	水環境・土木システム工学ユニット Water Environment and Civil Engineering Unit	
	数理情報システム科学ユニット Mathematical Sciences Unit	

(3) 生命医工学専攻 Department of Biomedical Engineering

分野 Division	コース Course	修業年限 取得できる学位
生命工学分野 Biotechnology Division	4年制コース 4-year course	4年 博士(医学)
	3年制コース 3-year course	3年 博士(医工学)
生体医工学分野 Biomedical Engineering Division	4年制コース 4-year course	4年 博士(医学)
	3年制コース 3-year course	3年 博士(医工学)

なお、総合理工学専攻及び生命医工学専攻の3年制コースでは、専攻横断の博士課程学位プログラム（リーディングプログラム）があります。

7. 専攻・ユニットの窓口

(1) 専攻事務窓口

専攻等	担当事務
研究科全体にかかわること 総合理工学専攻全体にかかわること 生命医工学専攻全体にかかわること	学務部学務課大学院室 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 Tel : 0263-37-2863 Fax : 0263-36-3044
医学系専攻にかかわること	医学部大学院係 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 Tel : 0263-37-3376 Fax : 0263-37-3080

(2) ユニット事務窓口

- ① 松本キャンパス理学部学務グループ
〒390-8621
長野県松本市旭 3-1-1
Tel : 0263-37-2424
Fax : 0263-37-2441
- ② 長野（工学）キャンパス工学部学務グループ（大学院担当）
〒380-8553
長野県長野市若里 4-17-1
Tel : 026-269-5050
Fax : 026-269-5061
- ③ 伊那キャンパス農学部学務グループ（教務）
〒399-4598
長野県上伊那郡南箕輪村 8304
Tel : 0265-77-1308
Fax : 0265-77-1313
- ④ 上田キャンパス繊維学部学務グループ（大学院担当）
〒386-8567
長野県上田市常田 3-15-1
Tel : 0268-21-5304
Fax : 0268-21-5318

分野	ユニット	担当事務
ファイバー工学分野	バイオファイバー工学ユニット	④繊維学部
	フロンティアファイバー工学ユニット	
	スマート材料工学ユニット	
	感性・ファッション工学ユニット	

エネルギー・システム工学分野	エネルギー材料・デバイス工学ユニット	②工学部
	情報通信システム工学ユニット	
	機械システム工学ユニット	
物質創成科学分野	分子機能材料工学ユニット	②工学部
	物質解析科学ユニット	①理学部
	極限材料工学ユニット	④繊維学部
	分子基盤科学ユニット	①理学部
山岳環境科学分野	生物・大気・水環境科学ユニット	①理学部
	地殻環境科学ユニット	
	環境共生学ユニット	③農学部
生物・生命科学分野	先端生命科学ユニット	③農学部
	食品生命科学ユニット	
	生物資源科学ユニット	
数理・社会システム科学分野	建築環境システム工学ユニット	②工学部
	水環境・土木システム工学ユニット	
	数理情報システム科学ユニット	①理学部

8. 学修について

(1) 修了要件

博士課程に3年以上在学し、16単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士課程の目的に応じ、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、研究科が優れた業績を挙げたと認める者については、博士課程に1年以上在学すれば足りるものとします。

(2) 早期修了

ここで「優れた研究業績」とは、以下の条件全てを満たしている必要があります。

ア. 所属分野、ユニットの学位審査基準を満たしていること。

イ. 博士課程在学期間中に研究指導を受け、少なくとも1編の学位論文に関連した筆頭著者（主著者）論文が掲載（掲載予定も含む）されていること

ウ. 博士学位論文に関連した論文も含めた全ての研究業績や実績から、博士課程の修了要件を満たしていると所属ユニット会議において認められた者

(3) 研究指導体制

研究指導は、主指導教員と2名以上の副指導教員（所属する専攻内）の合計3名以上の教員により構成される複数指導体制により実施します。主指導教員とは異なる視点からの指導により、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力、専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を見出す応用力を修得するため、副指導教員の少なくとも1名は専攻内の他分野、又は他ユニット所属の教員が担当します。副指導教員は学生と相談の上、主指導教員が決定します。

学位論文作成にあたっては、指導教員と十分に相談の上、研究課題名を決定するとともに、研究内容、研究方法、並びに研究計画を策定し、複数指導体制のもと、研究計画に従って研究を遂行してください。学位論文審査委員（主査・副査）については、論文提出後に別途決定します。

(4) 研究成果の発表

学位論文の基礎となる原著論文は、学位論文の認定基準を満たすよう、適切な学術雑誌に掲載されることが必要です。指導教員と十分に相談の上、投稿先を選定してください。

粗悪な学術雑誌に一旦投稿してしまうと、不当な掲載料の請求を受けたり、投稿を取り下げて他のしかるべき学術雑誌に再投稿することが困難になるなど、研究活動への大きな支障となります。投稿先の選択は慎重に行う必要があります。安易な選択は、自身の研究成果に疑念を生じさせるだけでなく、大学の評価を傷つけることにも繋がりがかねません。

研究成果を発表する際は、「学位論文審査及び最終試験の評価基準」で定められた学術雑誌であることを記録（例：Journal Citation Reports等の収載情報と確認日等を印刷）し、学位審査が終わるまで保管してください。

9. 在学期間

標準修業年限は3年。在学期間は6年（修業年限の2倍）を超えることができません。

在学期間中にやむを得ない理由があり、引き続き3ヶ月以上修学できない場合、所定の手続きをすれば休学が認められます。休学できる期間は最長3年までです。休学期間は在学期間に算入しません。

各学年12ヶ月在学すると次の学年へ進級します。進級の時期は、各学年における在学期間が12ヶ月を満了した直近の4月または10月です。

10. 授業の履修について

(1) 授業時間・形態

授業は、「講義科目」「演習科目」「実験・実習科目」の3つに区分されます。

「講義科目」については通年又は半期のいずれか30時間をもって2単位とします。

「演習科目」, 「実験・実習科目」については通年又は半期のいずれか60時間をもって2単位とします。

(2) 授業日程

曜日・時限の指定のある授業は、各年度の学年暦に沿って授業を実施します。授業開始日・振替日など確認してください。

集中・不定期の授業科目については、教員が開講日程を決定します。不明な場合は、担当教員にメール等で確認してください。

(3) 授業時間帯

授業時間帯は以下のとおりです。

時限	1	2	3	4	5	6
時間	9:00～ 10:30	10:40～ 12:10	13:00～ 14:30	14:40～ 16:10	16:20～ 17:50	18:00～ 19:30

授業は、行事等のため他の曜日と振替えて行う場合や、休講となる場合があります。キャンパス情報システム等で授業日程・休講情報を常に確認してください。

上記時間帯以外に、集中開講授業・不定期開講授業があります。「授業科目一覧」にて確認してください。

2023年度前期は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、午後の授業開始時刻は13時30分が標準となります。（以下のとおり）

時限	1	2	3	4	5	6
時間	9:00～ 10:30	10:40～ 12:10	13:30～ 15:00	15:10～ 16:40	16:50～ 18:20	18:30～ 20:00

社会人学生においては、学生の希望にあわせ、教員の都合のつく範囲内で、可能な限り柔軟に対応します。

■台風等による休講

台風・大雪等により、授業及び試験の実施が困難又は困難が予測される場合は、休講になる場合があります。キャンパス情報システムのお知らせの掲示やホームページ等で周知しますので、各自確認してください。

■授業の欠席

本学には、いわゆる授業の公欠制度はありません。急病や近親者の葬儀等でやむを得ず授業を休まなければならない場合は、授業担当教員に直接説明してください。

■出席停止

新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ等の学校保健安全法施行規則第 18 条に規定する学校において予防すべき感染症にかかった場合等においては、感染症拡大防止のため、「信州大学における学校保健安全法に基づく出席停止に関する要項」に基づき、「出席停止」となりますので、以下のとおり手続を行ってください。

※感染症に関する問合せ：総合健康安全センター

※授業に係る手続きに関する問合せ：所属するキャンパスの担当係

信州大学における学校保健安全法に基づく出席停止に関する要項	実際の手続
<p>第 1 趣旨</p> <p>この要項は、信州大学の学生が学校保健安全法施行規則第 18 条に規定する学校において予防すべき感染症（以下「感染症」という。）にかかった場合等の授業の出席の取扱いに関し、必要な事項を定める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 学校保健安全法施行規則第 18 条に規定する学校において予防すべき感染症の詳細は、総合健康安全センターのウェブサイト以案内を掲載していますので、参照してください。 <p>URL：https://www.shinshu-u.ac.jp/institution/health/common/docs/common/restrictions.pdf</p>
<p>第 2 出席停止</p> <p>1 学長は、感染症にかかった学生、かかっている疑いがある学生又はかかるおそれのある学生があるときは、授業への出席を停止させることができる。ただし、オンラインで実施する授業への出席について学生が申し出た場合は、これを妨げない。</p> <p>2 出席停止の期間は、学校保健安全法施行規則第 19 条の規定を基準として、総合健康安全センター長が決定し、出席停止の理由とともに学生に通知する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 感染症にかかった又はかかっている疑いがある場合は、ACSU にログインし、「【学生用】感染症等発生・消失報告」メニューから「発生報告」登録を行ってください。 • 登録が完了すると、感染症等報告システムから登録完了メール及び出席停止期間通知（始期）メールが送信されます。 • 登録内容について、総合健康安全センターから電話で聞き取りをする場合がありますので、必ず対応してください。 • 症状が消失したら、再度、「【学生用】感染症等発生・消失報告」メニューから「症状消失」登録を行ってください。出席停止期間（終期）通知メールが送信されます。 • 感染症等報告システムから出席停止の旨をメールで通知された学生は、対面で行われる授業への出席が停止されます。
<p>第 3 感染症にかかった場合等の申告</p> <p>学生は、感染症にかかった場合又はかかっている疑いがある場合は、速やかにその旨を大学に申告しなければならない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 感染症等報告システムから出席停止の旨をメールで通知された学生は、対面で行われる授業への出席が停止されます。

信州大学における学校保健安全法に基づく 出席停止に関する要項	実際の手続
	<ul style="list-style-type: none"> ・体調に支障がなく、オンラインで実施されている授業へ自宅からアクセス可能な場合は、出席しても構いません。 ・<u>出席停止期間中、入院していない場合は、自宅待機してください。感染拡大防止のためサークル活動やアルバイト等も行わないでください。</u>
<p>第4 出席停止期間中の授業の扱い</p> <p>1 出席停止期間中の授業については、欠席扱いとしない。</p> <p>2 出席停止期間が長期間にわたる場合の取扱いについては、その都度当該学生の所属部局及び学生が受講する授業の開講部局間で協議する。</p>	<p>※出席確認システムには出席停止期間は反映されません。</p>
<p>第5 授業担当教員への情報共有</p> <p>学生が出席停止となった場合は、当該学生が履修登録している授業の担当教員に情報共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が出席停止になると、教員が利用するキャンパス情報システムの受講者名簿に出席停止期間が表示されます。
<p>第6 授業担当教員への報告</p> <p>出席停止とされた学生は、第2第2項の通知を示して授業担当教員に出席停止を受けたことを報告する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症等報告システムから送信された出席停止期間が記載されているメールを授業担当教員に転送または印刷して提示することで、出席停止を受けたことを報告し、出席停止期間中の授業の学修の補充について、教員から指示を受けてください。 ・教員への報告は、状況に応じて、出席停止通知後または症状消失後速やかに行ってください。
<p>第7 出席停止とされた学生への配慮義務</p> <p>第6の報告を受けた授業担当教員は、当該学生に対し、レポートやe-Learningの活用等、当該授業の特性に合わせた方策により出席停止期間中の学修を補充する支援を行い、当該学生が履修上不利益とならないように配慮しなければならない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学生から報告を受けた教員は、キャンパス情報システムの受講者名簿に記載されている出席停止期間が学生の申し出と一致するかを確認した上で、学生に対し、出席停止期間中の授業について、レポートやe-Learningの活用等の方策により学修を補充する支援を行います。
<p>第8 試験の取扱い</p> <p>出席停止期間中の試験の取扱いについては、当該授業科目を開講する部局の判断において、追試験の実施やレポート等で対応し、当該学生が履修上不利益とならないように配慮する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当該授業の開講部局で追試験制度が定められている場合には、その手続きに従ってください。追試験制度が定められていない場合には、授業担当教員の指示に従ってください。
<p>附 則 (略)</p> <p>附 則(令和4年11月16日令和4年度要項第5号)</p> <p>この要項は、令和5年4月1日から実施する。</p>	

《感染症等発生・消失報告システムの利用手引》

ACSU ログイン後の画面に表示されるメニュー「【学生用】感染症等発生・消失報告」をクリックします。



※メニューの表示位置は変更となる場合があります。

●症状が発生した場合：

「発生報告」をクリックすると、発生報告の入力画面に移動します。各画面に表示される指示に従って、必要事項を入力してください。登録が完了すると、登録完了画面に注意事項が表示されるので、必ず確認してください。

●発生報告後、症状が無くなった場合：

「消失報告」をクリックすると、消失報告の入力画面に移動します。各画面に表示される指示に従って、必要事項を入力してください。登録が完了すると、登録完了画面に注意事項が表示されるので、必ず確認してください。



※画面に表示されるメッセージは変更される場合があります。

(4) 履修方法 Completion Requirements

授業科目及び単位数は、「信州大学大学院総合医理工学研究科規程」に定めるとおりです。履修方法は次の表のとおりです。

Class subjects and the number of credits for the doctoral program are stipulated in the regulations of the Graduate School of Medicine, Science and Technology. Course requirements are described in the box below.

科目区分 Class Category	授業科目名 Class Name	履修区分 Course Category	必要 単位数 Credits
研究科共通科目 Graduate school common classes	先鋭領域融合研究群最先端研究特講 State-of-the-art research special lecture by Interdisciplinary Cluster for Cutting Edge Research	必修 Compulsory	2単位 2 credits
専攻共通科目 Department common classes	特別課題演習（研究会・学会演習） Special Seminar on Research Subject	必修 Compulsory	2単位 2 credits
専攻共通科目 Department common classes	科学技術政策特論 （2単位，西暦の偶数年度に開講） 学外研修（2単位） 長期インターンシップ（1～2単位） Science and Technology Policy (2 credits, Offered to the even-numbered fiscal year) Training Outside the School (2 credits) Long-term Internship (1-2 credits)	選択必修 Compulsory Elective	2単位 2 credits
専門科目（論文演習） Specialized classes	所属する分野で開設する特別演習（論文演習） Special Seminar offered by the Division to which the student belongs to	必修 Compulsory	2単位 2 credits
専門科目 （授業科目Ⅰ） Specialized classes （Lesson class I）	所属するユニットで開設する専門科目 Specialized classes offered by the Unit to which the student belongs	選択必修 Compulsory Elective	4単位 4 credits
専門科目 （授業科目Ⅱ） Specialized classes （Lesson class II）	所属しないユニットで開設する総合理工学専攻の専門科目 Classes not included in the “Lesson class I” among the Elective Specialized classes offered by the Department of Science and Technology	選択必修 Compulsory Elective	4単位 4 credits
取得単位数の合計が16単位以上とする。 Total number of acquisition credits should be 16 credits or more.			

なお、単位の取得のほかに、全学生に対して、eAPRINの履修、博士論文の審査及び最終試験に合格することを課程修了の必須要件とします。学位論文の申請には、修了に必要な単位を修得していることが条件となります。申請の前学期までに単位を取得するよう計画的に履修してください。

In addition to earn the necessary credits mentioned above, students are required to complete a course of eAPRIN, e-learning program by Association for the Promotion of Research Integrity, have doctoral dissertation review, and pass the final examination for the completion of the doctoral program. To apply for a doctoral dissertation review, students must complete required course credits

beforehand. Please carefully plan to complete your course of study so that you can earn sufficient credits by the semester before you apply.

研究倫理教育について（eAPRIN の履修）

総合医理工学研究科では、研究者・技術者としてのあるべき倫理的行為、してはならない不正行為について等について、世界水準で理解を深め健全な倫理観を身に付けてもらうため、APRIN eラーニングプログラム（eAPRIN）の受講を義務付けています。

以下のコースを、本格的な研究活動に入る前まで（入学して早い時期）に受講してください。

なお、学位論文予備審査の申請には、受講を修了していることが条件となります。

また、単位修得退学する場合も、受講修了を確認します。

受講方法等は、eALPS [総合医理工学研究科_掲示板]を参照してください。

Research ethics education by taking a course of eAPRIN

The Graduate School of Medicine, Science and Technology requires students to take a course of eAPRIN. The e-learning course is design to foster world-class understanding and acquisition of research ethics and help students to learn what is ethical conduct as a researcher/engineer and which unethical conduct should be avoid.

Students should complete the following eAPRIN course soon after their enrollment, before they substantially start research activities at least. Completion of eAPRIN is required for applying for a doctoral preliminary review. The course completion is also required for withdrawing the university without Ph.D. degree.

Please refer to eALPS [総合医理工学研究科_掲示板] for how to take eAPRIN.

「JST コース(2)（理工系）」

「JST Course (2) (Engineering)」

※「責任ある研究行為：基盤編（RCR 理工系）」の必修 7 単元

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1.研究不正 | 5.理工学分野における共同研究 |
| 2.工学研究におけるデータの管理上の倫理問題 | 6.研究者・技術者の社会的責任と告発 |
| 3.責任あるオーサーシップ | 7.公的研究費の取り扱い |
| 4.理工学研究領域の論文発表とピア・レビュー | |

* 7 compulsory credits of “Responsible research activities: Foundation (RCR Science and Technology)”

1. Research Misconduct_RCR-S
2. Ethical Issues in the Management of Data in Engineering Research_RCR-S
3. Responsible Authorship_RCR-S
4. Ethical Issues in the Peer Review and Publication of Engineering Research_RCR-S
5. Collaborative Research in Engineering Fields_RCR-S
6. Whistleblowing and the Obligation of Researchers and Engineers to Protect the Public
7. Managing Public Research Funds_RCR

(5) 履修登録手順

学生は、学期の始めに1年間履修しようとする授業科目を選択し、指定された期日までに履修登録を行います。履修登録には、「履修計画書」の提出と、「キャンパス情報システム」による登録の2つの手続きが必要となります。未登録のまま授業を聴講しても単位は与えられません。

《1年次》

- 「履修計画書」の作成にあたっては、シラバスを確認し、授業担当教員へ履修方法等を確認した上、必ず主指導教員に『副指導教員』及び『履修科目』について相談をし、指導助言を受けてください。（「17(2)シラバス」を参照）
- 1年分の「履修計画書」を作成の上、履修登録締切日までに所属するキャンパスの担当係へ書類を提出してください。

【注意点】

- 主指導教員からは直接署名又は押印をもらう。
- 副指導教員から1年次のみ直接署名又は押印をもらう。
- 授業担当教員へは、メール等にて履修の意志表示を行い、開講時期、履修方法（定期か集中か）等の履修相談及び確認をする。
（授業時間割等が決まっていないので、必ず授業担当教員への確認が必要です。）
- 履修する授業科目（担当教員との調整後）の登録を「キャンパス情報システム」にて行う。（「17(1)ポータルサイトACSUを参照）
- 「先鋭領域融合研究群最先端研究特講」は自動的に登録されているが、「履修計画書」には記載する。
- 履修登録コードが異なっても同じ授業科目は履修できない。

《2年次以降》

- 「履修計画書」の作成にあたっては、シラバスを確認し、授業担当教員へ履修方法等を確認した上、必ず主指導教員に指導助言を受けてください。
- 「履修計画書」を作成の上、履修登録締切日までに、登録を完了し、所属するキャンパスの担当係へ書類を提出してください。

【注意点】

- 主指導教員と相談の上、直接署名又は押印をもらう。
- 副指導教員は変更がない場合、メール等で了解を得て、学生本人が記載する。
（署名等は不要。なお、指導教員を変更する場合は、変更前・変更後のいずれかの教員から所属するキャンパスの担当係へ、指導教員変更願を提出する。）
- 授業担当教員へメール等で履修の意志表示を行い、開講時期、履修方法（定期的か集中か）等の履修相談及び確認をする。
- 履修する授業科目（担当教員との調整後）の登録を「キャンパス情報システム」にて行う。
- 履修登録コードが異なっても同じ授業科目は履修できない。
- 不合格となった授業科目については再履修してもよいが、一度合格した授業科目の再履修は認められない。

- 研究科で開設する授業科目名等は、「開設科目一覧」（42 ページ～）を参照してください。
- 履修登録に関して不明な点があるときは、所属するキャンパスの担当係に相談して指示を受けてください。

(6) 研究計画・報告について

学生は、研究計画及び報告について指導教員の面談等を受け、記録に残します。

研究計画書・報告書の様式・提出先等は、キャンパス毎に異なりますので、所属するキャンパスの担当係に確認してください。

11. 成績の認定

授業科目の試験は、学期末又は学年末に筆記試験、口頭試問、研究報告書等によって行い、その合否は、当該科目担当教員が決定します。

各授業科目の試験又は研究報告等の成績は、秀、優、良、可及び不可をもって表わし、秀、優、良、可を合格とし、不可を不合格とします。

試験に合格した者には、所定の単位を与えます。

信州大学成績評価基準は、下記のとおりです。

	評語	評点	評価の基準
合格	秀 (S)	90-100	授業の達成目標から見て卓越している
	優 (A)	80-89	授業の達成目標から見て合格水準のかなり上にある
	良 (B)	70-79	授業の達成目標から見て合格水準のやや上にある
	可 (C)	60-69	授業の達成目標から見て合格水準にある
不合格	不可 (D)	50-59	授業の達成目標から見て合格水準に少し足りない
	不可 (F)	0-49	授業の達成目標から見て合格水準に届いていない

(1) 他研究科（修士課程）・学部の授業科目の履修

（総合医理工学研究科規程第9条第4項、第10条）

指導教員が特に必要と認めるときは、修士課程・学士課程等の講義科目を履修することができます。ただし、修了に必要な単位に算入できません。

(2) 他研究科（博士課程）・他の大学院等において履修した単位の取扱い

（総合医理工学研究科規程第10条、11条、11条の2）

教育上有益と認められ許可されたときに限り、他の大学院等又は信州大学大学院の他の研究科において修得した単位は8単位を超えない範囲で、大学院における課程の修了に必要な単位に算入することができます〔別途手続きが必要〕。手続きについては所属するキャンパスの担当係に相談してください。

(3) 入学前に修得した単位の取扱い

(総合医理工学研究科規程第 13 条)

本研究科が教育上有益と認めるときは、学生が入学前に修得した単位について、修了に必要な単位として算入することができます。所定の「入学前既修得単位認定申請書」に必要な書類を添えて、入学直後の履修登録締切日までに所属するキャンパスの担当係へ提出してください。

(4) 成績の疑義申し立て

成績に疑義がある場合は、根拠（シラバスの記載と違う評価である等）を持って、成績開示後 1 週間以内に、各キャンパス窓口若しくは大学院室へメールで申し出てください。

12. 他の大学院等における研究指導について

(総合医理工学研究科規程第 12 条)

教育上有益と認められた場合には、他の大学院や研究所等又は外国の大学院や研究所等で、特定の課題について研究指導を受けることができます〔別途手続きが必要〕。手続きについては所属するキャンパスの担当係に相談してください。

13. 社会人学生について

〔大学院設置基準に定める教育方法の特例による教育〕

近年、大学院における社会人研究者、教員及び技術者等の再教育への要望が高まっていますが、通常の教育方法のみで大学院教育を実施した場合、社会人は最低 3 年間その勤務を離れて就学することが必要であるため、大学院教育を受ける機会が制約されがちです。

このため、大学院設置基準に「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定されて、社会人の就学に配慮がなされています。

これらを踏まえ、本研究科では、大学院での履修を希望する社会人研究者、教員及び技術者等に対し、大学院設置基準に定める教育方法の特例による教育を実施します。

ア. 開設時間

指導教員の承認を得て、授業及び研究指導の一部を夜間及び特定の時期に受講することができます。その時間帯は、原則として、平日は夜間の 18 時から 19 時 30 分までの間、土曜日は 9 時から 16 時 10 分までの間を予定しています。

イ. 履修計画

入学年度の当初に、指導教員の指導のもとに 3 年間を見通した履修計画をたてることを原則とするものとします。

14. 長期履修制度

(総合医理工学研究科規程第 14 条参照)

職業を有している社会人学生を対象に、計画的な長期履修による修学の便宜を図るため、申請に基づき大学が審査し、最長 6 年間の修業年限で在学し計画的に課程を修了することにより学位の取得を認める制度です。入学後に長期履修制度を申請する場合は、1 年次終了の 2 か月前までに研究科長宛に申請する必要があります。長期履修が認められた以降の授業料

年額は、標準修業年数（3年間）の総額を基本とし、これを申請された総在学期間（最長6年間）で除して得た額となりますが、1年目に支払われた授業料が差し引かれるものではありませんのでご留意ください。希望者は、事前に指導教員に照会してください。

15. 学位論文の審査について

学位論文の審査は年2回学期毎に行われます。学位論文の審査は、専攻が定める出願期間内に出願を行う必要があります。

学位論文の審査には、予備審査と学位論文審査（本審査）があります。本審査を受けるには、予備審査に合格することが条件となります。

学位論文の作成に必要な手順をまとめた作成要領や申請書類は、研究科 Web サイトに掲載しています。作成要領や申請書類を確認して、学位論文の作成から学位授与後のインターネット公開まで必要な手順を行ってください。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/sogoiriko/students/degree.html>

(1) 学位論文の審査の手続き・スケジュールについて

学位論文の審査に係る手続きの大まかなフローは以下のとおりです。日程の詳細は申請希望者にお知らせします。（丸数字は学生が行うものです。）

「②学位論文等本審査書類の提出」までに、修了に必要な単位を修得していること及び所属分野、ユニットの学位審査基準を満たしている必要があります。

手続き等	3月修了	9月修了
①予備審査願等の書類提出	11月初旬	5月初旬
予備審査委員会における審査	11月初旬～ 11月下旬	5月初旬～ 6月初旬
ユニット会議による審議・承認	11月下旬	6月初旬
②学位論文等本審査書類の提出	1月上旬	7月上旬
学位論文審査委員会における審査	1月中旬～ 2月初旬	7月中旬～ 8月初旬
③学位論文発表会・最終試験	1月下旬～ 2月初旬	7月下旬～ 8月初旬
学位論文審査委員会における審査結果報告	2月初旬	8月初旬
専攻会議による審議・承認	2月中旬	8月下旬
総合理工学委員会による審議・承認	2月下旬	8月下旬
学位授与の決定発表	3月上旬	9月上旬
④博士論文・審査結果要旨等提出	3月中旬	9月中旬
博士学位論文機関リポジトリ登録申請書提出	//	//
⑤学位授与式	3月下旬	9月下旬
インターネットによる公表	学位授与から1年以内	

(2) 学位論文の審査体制と学位授与のプロセスについて

予備審査は、主指導教員と2名以上の主指導教員以外の教員の合計3名以上による予備審査委員会を設置し、審査を行います。本審査は、審査委員長（主査）と3名以上の審査委員（副査）の合計4名以上による学位審査委員会を研究科内に設置します。学位審査委員会においては、本学以外の大学等教育研究機関の外部審査委員を審査委員（副査）として少なくとも1名加えることにより、厳格な学位審査を行います。

所定の期間在学し、所定の単位を修得し、本専攻の人材養成目的に適う、研究科及び所属する専攻・分野毎の学位授与方針に定めた知識・能力・技能等を身に付けた上で、学位審査委員会による学位論文の審査及び最終試験に合格することが課程修了の必須条件となっています。この条件を満たした学生に対して、最終的に研究科委員会が学位授与を決定します。

16. 授与される学位について

(1) 学位の種類

（信州大学学位規程第2条第2項）

課程博士（甲）

本総合医理工学研究科の博士課程に入学して、複数の指導教員の指導の下で研究を行い、在籍期間中に博士論文を提出した者に授与される学位です。

論文博士（乙）

本学に学位論文を提出し、博士論文審査に合格し、かつ、大学院の博士課程を修了したものと同等以上の学力があると認定された者に授与される学位です。

修了に必要な単位を修得して退学（単位修得退学）した後に学位論文を提出し、学位を授与された場合が該当します。

(2) 学位に付記する専攻分野の名称

学位審査にあたり学生の履修・研究内容や学位論文の内容を審査した上で、学位の分野を決定します。なお、学生の履修や研究にあたっては、指導教員と学生が十分に相談の上、履修科目、研究課題名、研究内容、研究方法、並びに研究計画を策定してください。各分野で博士の学位に付記する専攻分野の名称は、以下のとおりです。

ファイバー工学分野	博士（工学）、博士（農学）、博士（学術）
エネルギー・システム工学分野	博士（工学）、博士（学術）
物質創成科学分野	博士（理学）、博士（工学）、博士（学術）
山岳環境科学分野	博士（理学）、博士（農学）、博士（学術）
生物・生命科学分野	博士（農学）、博士（理学）、博士（学術）
数理・社会システム科学分野	博士（理学）、博士（工学）、博士（学術）

(3) 学位論文の公表

公表された論文は、信州大学機関リポジトリに掲載されます。

学術情報オンラインシステム SOAR（機関リポジトリ）

<https://soar-ir.repo.nii.ac.jp/?lang=japanese>

17. 学修関連のシステム・情報

(1) ポータルサイト ACSU

ACSU は、信州大学の学生・教職員が利用するポータルサイトで、各種学内システムに SSO(シングルサインオン)することができます。また、大学の情報システムやネットワークに関するお知らせが掲載されるサイトです。

ACSU からネットワークに接続し、メール・キャンパス情報システム・eALPS などを確認ください。

ポータルサイト ACSU

<https://acsu.shinshu-u.ac.jp/ActiveCampus/>

Gmail (大学のメールシステム)

信州大学メール (@shinshu-u.ac.jp) はポータルサイト ACSU からログインして利用することができます。メールアドレス、ログインアカウント・パスワードは入学時に配布しています。パスワードを忘れた場合は、本人確認のため学生証を持参の上、所属するキャンパスの学務担当窓口で「ログインパスワードの初期化」を依頼してください。初期パスワードは、入学時に配布された「信州大学 学生氏名等確認/アカウント通知書」に記載されています。

キャンパス情報システム

キャンパス情報システムでは、履修登録、授業に関する情報や成績の閲覧、大学からの連絡、信州大学に求人があったアルバイト情報の確認ができます。このシステムにより、時間と場所に限定されず、様々な情報の入手が可能です。ただし、すべての情報が掲載されているわけではありませんので、所属するキャンパスの公用掲示板も合わせて必ず確認してください。

eALPS (e-Learning システム)

eALPS では、授業に関する情報の閲覧、授業で課されたレポートの提出ができます。特に、「35 研究科開設科目一覧」にある研究科共通科目や専攻共通科目の一部の授業科目の中には、この eALPS により、授業の開講日、教室、担当教員に関する情報、レポート提出に関する情報などが掲載されますので、確認するようにしてください。

ポータルサイト ACSU にログイン後、メニュー「eALPS」からアクセスしてください。

(2) シラバス

授業科目の概要・授業計画・履修上の注意・教員への質問の方法等が記載されています。履修する授業はシラバスをよく読んでください。

信州大学シラバス検索システム

<https://campus-3.shinshu-u.ac.jp/syllabusj/Top>

(3) 公用掲示板

各キャンパスに掲示板が設置されており、大学からの通知を掲示しています。

毎日、登校・下校の2回は見て確認する習慣をつけてください。

18. 学生生活にあたって

次のような場合には、各種届書を所属するキャンパスの担当係に提出してください。期日までに提出がないと手続きが間に合わず、不利益がある場合があります。所属するキャンパスの担当係に早めに相談してください。提出方法については、27ページの「19.身分異動」も参照してください。

- 休学をするとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・「休学願」
- 許可された休学期間の満了により復学するとき・・「復学届」
- 許可された休学期間の途中で復学するとき・・・・・「復学願」
- 休学を延長するとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・「休学期間延長願」
- 外国の大学院に留学するとき・・・・・・・・・・・・・「留学願」
- 転専攻したいとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・「転専攻等願」
- 退学するとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・「退学願」
- 長期履修を希望するとき・・・・・・・・・・・・・・・・・「長期にわたる教育課程の履修申請書」
- 休学に伴う長期履修期間を変更するとき
・・・・・・・・・・「休学に伴う長期にわたる教育課程の履修計画変更申請書」
- 他大学で授業科目を履修するとき・・・・・・・・・・・・・「特別聴講派遣学生願」
- // が終了したとき・・・・・・・・・・「特別聴講派遣学生履修報告書」
- 他大学において研究指導を受けるとき・・・・・・・・・・・・・「履修願」又は「留学願」
- // が終了したとき・・・・・・・・・・「研究成果報告書」
- 本人の現住所変更・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・「住所等変更届」
- 緊急連絡先の変更があったとき・・・・・・・・・・・・・「緊急連絡先変更届」
- 学生証を紛失したとき等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・「学生証再発行願」
- 改姓（改名）するとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・「改姓（名）届」
- 授業料振替口座の変更・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・「預金口座振替依頼書」
- 海外へ渡航するとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・「海外渡航届」
- 在籍中に就職，退職及び転職するとき・・・・・・・・・・・・・「就職等届」
- 指導教員を変更するとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・「指導教員変更願」

19. 身分異動

休学、復学、休学延長及び退学のように学籍に関わる身分の異動を希望する者は、原則1ヶ月前までに所属するキャンパスの担当係へ申請してください。

申請する前に、指導教員及び保証人（親等）と十分に相談し、承諾を得てください。申請期限に間に合わない等、その他不明な点は、早めに担当係へ相談してください。

(1) 休学

（大学院学則第48条）

在学中に病気その他の理由で引き続き3か月以上修学することができない場合は、所定の「休学願」に必要な事項を記入し、指導教員の署名の上、所属するキャンパスの担当係に提出してください（病気を理由とする場合は医師の診断書が必要です）。研究科長の承認を得た上で、休学が許可されます。

なお、下記以外の理由では休学は許可されないの注意してください。

理由	必要事項
病気のため	願に加療期間が明記された医師の診断書を添付
経済的理由のため	願の申し立て欄に詳細な事由を記載
留学のため〔大学との交流協定によるものは除く〕	留学先の入学許可書等を添付
公共的な事業に参加するため〔国又は地方公共団体等の求めによる場合〕	願の申し立て欄に詳細な事由を記載
上記の事項と同等以上の事情のため （例：業務多忙のため（社会人学生）etc）	願の申し立て欄に詳細な事由を記載

注意事項

1. 1回の申請により休学できる期間は、1年以内です。
2. 休学は通算して36カ月（3年）を超えることはできません。
3. 休学期間は在学年数に算入しません。
4. 休学を開始する学期の4月末日又は10月末日までに休学が許可された場合は、当該学期の休学許可期間の授業料は免除されます（5月又は11月に休学を申請し許可された場合は、当該学期の休学許可期間の授業料は免除されませんのでご注意ください）。
5. 休学しようとするときは、授業料の納入、休学・復学の時期に関連する授業科目の履修や在学期間の観点から問題が生じないように、事前に所属するキャンパスの担当係に相談してください。
6. 日本学生支援機構奨学金の貸与を受けている者は、「休学願」と併せ、「異動願（届）」の提出が必要です。
7. 長期履修の許可を受けている者は、「休学願」と併せ、「休学に伴う長期にわたる教育課程の履修計画変更申請書」の提出が必要です。

(2) 復学

（大学院学則第50条）

休学を許可された学生は、休学期間が満了となる際に、所定の「復学届」に必要な事項を記入し、所属するキャンパスの担当係に提出してください。

休学中に、その事由が消滅した場合は休学許可された期間を繰り上げて、復学することができます。所定の「復学願」に必要な事項を記入し、指導教員の署名の上、所属するキャンパ

スの担当係に提出してください。研究科長の承認を得た上で復学することができます。日本学生支援機構奨学金が休止中の者は、「異動願(届)」の提出が必要です。

(3) 退 学

(大学院学則第 53 条)

退学する場合は、所定の「退学願」に必要事項を記入し、指導教員の署名の上、所属するキャンパスの担当係に提出してください。学長の承認を得た上で、退学が許可されます。

注意事項

1. 退学しようとするときは、事前に指導教員・所属するキャンパスの担当係まで相談してください。
2. 退学希望期日に属する学期の授業料を完納しなければ、退学は許可されません。
3. 日本学生支援機構奨学金の貸与を受けている者は、「異動願(届)」及び「リレー口座預金口座振替依頼書(写)」の提出が必要です。

(4) 除 籍

(大学院学則第 54 条)

以下の事由に該当する者は除籍となります。

1. 授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しなかったとき
2. 疾病その他の理由により成業の見込がないと認められたとき
3. 在学期間を超えて、なお所定の課程を修了できないとき
4. 休学期間が3年を超え、なお就学できないとき
5. 入学料の免除又は徴収猶予を申請した者のうち、免除若しくは徴収猶予が許可されなかった者又はその一部の免除を許可された者が、納付すべき入学料を所定の期日までに納付しなかったとき
6. 入学料の徴収猶予を許可された者が、納付すべき入学料を所定の期日までに納付しなかったとき

(5) 再入学

(大学院学則第 24 条)

本研究科を退学した者で、本研究科に再び入学することを志願する者は、選考の上、本研究科の相当年次に入学が許可されます。再入学を希望する場合は、事前に所属するキャンパスの担当係に相談してください。

(6) 転 学

(大学院学則第 51 条)

他の大学の大学院に転学を希望する学生は、所定の「転学願」に必要事項を記入し、指導教員の署名の上、所属するキャンパスの担当係に提出してください。

(7) 転専攻

(大学院学則第 26 条第 2 項)

他の専攻等に移籍を希望する学生は、事前に指導教員等と十分に相談の上、所定の「転専攻等願」に必要事項を記入し、指導教員の署名の上、所属するキャンパスの担当係に提出してください。

(8) 留 学

(大学院学則第 52 条)

外国の大学の大学院に留学し、教育を受ける場合は、所定の「留学願」に指導教員の署名の上、所属するキャンパスの担当係に提出してください。学長の承認を受け、留学することができます。

(9) その他

住所変更等の届出

本人又は保証人の住所・電話番号等に変更があった場合は、キャンパス情報システムから変更登録をしてください。変更登録を怠ると、大学からの緊急時の連絡がとれず修学に支障をきたす など不利益になる場合があります。

海外渡航の届出

海外へ渡航する場合は、渡航前に、ACSU ログイン後、メニュー内にある「海外渡航届／一時帰国・出国届」から「海外渡航届」を提出してください。

個人旅行等、全ての海外渡航が対象となります。

緊急時の連絡に必要となります。

在籍中に就職，退職及び転職する場合

学生（一般選抜）が在学のまま、各種研究機関，教育機関，企業等の研究者又は技術者として就職，退職及び転職する場合は、所属するキャンパスの担当係に所定の「就職等届」を提出してください。

指導教員を変更する場合

指導教員を変更する場合は、変更前・変更後のいずれかの教員から所属するキャンパスの担当係へ、所定の「指導教員変更願」を提出してください。

上記以外で、身分等に変更があった場合には、所属するキャンパスの担当係に所定様式により、届け出てください。不明な点は所属するキャンパスの担当係に相談ください。

20. 学生証

学生のみなさんには、入学と同時に学生証が配付されます。この学生証は、本学の学生としての身分を証明するものですので、汚損や紛失などがないように注意し、常に携帯してください。

- 学生証の有効期間は、3年です。
留年・長期履修学生等で有効期限を延長したい場合は指導教員の所属するキャンパスの担当係に願い出てください。
- 修了，退学，除籍等により学生の身分を失ったときは直ちに学生証を返還しなければなりません。
- 紛失や盗難にあったとき，汚損等により使用不能となったときは，速やかに所属するキャンパスの担当係へ願い出てください。

- ・学生証の有効期間を経過したとき、紛失等に係る学生証が見つかったとき、その他新たな学生証の交付を受けているときは、旧の学生証は無効で使用できません。直ちに旧の学生証を返還してください。

21. 証明書等の発行

◎在学生の場Ⓕ

「在学証明書」、**「成績証明書」**、**「修了見込証明書」**、**「健康診断証明書」**、**「学生旅客運賃割引証（学割証）」**

各キャンパスにある証明書発行機により交付されます。学生証を持参し発行機画面の案内に従って手続きをすれば、すぐに発行されます。

なお、「修了見込証明書」は、学位論文予備審査の申請後に発行が可能となります。学位論文予備審査の申請前に必要な場合は、所属するキャンパスの担当係へ申請してください。

◇ 証明書発行機の稼働日・時間

平日 8:30～17:15（土日祝日は利用できません。）

「通学証明書（和文のみ）」、**「国費外国人留学生証明書」**、その他の証明書

所属するキャンパスの担当係へ申し出てください。即日発行はできませんので、2週間程度の余裕をもって申請してください。

◎修了生・退学者の場合

「修了証明書」、**「成績証明書」**、その他の証明書

所属するキャンパスの担当係にて発行手続きを行います。所定用紙に記入の上、郵送で発行申請をしてください。即日発行はできませんので、2週間程度の余裕をもって申請してください。

各キャンパスの申請様式

松本キャンパス <https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/science/alumni/certificate.php>

長野（工学）キャンパス <https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/certificate/>

上田キャンパス <http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/alumni/certificate.html>

伊那キャンパス <http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/certificate/>

本人確認について

証明書交付の際、個人情報保護の観点から、本人確認を行っておりますので、ご協力をお願いします。

○窓口での請求

本人確認ができる書類（学生証・運転免許証等）の提示を求められることがあります。

○郵送による請求

証明書発行申請書に本人確認ができる書類の写しを添付の上、申請ください。

○本人による申請が難しいときは、代理申請することができます。詳細は所属するキャンパスの担当係に問い合わせてください。

証明書の発行手数料

無料（2023年4月1日現在）

22. 学生旅客運賃割引証の発行

学割証（正規生のみ発行できます。）

学割証はJRの乗車区間が片道で100kmを超えるとときに利用できます。学割証の発行枚数は1日2枚、有効期間は発行の日から3カ月間です。年間1人当たり15枚まで発行機を利用して発行できますが、やむを得ない事情の場合は、担当係に相談ください。

通学定期券の購入について（正規生のみ購入できます。）

自宅と所属するキャンパスの最寄り駅までの通学定期券は、学生証の提示により購入することができますが、一部のバス会社等では購入できない場合があります。この場合は通学証明書を発行しますので、所属するキャンパスの担当係に申し出てください。

23. 留学生に係る証明書等について

(1) 国費外国人留学生証明書

国費外国人留学生が、ビザの更新時や、宿舍の賃貸借契約締結の際、奨学金の受給状況についての証明が必要な場合に発行します。所属するキャンパスの担当係に申し出てください。

(2) 文部科学省外国人留学生学習奨励費受給証明書

学習奨励費受給者が、ビザの更新時や、宿舍の賃貸借契約締結の際、学習奨励費の受給状況についての証明が必要な場合に発行します。所属するキャンパスの担当係に申し出てください。

24. 学研災・学研賠等

本学では、万一の事故に備え、全ての学生に対し、日本国際教育支援協会の「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」、「学研災付帯賠償責任保険（学研賠）」に加入することを原則としています。

入学する際、標準修業年限（3年）の期間について加入してください。加入期間満了日以降も本学学生として在学する場合は、再加入する必要があります。

休学等の身分異動が生じた際は、所定の手続きが必要となります（保険の適用範囲などが変動する場合があります。詳細はキャンパスの担当係に問い合わせください）。また、万一、事故や傷害が発生した場合は、直ちに所属するキャンパスの担当係に報告するとともに、所定の様式を請求し、届けを提出することが必要です。

(1) 学生教育研究災害傷害保険

学生が教育研究活動中、通学途中・課外活動中に不慮の事故により負傷・後遺障害あるいは死亡といった災害を被った場合、治療費等の経済的負担を軽減するもの。

(2) 学研災付帯賠償責任保険

学生が正課、学校行事、およびその往復途中で、他人にケガを負わせた場合、他人の財物を破損した場合等により被る法律上の損害賠償を補償するもの。

(3) 学研災付帯学生生活総合保険（略称：付帯学総）

日常生活でのケガや病気の補償など、学研災及び学研賠では補えない日常生活でのケガや病気等の治療実費の支払い、またクラブ活動中の賠償など学生生活をより広くカバーした補償内容です。付帯学総単独での加入はできませんので、学研災と併せて加入ください。

なお、窓口は東京海上日動火災保険（株）となります。

25. 授業料の納付について

授業料の額

年額 535,800円（2023年度の額）

※授業料が改訂された際は、改訂後の額が適用されます。

授業料の納付方法

1. 授業料の年額のうち半期分を前・後期毎に納付いただきます。
2. 授業料は、原則として登録された預金口座からの引き落としとなります。
3. 預金口座からの引き落としを行うため、「預金口座振替依頼書・自動払込利用申込書」による届出が必要です。また、預金口座を変更する場合も同様の届出が必要です。
4. 「預金口座振替依頼書・自動払込利用申込書」が必要な方は、所属するキャンパスの会計係に請求してください。
5. 預金口座からの引き落としによらず、本学が指定する金融機関の口座へ振込により授業料を納付することもできます。希望する場合は、所属するキャンパスの会計係まで申し出てください。ただし、振込手数料は自己負担となります。
6. 前期分授業料納付の際、後期分授業料も併せ、一括して納付することもできますので、希望する場合は所属するキャンパスの会計係に申し出てください。
7. いったん納付された授業料は原則として返還できません。

納付時期

1. 授業料の預金口座からの引き落とし日は、前期分は5月26日、後期分は11月26日（当該日が金融機関の休日の場合は翌営業日）です。授業料の引き落としを行う預金口座に授業料相当額を引き落とし日の前日までに用意してください。預金残高不足等の理由により、預金口座からの引き落としができなかった場合は、翌月の26日（当該日が金融機関の休日の場合は翌営業日）に再度引き落としを行います。
2. 納付期限までに授業料を納付しない者は、学則の定めにより除籍されます。
3. 授業料未納の場合は、修了・休学・退学等の身分異動は認められません。

26. 授業料免除・徴収猶予

授業料免除の対象者

1. 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者
2. 授業料の各期の納期前6か月以内において、学生の学資を主として負担している学資負担者が死亡し又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が著しく困難であると認められる者
3. その他上記2に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある者

授業料徴収猶予の対象者

1. 経済的理由により納付すべき時期までに授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀であると認められる場合
2. 学生又は学資負担者が災害を受け、授業料の納付が困難であると認められる場合
3. その他やむを得ない事情があると認められる場合

手続き

授業料免除を希望する学生は、申請書類に必要事項を記入の上、添付書類を添えて期限までに所属するキャンパスの担当係へ申請してください。

信州大学学生総合支援センター（授業料）

https://www.shinshu-u.ac.jp/campus_life/studentsupport/scholarship/exemption.html

27. 奨学金・その他の経済的支援

学業・人物ともに優秀で、学資の支弁が困難と認められる学生に対し奨学金等が給付・貸与されます。募集等の連絡は、キャンパス情報システムで行ないます。

(1) 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金

奨学金を希望する学生は大学を通じて募集期間内に手続きしてください。家計に急激な変化が生じた学生は、随時対応となります。担当窓口へ相談してください。

日本学生支援機構 <https://www.jasso.go.jp/>

(2) 日本学生支援機構以外の奨学金

地方公共団体の奨学金を希望する場合は、各自でそれらの団体へ問い合わせてください。民間財団奨学金は大きく2種類に分けられ、大学推薦が必要な奨学金（大学推薦型）と大学推薦の必要のない、直接応募できる奨学金（直接応募型）があります。詳細は所属するキャンパスの奨学金担当に相談してください。

信州大学学生総合支援センター（奨学金）

https://www.shinshu-u.ac.jp/campus_life/studentsupport/scholarship/private.html

(3) 留学生に対する奨学金等の制度について

留学生受入れ促進プログラム（旧文部科学省外国人留学生学習奨励費給付制度）

日本学生支援機構では、我が国の大学等に在籍する私費外国人留学生等で、学業、人物ともに優秀かつ経済的理由により修業が困難である者に対する支援を実施しています。

日本学生支援機構

https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/scholarships/shoureihi/index.html

28. 研究支援

(1) 日本学術振興会「特別研究員」

優れた若手研究者が、その研究生活の初期において、自由な発想のもとに、主体的に研究課題等を選びながら、我が国の学術研究の将来を担う独創性豊かな研究者として育成されるべく、特別研究員として採用されるものです。また、特別研究員は、研究奨励金を支給されるとともに研究費（科学研究費補助金）を交付され、大学等において学術研究に専念する機会が与えられます。

人文・社会科学及び自然科学分野

DC1（採用期間：3年間）

採用年度の4月1日現在、原則として、次のいずれかに該当する者（外国人も含む）

1. 一貫制の博士課程第3年次に在学する者
2. 後期3年の課程のみの博士課程第1年次に在学する者
※博士課程後期等への進学予定者を含む

DC2（採用期間：2年間）

採用年度の4月1日現在、原則として、次のいずれかに該当する者（外国人も含む）

1. 一貫制の博士課程第4年次以上の年次に在学する者
2. 後期3年の課程のみの博士課程第2年次以上の年次に在学する者

研究奨励金：月額 200,000円（2023年度の支給予定額）

科学研究費補助金(特別研究員奨励費)：毎年度 150万円以内

日本学術振興会（JSPS）

<https://www.jsps.go.jp/j-pd/>

(2) 日本学術振興会海外特別研究員制度（日本人学生のみ）

制度概要：

我が国の学術の将来を担う国際的視野に富む有能な研究者が、海外の大学等研究機関において、長期間研究に専念できるよう、研究費を支援する制度です。なお、本募集は、大学等に所属する常勤研究者、又は常勤研究者を志望する者が対象です。

(3) 日本学術振興会若手研究者海外挑戦プログラム（日本人学生のみ）

制度概要：

海外という新たな環境へ挑戦し、3か月～1年程度海外の研究者と共同して研究に従事する機会を提供することを通じて、将来国際的な活躍が期待できる豊かな経験を持ち合わせた優秀な博士後期課程学生等の育成に寄与するための制度です。

(4) その他の研究助成

その他の研究助成については信州大学研究推進部 研究推進ガイドや所属学会の公募情報などを確認ください。

信州大学研究推進部 研究推進ガイド（学内限定）

https://www.shinshu-u.ac.jp/research_guides/

29. 博士人材データベース (JGRAD)

博士人材は、科学技術によるイノベーション促進の担い手として、社会での活躍が産学官より期待されているところです。文部科学省 科学技術・学術政策研究所 (NISTEP) は、文部科学省の国立試験研究機関であり、社会における博士人材の活躍状況を幅広く把握するため、博士課程修了者の属性や、修了後の継続的なキャリアを追跡する情報基盤として、博士人材データベース (JGRAD) の構築を進めています。JGRAD により、博士人材の研究活動や職業等の現況を把握するとともに、各種調査、分析等を行い、博士人材がより一層社会で活躍するための様々な政策立案に役立てていきます。

現在は、本学を含む 50 大学程が参加しています。

本趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

<https://jgrad.nistep.go.jp/home.html>

30. 一般的な学生生活上の相談について

学生生活上の一般的な相談は、各キャンパスの担当係で受け付けています。

(1) メンタルヘルス相談について

学生生活を送るにあたって、対人関係、自分の性格等についての悩みほか、「心の健康」に関する悩み事について、本学ではメンタルヘルス相談を設けています。メンタルヘルス相談は、各キャンパスでカウンセラーによる相談も設けています。

カウンセラーによるメンタルヘルス相談の申し込みは、所属するキャンパスの担当係まで問い合わせてください。

《連絡先》

松本キャンパス (総合健康安全センター)	: 0263-37-2157
長野 (工学) キャンパス (保健室)	: 026-269-5077
伊那キャンパス (保健室)	: 0265-77-1312
上田キャンパス (保健室)	: 0268-21-5312

(2) 教育問題相談窓口について

セクシャルハラスメント、アカデミックハラスメント等の悩み事については、所属するキャンパスの学務担当係、ハラスメント相談員、イコール・パートナーシップ委員会及び学生相談センターに相談してください。

学生相談センター

https://www.shinshu-u.ac.jp/campus_life/soudan/

学生生活の中で、いろいろなことに悩んだり、不安になったり、困ったり、心が疲れたときに、気軽に相談してください。専門の相談スタッフが、相談内容に応じて、一緒に考えたり関係窓口を紹介したりするなど、解決に向けた支援をします。

学生相談センター連絡先

電話 : 0263-37-3165

e-mail : nandemo@shinshu-u.ac.jp

各キャンパスにも学生相談室の先生がいます。詳しくは、所属するキャンパスの学務担当グループ（係）にお問い合わせください。

理学部 学務グループ : 0263-37-3320
医学部 大学院係 : 0263-37-3376
工学部 学務グループ : 026-269-5051
農学部 学務グループ : 0265-77-1354
繊維学部 学務グループ : 0268-21-5322

ハラスメント相談員

本学の教職員で構成され、あなたの立場になって相談に乗ります。氏名一覧と連絡先は、ACSU 内お知らせでご覧になるか、各学務窓口あるいは学生相談センターにお問い合わせください。

イコール・パートナーシップ委員会

本学の教職員各4名（男女同数）で構成され、ハラスメントのない信州大学にするために学長の下に設置された委員会です。しかし、真偽を調査する委員会ではありません。学生一人一人の人権を擁護するとともに、修学にふさわしい環境が確保されることを目的とする委員会です。差別・人権などについて疑問や問題があれば、委員会か委員何れかに気軽に相談してください。

e-mail : epiinkai@shinshu-u.ac.jp

31. 就職・キャリア

就職支援は、各キャンパスの担当係及びキャリア教育・サポートセンターで行っています。求人情報・各種パンフレットは各キャンパスの就職支援室、就職資料室等にあり、専任の教職員に相談することができます。

松本キャンパス : 0263-37-2458 (理学部学務 G)

長野(工学)キャンパス : 026-269-5595 (就職支援室)

<http://engshien.shinshu-u.ac.jp/shushoku/student.html>

上田キャンパス : 0268-21-5322 (繊維学部学務 G)

<https://textile-job.shinshu-tlo.co.jp/to-students/>

伊那キャンパス : 0265-77-1354 (農学部学務 G)

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/campuslife/support.php>

キャリア教育・サポートセンター : 0263-37-3164

https://www.shinshu-u.ac.jp/campus_life/careersupport/

32. 図書館

本学の附属図書館は、5キャンパス6館で構成されています。

各館はそれぞれのキャンパスにおける学術情報の流通拠点としての機能を果たすと同時に、信州大学ユビキタスネットワークシステム(SUNS)を通して相互に連帯をはかり、分散している資源の有効活用に努めています。

開館時間や利用条件，利用方法は図書館ごとに異なります。ご利用の際には，各図書館の利用案内を確認してください。

附属図書館 URL : <http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/library/>

33. 健康管理

(1) 健康診断

本学では，全ての学生（一部の非正規生を除く）を対象に年1回（4月），定期健康診断を実施しています。日程等の詳細は所属するキャンパスの担当係に問い合わせてください。

(2) 禁煙

本学は，学生及び教職員の健康を確保し，タバコのない大学キャンパスを作るために，2016年4月1日より全てのキャンパスの敷地内を全面禁煙としています。

喫煙する場合は，門の周囲など，大学外敷地との境界での喫煙は，多くの方に対する受動喫煙の原因となりますので，控えてください。

(3) AED（自動体外式除細動器）

本学は，各キャンパスの主要施設にAEDを設置しています。いざという時のために設置場所を確認してください。

《松本キャンパス》



《長野（工学）キャンパス》

至 ホウト文化ホール（長野県民文化会館）

信州大学工学部キャンパスマップ



♥:AED 設置場所

- ①【W2 棟】総合研究棟入り口
- ②【C1】警務員室
- ③【C7】生協食堂入り口
- ④【E3 棟】1 階
- ⑤若里寮

《上田キャンパス》



AED設置場所

- ⑤【D2】講義棟
- ⑨【G】機能高分子学棟
- ⑭【L】体育館
- ⑮【M】マルベリーホール
- ⑳学生寄宿舍（修己寮）
- ㉑警務員室

《伊那キャンパス》

伊那キャンパスマップ



- ※ 車は必ず定められた駐車場内(P)に停めること。
- ※ キャンパス内全面禁煙

34. 安全管理

(1) 建物への入棟について

夜間、土・日・祝日に建物及び図書館に入棟する場合は、学生証が必要となります。また、建物によっては、事前に手続きが必要となる場合がありますので、所属するキャンパスの担当係に問い合わせてください。

(2) 駐車場利用について

本学では、自動車での通学は禁止しています。（身体障害等の特別な事情の場合を除く）また、事故防止及び騒音防止を目的に構内におけるバイクの走行を禁止しています。バイクを通学に利用する場合は、決められたバイク専用駐車場に駐車してください。

自転車も、構内の指定された駐輪場へ駐輪してください。公道への違法駐車及び大学周辺への迷惑駐車は厳禁です。

(3) 院生研究室・学生ラウンジ等について

自主学習等のために使用できる院生研究室、学生ラウンジ等が設けられています。入室には鍵が必要となる部屋がありますので、所属するキャンパスの担当係に問い合わせてください。

利用に当たっては、清掃美化に努めてください。また、退室時には戸締り、消灯、エアコンの電源を切るなどを行ってください。

(4) 安全の手引き

各キャンパスにおいて作成していますので、確認してください。

《松本キャンパス》

理学部安全の手引き

<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/science/others/currentstudent/document.html>

《長野(工学)キャンパス》

工学部安全の手引

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/ems/>

《上田キャンパス》

繊維学部実験・実習における安全の手引

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/current/>

《伊那キャンパス》

農学部安全教育

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/safety/>

(5) 事件・災害時

災害発生時の避難・行動マニュアル【学生編】○ 学生総合支援センターHP 掲載

地震等の自然災害は、突然発生し、建築物の倒壊、家具等の落下・転倒など物的被害とそれに基づく人的被害などの直接被害だけでなく、火災等による間接的な被害も起こるため、これらの災害の発生を最小限に留めるためには、日常からの備えが必要です。

本学の学生総合支援センターのホームページに、「災害時の対応」、「避難・行動マニュアル【学生編】」を掲載していますので、確認してください。

《災害時の対応》

https://www.shinshu-u.ac.jp/campus_life/studentsupport/attention-info/34314.html

《避難・行動マニュアル【学生編】》

https://www.shinshu-u.ac.jp/campus_life/studentsupport/attention-info/50556.html

(6) その他

住居・寮

信州大学の学生の多くは民間アパート・下宿・学生寮などに居住しています。民間企業の物件のアパート・下宿等については、大学周辺地域に数多くありますので自己の責任において契約してください。学生寮の詳細・入寮の時期については、所属するキャンパスの担当係まで問い合わせてください。

施設（体育館・グラウンド・テニスコート）の利用

各キャンパスに、体育館、グラウンド、テニスコートなどの課外活動施設があります。施設の利用を希望する場合は、所属するキャンパスの担当係に申し込んでください。

松本キャンパス：学生総合支援センター

長野（工学）キャンパス：工学部学務窓口

上田キャンパス：繊維学部学務窓口

伊那キャンパス：農学部学務窓口

https://www.shinshu-u.ac.jp/campus_life/studentsupport/circle/sports.html

35. 研究科開設科目一覧

(1) 必修科目・選択必修科目について

ア. 研究科共通科目

先鋭領域融合研究群最先端研究特講《必修科目》

先鋭領域融合研究群に所属する教員を中心に、本学の教員が、それぞれの専門分野の最先端研究を異分野の学生にもわかりやすく講義する。

各キャンパスにおいて、各教員が原則対面による講義を行う。各回の授業内容、日程、担当教員等の詳細は、eALPSにより周知する。

知財管理特講《自由科目：修了要件に算入されない》

知的財産権とは、知的創造活動によって生み出されたものを財産として保護するという、法律に基づいた権利である。基礎内容を時事的・具体的事例と共に学ぶことで、社会における重要性を十分に理解する。

イ. 専攻共通科目

特別課題演習（研究会・学会演習）《必修科目》

学生は、専攻が主催する博士論文中間発表会・最終発表会やセミナー、所属する学術団体開催の学会やシンポジウム等に参加し、自身の研究課題周辺分野の発表における質疑応答や発表者との直接の議論を通じて、理工学系分野における課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力を養成する。また、当該研究だけでなく、関係する複数の研究をまとめた報告書を指導教員に提出し評価を受けることにより、論文を理解し、それを説明でき、多角的にまとめることで、理工学系の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力を養成する。

科学技術政策特論《選択必修科目》（隔年開講：2024年度開講）

科学技術政策は、今日、人類が直面する環境、エネルギー、食糧などの地球規模の問題の解決やイノベーションを通じた産業・経済の活性化と密接な関係を持っている。この特論では、国内外の科学技術政策の状況・方向性について紹介した上で、科学技術と社会、科学技術イノベーションと産業・地域・大学との関わり、理工系人材のキャリアパス、次代を担う研究者・技術者に期待される役割などについて考える機会を提供する。

※修士課程単位の既修得単位認定について

入学前に、本学総合理工学研究科「科学技術政策特論」（2018年度以降の開講に限る）の単位を修得した場合、当該修得単位を本専攻において既修得単位として認定します。ただし、当該「科学技術政策特論」の単位数2単位を差し引いても修士課程の修了要件を満たしていることが確認できた場合に限り、希望する学生は入学直後の履修登録期間中に窓口で手続きをしてください。

学外研修《選択必修科目》

官公庁・企業等の研究機関において、自らの研究課題に近い分野の研究課題に関する学外研修（実験指導、計画、設計等の実務訓練等）を受けることにより、産業界・地域社会において、専門能力を活かせることができるための応用力や洞察力・俯瞰力を醸成する。「主指導教員」と「総合理工学専攻長又は総合理工学専攻副専攻長」が認めた場合に、官公庁・企業等の研究機関において、特定の研究課題に関する実験指導、計画、設計等の60～90時間相当（2単位）の実務訓練を受ける。

履修に必要な手続等は、シラバスにて周知する。

長期インターンシップ《選択必修科目》

大学外部の組織において、業務の一部を実体験することにより、企業などの組織内部における経営資源（ヒト、モノ、およびカネ）の流れを学ぶとともに、仕事の進め方、組織内における人間関係の構築と維持の手法を学ぶ。組織における意思決定や仕事の分担、協力体制のあり方を学ぶ。組織内のコミュニケーション手法を実体験し、仕事の計画、実施、改善の流れを身につける。希望先企業との調整、契約を経て、原則として4～8週間のインターンシップ実習を行う。

履修に必要な手続等は、シラバスにて周知する。

(2) 大学院共通教育用科目

本学では、専門によらず大学院生にとって有意な科目を全大学院学生に開放することにより、自研究科以外で開講されている科目を受講することで、広い視野を身につけてもらうことを目的に、大学院共通教育用科目を開講しています。

2023 年度大学院共通教育用科目一覧

開講研究科	科目名	開講時期	担当教員名	単位	開講キャンパス 教室	備考
総合人文社会科学研究科	教育心理学特論	前期集中	島田英昭	2	オンライン開講	eALPS に掲載
総合理工学研究科	大学院と社会	前期集不定	李 敏	2	オンライン開講	eALPS に掲載
	大学発技術系ベンチャー実践論	前期集不定	杉原伸宏	2	未定	長野（工学）キャンパスで開講予定。詳細は後日
	科学英語	後期月5	加藤鉦三	2	オンライン開講	eALPS に掲載 受講制限あり （詳細はシラバス参照）
	臨床医学概論	後期金4	齋藤直人 他	2	オンライン開講	eALPS に掲載
総合医理工学研究科	知財管理特講	前期集不定	未定	2	オンライン開講	eALPS に掲載
	イノベーションセミナー	後期金6・7を基本に不定期	齋藤直人 他	2	松本キャンパス：未定 松本キャンパス以外： オンライン開講	eALPS に掲載 (日程の詳細含む)

履修登録及び記入上の注意

- * 受講を希望する場合は、「大学院共通教育用科目受講登録票」を所属研究科の指定する履修登録期日までに、所属するキャンパスの担当係に提出してください。
「科学技術政策特論」が、大学院共通教育用科目として開講される場合は、受講登録票を利用せず、キャンパス情報システムにて登録を行ってください。
- * 科目によっては、受講登録票を利用せず受講登録を行う科目があります。必ず掲示等や所属するキャンパスの担当係で確認してください。
- * 履修にあたっては、必ず事前に指導教員と相談し履修計画を立てたうえで、登録を行ってください。
- * 大学院共通教育用科目は全研究科で単位として認められますが、「科学技術政策特論」以外は、修了要件に算入されません。
- * 各科目のシラバスは、「信州大学シラバス検索システム」から確認できます。
<https://campus-3.shinshu-u.ac.jp/syllabusj/Top>

(3) 各分野・ユニットの科目一覧

【専門科目】

【ファイバー工学分野】

履修登録コード	授業科目	授業科目(英字)	単位数	講義期間	2023年度担当教員	授業形態
《バイオファイバー工学ユニット》						
HS110100	生体高分子利用工学特論	Applied Science/Engineering of Biological Polymers	2	通年	根岸 淳(上), 森脇 洋(上), 大川 浩作(上), 橋本 朋子(上)	講義
HS110200	生体高分子機能科学特論	Molecular Recognition and function of Biopolymers	2	通年	新井 亮一(上), 野崎 功一(工), 矢澤 健二郎(上)	講義
HS110300	環境生態学特論	Applied Ecology of Aquatic Insects	2	通年	平林 公男(上)	講義
HS110400	微生物機能工学特論	Topics in Microbial Function-Based Engineering	2	通年	山本 博規(上), 小笠原 寛(上)	講義
HS110500	植物機能工学特論	Topics in Plant Molecular Biology	2	通年	林田 信明(上), 田口 悟朗(上), 野川 優洋(上)	講義
HS110600	ゲノム科学特論	Advanced Genomics	2	通年	松村 英生(上), 堀江 智明(上), 野村 隆臣(上)	講義
HS110700	蚕糸・昆虫機能学特論	Sericulture & Insect Biotechnology	2	通年	梶浦 善太(上), 白井 孝治(上), 塩見 邦博(上)	講義
HS110800	動物機能工学特論	Topics in Reproductive Technology and Stem Cell Biology	2	通年	保地 眞一(上), 高島 誠司(上)	講義
《フロンティアファイバー工学ユニット》						
HS120100	絹形成解析特論	Silk Formation Science	2	通年	森川 英明(上), 坂口 明男(上)	講義
HS120200	繊維集合体加工学特論	Structure and Mechanics of Fiber Assemblies	2	通年	木村 裕和(上), 若月 薫(上), ZHU CHUNHONG(上), 施 建(上)	講義
HS120300	繊維構造創成学特論	Fiber Structure Development	2	通年	大越 豊(上), KIM KYOUNG HOU(上), 田中 稔久(上), 富澤 錬(上)	講義
HS120400	繊維創成学特論	Fabrication of Fiber and Polymer Materials	2	通年	後藤 康夫(上)	講義
HS120500	高分子材料学特論	Polymer Materials Science	2	通年	佐藤 高彰(上), 平田 雄一(上), 高坂 泰弘(上)	講義
HS120600	超分子機能工学特論	Supramolecular Engineering	2	通年	木村 睦(上), 鈴木 正浩(上)	講義
《スマート材料工学ユニット》						
HS130100	機能高分子材料工学特論	Materials Engineering of Functional Polymer Chemistry	2	通年	寺本 彰(上), 小駒 喜郎(上), 市川 結(上), 渡邊 真志(上)	講義
HS130200	複合機能・ナノ材料工学特論	Composite Functional Materials・Nanomaterials Science and Engineering	2	通年	夏木 俊明(上), KIM ICKSOO(上), 渡辺 健太郎(上)	講義
HS130300	機能分子工学特論	Advanced Synthetic Technology of Functional Molecules	2	通年	浅尾 直樹(上), 西井 良典(上), 藤本 哲也(上), 荒木 潤(上)	講義
HS130400	エネルギー・デバイス材料工学特論	Materials Engineering for Energy Devices	2	通年	杉本 渉(上), 小山 俊樹(上), 小嶋 隆幸(上)	講義
HS130500	ソフトマテリアル材料工学特論	Materials Engineering for Soft Matter	2	通年	鈴木 大介(上), 村井 一喜(上), 西村 智貴(上), 佐野 航季(上)	講義
《感性・ファッション工学ユニット》						
HS140100	製品感性評価・設計特論	Kansei Evaluation and Design of Products	2	通年	吉田 宏昭(上), 佐古井 智紀(上)	講義
HS140200	感性システム計測特論	Applied Measurement Engineering for Kansei System	2	通年	上條 正義(上), 金井 博幸(上), 吉武 康栄(上), 結城 匡啓(教)	講義
HS140300	繊維情報処理特論	Information Processing of Textiles and Clothing	2	通年	堀場 洋輔(上)	講義
HS140400	アパレル設計特論	Advanced Apparel Design	2	通年	高寺 政行(上), KIM KYOUNGOK(上)	講義
HS140500	感性メカトロニクス特論	Advanced Mechatronics	2	通年	河村 隆(上), 梅舘 拓也(上), 秋山 靖博(上)	講義

※ 「担当教員」の()内は所属キャンパスで、次のように省略して標記しています。(松): 松本キャンパス, (松・全): 松本キャンパス全学教育センター, (諏): 諏訪山岳科学研究所, (工): 長野(工学)キャンパス, (伊): 伊那キャンパス, (上): 上田キャンパス, (教): 長野(教育)キャンパス

履修登録コード	授業科目	授業科目(英字)	単位数	開講期	担当教員	授業形態
HS140600	感性スマートテキスタイル特論	Special Lecture for Kansei-Smart textiles	2	通年	児山 祥平(上)	講義
特別演習(論文演習)						
HS180101	特別演習(梶浦)	Special Seminar	2	通年	梶浦 善太(上)	演習
HS180104	特別演習(森脇)	Special Seminar	2	通年	森脇 洋(上)	演習
HS180105	特別演習(大川)	Special Seminar	2	通年	大川 浩作(上)	演習
HS180106	特別演習(平林)	Special Seminar	2	通年	平林 公男(上)	演習
HS180107	特別演習(保地)	Special Seminar	2	通年	保地 眞一(上)	演習
HS180108	特別演習(林田)	Special Seminar	2	通年	林田 信明(上)	演習
HS180109	特別演習(後藤)	Special Seminar	2	通年	後藤 康夫(上)	演習
HS180111	特別演習(森川)	Special Seminar	2	通年	森川 英明(上)	演習
HS180112	特別演習(大越)	Special Seminar	2	通年	大越 豊(上)	演習
HS180113	特別演習(木村睦)	Special Seminar	2	通年	木村 睦(上)	演習
HS180114	特別演習(木村裕和)	Special Seminar	2	通年	木村 裕和(上)	演習
HS180115	特別演習(鈴木正浩)	Special Seminar	2	通年	鈴木 正浩(上)	演習
HS180117	特別演習(杉本)	Special Seminar	2	通年	杉本 渉(上)	演習
HS180118	特別演習(市川)	Special Seminar	2	通年	市川 結(上)	演習
HS180119	特別演習(浅尾)	Special Seminar	2	通年	浅尾 直樹(上)	演習
HS180120	特別演習(渡邊真志)	Special Seminar	2	通年	渡邊 真志(上)	演習
HS180123	特別演習(上條)	Special Seminar	2	通年	上條 正義(上)	演習
HS180125	特別演習(高寺)	Special Seminar	2	通年	高寺 政行(上)	演習
HS180127	特別演習(塩見)	Special Seminar	2	通年	塩見 邦博(上)	演習
HS180128	特別演習(山本)	Special Seminar	2	通年	山本 博規(上)	演習
HS180129	特別演習(松村英生)	Special Seminar	2	通年	松村 英生(上)	演習
HS180130	特別演習(新井)	Special Seminar	2	通年	新井 亮一(上)	演習
HS180131	特別演習(田口)	Special Seminar	2	通年	田口 悟朗(上)	演習
HS180132	特別演習(白井孝治)	Special Seminar	2	通年	白井 孝治(上)	演習
HS180133	特別演習(堀江)	Special Seminar	2	通年	堀江 智明(上)	演習
HS180134	特別演習(野崎)	Special Seminar	2	通年	野崎 功一(工)	演習
HS180135	特別演習(野川)	Special Seminar	2	通年	野川 優洋(上)	演習
HS180136	特別演習(野村隆臣)	Special Seminar	2	通年	野村 隆臣(上)	演習
HS180137	特別演習(金慶孝)	Special Seminar	2	通年	KIM KYOUNG HOU(上)	演習
HS180138	特別演習(佐藤高彰)	Special Seminar	2	通年	佐藤 高彰(上)	演習
HS180140	特別演習(若月)	Special Seminar	2	通年	若月 薫(上)	演習
HS180141	特別演習(田中稔久)	Special Seminar	2	通年	田中 稔久(上)	演習
HS180142	特別演習(平田)	Special Seminar	2	通年	平田 雄一(上)	演習
HS180143	特別演習(金翼水)	Special Seminar	2	通年	KIM ICKSOO(上)	演習
HS180145	特別演習(夏木)	Special Seminar	2	通年	夏木 俊明(上)	演習
HS180146	特別演習(荒木)	Special Seminar	2	通年	荒木 潤(上)	演習
HS180147	特別演習(寺本)	Special Seminar	2	通年	寺本 彰(上)	演習
HS180148	特別演習(小駒)	Special Seminar	2	通年	小駒 喜郎(上)	演習
HS180149	特別演習(小山俊樹)	Special Seminar	2	通年	小山 俊樹(上)	演習
HS180150	特別演習(西井)	Special Seminar	2	通年	西井 良典(上)	演習
HS180151	特別演習(藤本)	Special Seminar	2	通年	藤本 哲也(上)	演習
HS180152	特別演習(鈴木大介)	Special Seminar	2	通年	鈴木 大介(上)	演習
HS180153	特別演習(河村隆:上)	Special Seminar	2	通年	河村 隆(上)	演習
HS180154	特別演習(吉田宏昭)	Special Seminar	2	通年	吉田 宏昭(上)	演習
HS180155	特別演習(金井)	Special Seminar	2	通年	金井 博幸(上)	演習
HS180156	特別演習(佐古井)	Special Seminar	2	通年	佐古井 智紀(上)	演習
HS180158	特別演習(堀場)	Special Seminar	2	通年	堀場 洋輔(上)	演習
HS180160	特別演習(坂口)	Special Seminar	2	通年	坂口 明男(上)	演習
HS180161	特別演習(吉武)	Special Seminar	2	通年	吉武 康栄(上)	演習
HS180163	特別演習(高坂)	Special Seminar	2	通年	高坂 泰弘(上)	演習
HS180164	特別演習(高島)	Special Seminar	2	通年	高島 誠司(上)	演習
HS180165	特別演習(KIM KYOUNGOK)	Special Seminar	2	通年	KIM KYOUNGOK(上)	演習
HS180166	特別演習(梅館)	Special Seminar	2	通年	梅館 拓也(上)	演習
HS180167	特別演習(渡辺健太郎)	Special Seminar	2	通年	渡辺 健太郎(上)	演習
HS180168	特別演習(ZHU CHUNHONG)	Special Seminar	2	通年	ZHU CHUNHONG(上)	演習
HS180169	特別演習(根岸)	Special Seminar	2	通年	根岸 淳(上)	演習
HS180170	特別演習(橋本)	Special Seminar	2	通年	橋本 朋子(上)	演習
HS180171	特別演習(小笠原)	Special Seminar	2	通年	小笠原 寛(上)	演習
HS180172	特別演習(秋山)	Special Seminar	2	通年	秋山 靖博(上)	演習
HS180173	特別演習(児山)	Special Seminar	2	通年	児山 祥平(上)	演習
HS180174	特別演習(施)	Special Seminar	2	通年	施 建(上)	演習
HS180175	特別演習(結城)	Special Seminar	2	通年	結城 匡啓(教)	演習

※「担当教員」の()内は所属キャンパスで、次のように省略して標記しています。(松):松本キャンパス,(松・全):松本キャンパス全学教育センター,(諏):諏訪山岳科学研究所,(工):長野(工学)キャンパス,(伊):伊那キャンパス,(上):上田キャンパス,(教):長野(教育)キャンパス

【エネルギー・システム工学分野】						
履修登録コード	授業科目	授業科目(英字)	単位数	開講期	担当教員	授業形態
《エネルギー材料・デバイス工学ユニット》						
HS210100	アクチュエータ工学特論	Actuator Engineering	2	通年	田代 晋久(工), 水野 勉(工), 佐藤 光秀(工)	講義
HS210200	集積回路設計特論	Advanced Integrated Circuit Design	2	通年	宮地 幸祐(工), 上口 光(工), 佐藤 真平(工)	講義
HS210300	ナノ材料デバイス工学特論	Advanced Engineering of Nanomaterials and Devices	2	通年	林 卓哉(工), 伊東 栄次(工), 竹内 健司(工), 村松 寛之(工)	講義
HS210400	磁気工学特論	Advanced Magnetism	2	通年	佐藤 敏郎(工), 曾根原 誠(工), 菊池 良巳(工)	講義
HS210500	磁気及び磁性材料工学特論	Advanced Magnetism and Magnetic Materials	2	通年	LIU XIAOXI(工)	講義
HS210600	単結晶成長工学特論	Single Crystal Growth Engineering	2	通年	太子 敏則(工), 番場 教子(工)	講義
HS210700	化合物半導体工学特論	Compound Semiconductor Engineering	2	通年	橋本 佳男(工), SAI MYO THAN HTAY(工), 浦上 法之(工)	講義
HS210800	プラズマ分光光学特論	Plasma Spectroscopy	2	通年	澤田 圭司(工)	講義
《情報通信システム工学ユニット》						
HS220100	情報科学基礎特論	Foundation of Computer Science	2	通年	藤原 洋志(工)	講義
HS220200	非線形情報通信論特論	Non-linear Information and Communication Theory	2	通年	田中 清(工), AGUIRRE DURAN HERNAN EDUARDO(工)	講義
HS220300	デジタル情報伝送特論	Digital Information Transmission Theory	2	通年	ASANO DAVID KEN(工), 西新 幹彦(工)	講義
HS220400	数理情報学応用特論	Computational and Applicable Mathematics	2	通年	KAWAMOTO PAULINE NAOMI(工), 岡崎 裕之(工)	講義
HS220500	インタラクションデザイン学特論	Selected Topics on Interaction Design	2	通年	小林 一樹(工)	講義
HS220600	並列計算システム特論	Parallel Computing Systems	2	通年	和崎 克己(工)	講義
HS220700	ソフトウェア解析学特論	Advanced Topics on Software Analysis	2	通年	岡野 浩三(工), 小形 真平(工), 畑 秀明(工)	講義
HS220800	多元情報計測学特論	Advanced Course of Multiple Metrology	2	通年	橋本 昌巳(工), 川原 琢也(工)	講義
HS220900	移動通信システム特論	Mobile Communications Engineering	2	通年	笹森 文仁(工), 田久 修(工)	講義
HS221100	画像認識処理特論	Image Processing and Understanding	2	通年	丸山 稔(工), 宮尾 秀俊(工), 白井 啓一郎(工)	講義
HS221200	光センシング工学特論	Advanced Optical Sensing Technology	2	通年	富田 孝幸(工)	講義
HS221300	学習情報システム特論	Learning Science & Technology	2	通年	香山 瑞恵(工)	講義
《機械システム工学ユニット》						
HS230100	材料強度特論	Advanced Technology on Materials Strength	2	通年	牛 立斌(工)	講義
HS230200	材料加工プロセス工学特論	Advanced Materials Processing Engineering	2	通年	榊 和彦(工), 中山 昇(工)	講義
HS230300	先端計測制御特論	Advanced Course of Leading Instrumentation and Control Systems	2	通年	千田 有一(工), 高山 潤也(工), 種村 昌也(工)	講義
HS230400	最適化特論	Advanced Engineering Optimization	2	通年	中村 正行(工), 藤井 雅留太(工)	講義
HS230500	精密加工工学特論	Advanced Course of Precision Machining	2	通年	松岡 浩仁(工)	講義
HS230600	機械デバイス設計学特論	Advanced Design for Mechanical Precision Devices	2	通年	辺見 信彦(工), 亀山 正樹(工)	講義
HS230700	応用流体力学特論	Advanced Applied Fluid Dynamics	2	通年	松原 雅春(工), 飯尾 昭一郎(工), 柳原 正明(工)	講義
HS230800	複雑流動計算法特論	Numerical Methods for Complex Fluid Dynamics	2	通年	吉野 正人(工), 鈴木 康祐(工)	講義
HS230900	相変化伝熱特論	Heat Transfer with Phase Change	2	通年	杉岡 秀行(工), 浅岡 龍徳(工)	講義
HS231000	先端ロボティクス特論	Robotic System and Control	2	通年	酒井 悟(工), 山崎 公俊(工)	講義
HS231100	先端計算材料科学特論	Advanced Computational Materials Science	2	通年	松中 大介(工), 西村 正臣(工)	講義
HS231200	計算流体工学特論	Advanced Computational Fluid Mechanics	2	通年	吉田 尚史(工), 吉野 正人(工)	講義
HS231300	先端表面加工特論	Advanced Surface Processing	2	通年	佐藤 運海(教), 川久保 英樹(教)	講義
特別演習(論文演習)						
HS280100	特別演習(劉)	Special Seminar	2	通年	LIU XIAOXI(工)	演習
HS280101	特別演習(伊東)	Special Seminar	2	通年	伊東 栄次(工)	演習
HS280102	特別演習(橋本佳男)	Special Seminar	2	通年	橋本 佳男(工)	演習

※ 「担当教員」の()内は所属キャンパスで、次のように省略して標記しています。(松):松本キャンパス, (松・全):松本キャンパス全学教育センター, (諏):諏訪山岳科学研究所, (工):長野(工学)キャンパス, (伊):伊那キャンパス, (上):上田キャンパス, (教):長野(教育)キャンパス

履修登録 コード	授業科目	授業科目(英字)	単 位 数	開 講 期	担当教員	授 業 形 態
HS280103	特別演習(佐藤敏郎)	Special Seminar	2	通年	佐藤 敏郎(工)	演習
HS280104	特別演習(水野)	Special Seminar	2	通年	水野 勉(工)	演習
HS280105	特別演習(林)	Special Seminar	2	通年	林 卓哉(工)	演習
HS280106	特別演習(澤田)	Special Seminar	2	通年	澤田 圭司(工)	演習
HS280107	特別演習(アサノ)	Special Seminar	2	通年	ASANO DAVID KEN(工)	演習
HS280108	特別演習(田中)	Special Seminar	2	通年	田中 清(工)	演習
HS280110	特別演習(丸山)	Special Seminar	2	通年	丸山 稔(工)	演習
HS280111	特別演習(香山)	Special Seminar	2	通年	香山 瑞恵(工)	演習
HS280114	特別演習(和崎)	Special Seminar	2	通年	和崎 克己(工)	演習
HS280116	特別演習(笹森)	Special Seminar	2	通年	笹森 文仁(工)	演習
HS280117	特別演習(吉野)	Special Seminar	2	通年	吉野 正人(工)	演習
HS280118	特別演習(佐藤運海)	Special Seminar	2	通年	佐藤 運海(教)	演習
HS280119	特別演習(榊)	Special Seminar	2	通年	榊 和彦(工)	演習
HS280120	特別演習(松原)	Special Seminar	2	通年	松原 雅春(工)	演習
HS280122	特別演習(千田)	Special Seminar	2	通年	千田 有一(工)	演習
HS280123	特別演習(中村正行)	Special Seminar	2	通年	中村 正行(工)	演習
HS280124	特別演習(辺見)	Special Seminar	2	通年	辺見 信彦(工)	演習
HS280126	特別演習(宮地)	Special Seminar	2	通年	宮地 幸祐(工)	演習
HS280127	特別演習(上口)	Special Seminar	2	通年	上口 光(工)	演習
HS280128	特別演習(曾根原)	Special Seminar	2	通年	曾根原 誠(工)	演習
HS280129	特別演習(太子)	Special Seminar	2	通年	太子 敏則(工)	演習
HS280130	特別演習(竹内)	Special Seminar	2	通年	竹内 健司(工)	演習
HS280131	特別演習(田代晋久)	Special Seminar	2	通年	田代 晋久(工)	演習
HS280132	特別演習(番場)	Special Seminar	2	通年	番場 教子(工)	演習
HS280134	特別演習(アギレ)	Special Seminar	2	通年	AGUIRRE DURAN HERNAN EDUARDO(工)	演習
HS280135	特別演習(カワモト)	Special Seminar	2	通年	KAWAMOTO PAULINE NAOMI(工)	演習
HS280136	特別演習(岡野浩三)	Special Seminar	2	通年	岡野 浩三(工)	演習
HS280137	特別演習(宮尾)	Special Seminar	2	通年	宮尾 秀俊(工)	演習
HS280138	特別演習(橋本昌巳)	Special Seminar	2	通年	橋本 昌巳(工)	演習
HS280139	特別演習(小林一樹)	Special Seminar	2	通年	小林 一樹(工)	演習
HS280141	特別演習(西新)	Special Seminar	2	通年	西新 幹彦(工)	演習
HS280142	特別演習(川原琢也)	Special Seminar	2	通年	川原 琢也(工)	演習
HS280143	特別演習(田久)	Special Seminar	2	通年	田久 修(工)	演習
HS280144	特別演習(藤原)	Special Seminar	2	通年	藤原 洋志(工)	演習
HS280145	特別演習(白井啓一郎)	Special Seminar	2	通年	白井 啓一郎(工)	演習
HS280146	特別演習(亀山)	Special Seminar	2	通年	亀山 正樹(工)	演習
HS280147	特別演習(吉田尚史)	Special Seminar	2	通年	吉田 尚史(工)	演習
HS280148	特別演習(牛)	Special Seminar	2	通年	牛 立斌(工)	演習
HS280149	特別演習(酒井)	Special Seminar	2	通年	酒井 悟(工)	演習
HS280150	特別演習(松中)	Special Seminar	2	通年	松中 大介(工)	演習
HS280151	特別演習(杉岡)	Special Seminar	2	通年	杉岡 秀行(工)	演習
HS280152	特別演習(川久保)	Special Seminar	2	通年	川久保 英樹(教)	演習
HS280153	特別演習(中山)	Special Seminar	2	通年	中山 昇(工)	演習
HS280154	特別演習(飯尾)	Special Seminar	2	通年	飯尾 昭一郎(工)	演習
HS280155	特別演習(淺岡)	Special Seminar	2	通年	淺岡 龍徳(工)	演習
HS280156	特別演習(高山)	Special Seminar	2	通年	高山 潤也(工)	演習
HS280157	特別演習(西村正臣)	Special Seminar	2	通年	西村 正臣(工)	演習
HS280158	特別演習(山崎公俊)	Special Seminar	2	通年	山崎 公俊(工)	演習
HS280160	特別演習(MYO)	Special Seminar	2	通年	SAI MYO THAN HTAY(工)	演習
HS280161	特別演習(村松)	Special Seminar	2	通年	村松 寛之(工)	演習
HS280162	特別演習(岡崎)	Special Seminar	2	通年	岡崎 裕之(工)	演習
HS280165	特別演習(小形)	Special Seminar	2	通年	小形 真平(工)	演習
HS280166	特別演習(富田)	Special Seminar	2	通年	富田 孝幸(工)	演習
HS280167	特別演習(藤井雅留太)	Special Seminar	2	通年	藤井 雅留太(工)	演習
HS280170	特別演習(鈴木康祐)	Special Seminar	2	通年	鈴木 康祐(工)	演習
HS280172	特別演習(佐藤光秀)	Special Seminar	2	通年	佐藤 光秀(工)	演習
HS280173	特別演習(種村)	Special Seminar	2	通年	種村 昌也(工)	演習
HS280174	特別演習(浦上)	Special Seminar	2	通年	浦上 法之(工)	演習
HS280175	特別演習(跡部)	Special Seminar	2	通年	跡部 隆(工)	演習
HS280176	特別演習(畑)	Special Seminar	2	通年	畑 秀明(工)	演習
HS280177	特別演習(佐藤真平)	Special Seminar	2	通年	佐藤真平(工)	演習
【物質創成科学分野】						
《分子機能材料工学ユニット》						
HS310100	精密合成化学特論	Advanced Synthetic Organic Chemistry	2	通年	菅 博幸(工), 戸田 泰徳(工), 奥 村 幸久(工), 佐伯 大輔(工)	講義
HS310200	応用電気化学特論	Advanced Applied Electrochemistry	2	通年	新井 進(工), 清水 雅裕(工)	講義
HS310300	先端無機材料工学特論	Advanced Ceramic Materials Processing	2	通年	樽田 誠一(工), 山口 朋浩(工)	講義

※ 「担当教員」の()内は所属キャンパスで、次のように省略して標記しています。(松):松本キャンパス,(松・全):松本キャンパス全学教育センター,(諏):諏訪山岳科学研究所,(工):長野(工学)キャンパス,(伊):伊那キャンパス,(上):上田キャンパス,(教):長野(教育)キャンパス

履修登録コード	授業科目	授業科目(英字)	単位数	開講期	担当教員	授業形態
HS310400	結晶表面工学特論	Surface Engineering of Crystals	2	通年	手嶋 勝弥(工), 久富 隆史(工), 山田 哲也(工), 田中 秀樹(工)	講義
HS310500	単結晶材料工学特論	Materials Engineering of Single Crystals	2	通年	是津 信行(工), 林 文隆(工)	講義
HS310600	応用分子設計学特論	Applied Molecular Design	2	通年	酒井 俊郎(工), 清野 竜太郎(工)	講義
HS310700	応用触媒設計工学特論	Applied Catalyst Design Technology	2	通年	岡田 彦彦(工)	講義
HS310800	高機能物質設計学特論	Photochemical Design of Functional Materials	2	通年	田中 申明(工)	講義
HS310900	光機能分子工学特論	Photofunctional Molecular Engineering	2	通年	錦織 広昌(工), 影島 洋介(工)	講義
《物質解析科学ユニット》						
HS320100	凝縮系物質科学特論	Condensed Matter Science	2	通年	樋口 雅彦(松), 志水 久(松)	講義
HS320200	特殊環境機能磁性体特論	Advanced Magnetic Material Sciences under Special Conditions	2	通年	天児 寧(松), 中島 美帆(松), 安達 弘通(松・全), 神原 浩(教), 天谷 健一(教)	講義
HS320300	時空間光制御構造特論	Structures for Spatiotemporal Control	2	通年	宮丸 文章(松), 高野 恵介(松)	講義
HS320400	宇宙量子構造論特論	Quantum Structure and Cosmology	2	通年	川村 嘉春(松), 小竹 悟(松), 奥山 和美(松)	講義
HS320500	高エネルギー宇宙論特論	Experimental High Energy Physics and Cosmology	2	通年	長谷川 庸司(松), 川出 健太郎(松)	講義
HS320600	放射線環境科学特論	Science of Environmental Radiation	2	通年	加藤 千尋(松)	講義
HS320700	銀河形成進化論特論	Galaxy Formation and Evolution	2	通年	三澤 透(松・全)	講義
《極限材料工学ユニット》						
HS330100	反応プロセスシステム工学特論	Reaction Process System	2	通年	長田 光正(上), 嶋田 五百里(上)	講義
HS330200	光材料化学特論	Advanced Materials Photochemistry	2	通年	宇佐美 久尚(上), 服部 義之(上)	講義
HS330300	工業物理化学特論	Advanced Industrial Physical Chemistry	2	通年	高橋 伸英(上), 福長 博(上)	講義
HS330400	無機有機複合材料特論	Inorganic-Organic Hybrid Materials	2	通年	村上 泰(上), 森 正悟(上), 瀧澤 辰洋(上)	講義
《分子基盤科学ユニット》						
HS340100	磁気分子構造学特論	Molecular Structures and Magneto-Science	2	通年	濱崎 亜富(松), 勝木 明夫(松・全)	講義
HS340200	光分子科学特論	Molecular Photochemistry and Science	2	通年	伊藤 冬樹(教)	講義
HS340300	物質構造解析学特論	Structural Analysis of Materials	2	通年	大木 寛(松)	講義
HS340400	界面構造科学特論	Science of Interfacial Structure	2	通年	飯山 拓(松), MCNAMEE CATHY ELIZABETH(上), 二村 竜祐(松)	講義
HS340500	同位体科学特論	Isotope Science	2	通年	石川 厚(松)	講義
HS340600	分子分離分析化学特論	Molecular Separation in Analytical Chemistry	2	通年	金 継業(松), 高橋 史樹(松)	講義
HS340700	分子精密計測学特論	Advanced Electroanalytical Chemistry	2	通年	巽 広輔(松)	講義
HS340800	高機能分子構造論特論	Structural Organic Chemistry of Advanced Functionalized Molecules	2	通年	太田 哲(松)	講義
HS340900	高機能分子合成論特論	Organic Synthesis of Advanced Functionalized Molecules	2	非開講	-	講義
HS341000	分子設計理論特論	Molecular Design	2	通年	野村 泰志(上)	講義
特別演習(論文演習)						
HS380100	特別演習(新井)	Special Seminar	2	通年	新井 進(工)	演習
HS380101	特別演習(手嶋)	Special Seminar	2	通年	手嶋 勝弥(工)	演習
HS380102	特別演習(奥村)	Special Seminar	2	通年	奥村 幸久(工)	演習
HS380103	特別演習(錦織)	Special Seminar	2	通年	錦織 広昌(工)	演習
HS380104	特別演習(菅)	Special Seminar	2	通年	菅 博幸(工)	演習
HS380105	特別演習(樽田)	Special Seminar	2	通年	樽田 誠一(工)	演習
HS380107	特別演習(天児)	Special Seminar	2	通年	天児 寧(松)	演習
HS380108	特別演習(小竹)	Special Seminar	2	通年	小竹 悟(松)	演習
HS380109	特別演習(川村嘉春)	Special Seminar	2	通年	川村 嘉春(松)	演習
HS380110	特別演習(天谷)	Special Seminar	2	通年	天谷 健一(教)	演習
HS380111	特別演習(樋口)	Special Seminar	2	通年	樋口 雅彦(松)	演習
HS380112	特別演習(宇佐美)	Special Seminar	2	通年	宇佐美 久尚(上)	演習
HS380113	特別演習(高橋伸英)	Special Seminar	2	通年	高橋 伸英(上)	演習
HS380114	特別演習(村上)	Special Seminar	2	通年	村上 泰(上)	演習

※ 「担当教員」の()内は所属キャンパスで、次のように省略して標記しています。(松):松本キャンパス,(松・全):松本キャンパス全学教育センター,(諏):諏訪山岳科学研究所,(工):長野(工学)キャンパス,(伊):伊那キャンパス,(上):上田キャンパス,(教):長野(教育)キャンパス

履修登録コード	授業科目	授業科目(英字)	単位数	開講期	担当教員	授業形態
HS380115	特別演習(金継業)	Special Seminar	2	通年	金 継業(松)	演習
HS380116	特別演習(勝木)	Special Seminar	2	通年	勝木 明夫(松・全)	演習
HS380117	特別演習(大木)	Special Seminar	2	通年	大木 寛(松)	演習
HS380118	特別演習(太田)	Special Seminar	2	通年	太田 哲(松)	演習
HS380119	特別演習(岡田)	Special Seminar	2	通年	岡田 友彦(工)	演習
HS380120	特別演習(酒井)	Special Seminar	2	通年	酒井 俊郎(工)	演習
HS380121	特別演習(是津)	Special Seminar	2	通年	是津 信行(工)	演習
HS380122	特別演習(山口)	Special Seminar	2	通年	山口 朋浩(工)	演習
HS380123	特別演習(清野)	Special Seminar	2	通年	清野 竜太郎(工)	演習
HS380124	特別演習(田中伸明)	Special Seminar	2	通年	田中 伸明(工)	演習
HS380126	特別演習(安達)	Special Seminar	2	通年	安達 弘通(松・全)	演習
HS380127	特別演習(奥山)	Special Seminar	2	通年	奥山 和美(松)	演習
HS380128	特別演習(中島)	Special Seminar	2	通年	中島 美帆(松)	演習
HS380129	特別演習(長谷川)	Special Seminar	2	通年	長谷川 庸司(松)	演習
HS380130	特別演習(加藤千尋)	Special Seminar	2	通年	加藤 千尋(松)	演習
HS380131	特別演習(宮丸)	Special Seminar	2	通年	宮丸 文章(松)	演習
HS380132	特別演習(三澤)	Special Seminar	2	通年	三澤 透(松・全)	演習
HS380133	特別演習(志水久)	Special Seminar	2	通年	志水 久(松)	演習
HS380134	特別演習(長田)	Special Seminar	2	通年	長田 光正(上)	演習
HS380135	特別演習(服部)	Special Seminar	2	通年	服部 義之(上)	演習
HS380136	特別演習(森)	Special Seminar	2	通年	森 正悟(上)	演習
HS380137	特別演習(福長)	Special Seminar	2	通年	福長 博(上)	演習
HS380138	特別演習(マクミー)	Special Seminar	2	通年	MCNAMEE GATHY ELIZABETH(上)	演習
HS380139	特別演習(巽)	Special Seminar	2	通年	巽 広輔(松)	演習
HS380140	特別演習(伊藤冬樹)	Special Seminar	2	通年	伊藤 冬樹(教)	演習
HS380141	特別演習(石川)	Special Seminar	2	通年	石川 厚(松)	演習
HS380142	特別演習(飯山)	Special Seminar	2	通年	飯山 拓(松)	演習
HS380143	特別演習(野村泰志)	Special Seminar	2	通年	野村 泰志(上)	演習
HS380145	特別演習(清水雅裕)	Special Seminar	2	通年	清水 雅裕(工)	演習
HS380146	特別演習(戸田)	Special Seminar	2	通年	戸田 泰徳(工)	演習
HS380147	特別演習(林)	Special Seminar	2	通年	林 文隆(工)	演習
HS380149	特別演習(濱崎)	Special Seminar	2	通年	濱崎 亜直(松)	演習
HS380150	特別演習(高橋史樹)	Special Seminar	2	通年	高橋 史樹(松)	演習
HS380151	特別演習(久富)	Special Seminar	2	通年	久富 隆史(工)	演習
HS380152	特別演習(山田哲也)	Special Seminar	2	通年	山田 哲也(工)	演習
HS380154	特別演習(嶋田)	Special Seminar	2	通年	嶋田 五百里(上)	演習
HS380155	特別演習(佐伯)	Special Seminar	2	通年	佐伯 大輔(工)	演習
HS380156	特別演習(影島)	Special Seminar	2	通年	影島 洋介(工)	演習
HS380157	特別演習(田中秀樹)	Special Seminar	2	通年	田中 秀樹(工)	演習
HS380158	特別演習(川出)	Special Seminar	2	通年	川出 健太郎(松)	演習
HS380159	特別演習(二村)	Special Seminar	2	通年	二村 竜祐(松)	演習

【山岳環境科学分野】

《生物・大気・水環境科学ユニット》

HS410100	環境影響評価特論	Advanced Course of Environmental Impact Assessment	2	通年	宮原 裕一(諏), 井田 秀行(教), 榎原 厚一(松), 笠原 里恵(松), 廣田 昌大(松)	講義
HS410200	陸水生態学特論	Advanced Limnological Ecology	2	通年	朴 虎東(松)	講義
HS410300	地水域微生物学特論	Terrestrial and Aquatic Microbiology	2	通年	國頭 恭(松)	講義
HS410500	進化多様性生物学特論	Advanced Lecture on Evolutionary Biology and Biodiversity	2	通年	東城 幸治(松)	講義
HS410600	共生生物学特論	Biology of Mutualism and Symbiosis	2	通年	市野 隆雄(松)	講義
HS410700	生物環境適応論特論	Environmental Biology	2	通年	高橋 耕一(松)	講義
HS410800	大気境界層気象学特論	Atmospheric Boundary Layer Meteorology	2	通年	岩田 拓記(松)	講義
HS410900	根圏生態学特論	Root Ecology	2	通年	牧田 直樹(松)	講義

《地殻環境科学ユニット》

HS420100	環境変動解析学特論	Stratigraphic Sequence Analysis	2	通年	山田 桂(松), 山田 昌樹(松)	講義
HS420200	地球環境変遷学特論	Paleoenvironmental Change and Historical Geology	2	通年	吉田 孝紀(松)	講義
HS420300	古環境科学特論	Clastic Sedimentology and Sedimentary Environments	2	通年	村越 直美(松)	講義
HS420400	地球熱学特論	Advanced Study of Geothermal Processes	2	通年	齋藤 武士(松), 竹下 欣宏(教), 江島 輝美(松)	講義
HS420500	山地地殻変動論特論	Tectonics of Mountains	2	通年	常盤 哲也(松), 森 宏(松), 廣内 大助(教)	講義

《環境共生学ユニット》

HS430100	環境評価学特論	Advanced Environmental Evaluation	2	通年	荒瀬 輝夫(伊), 安江 恒(伊)	講義
----------	---------	-----------------------------------	---	----	-------------------	----

※ 「担当教員」の()内は所属キャンパスで、次のように省略して標記しています。(松):松本キャンパス,(松・全):松本キャンパス全学教育センター,(諏):諏訪山岳科学研究所,(工):長野(工学)キャンパス,(伊):伊那キャンパス,(上):上田キャンパス,(教):長野(教育)キャンパス

履修登録コード	授業科目	授業科目(英字)	単位数	開講期	担当教員	授業形態
HS430200	治山砂防学特論	Advanced Forest Conservation and Erosion Control	2	通年	植木 達人(伊), 福山 泰治郎(伊), 小野 裕(伊)	講義
HS430300	森林計画学特論	Advanced Lecture in Forest Planning	2	通年	植木 達人(伊), 上村 佳奈(伊)	講義
HS430400	森林立地学特論	Advanced Lecture in Forest Environmental Science	2	通年	岡野 哲郎(伊), 小林 元(伊), 城田 徹央(伊)	講義
HS430500	農業工学特論	Advanced Agricultural Engineering	2	通年	鈴木 純(伊)	講義
HS430600	木材物理学特論	Advanced Wood Physics	2	通年	細尾 佳宏(伊)	講義
HS430700	野生動物管理学特論	Wildlife Management	2	通年	泉山 茂之(伊)	講義
HS430800	緑地計画学特論	Advanced Landscape Architecture	2	通年	大窪 久美子(伊), 上原 三知(伊)	講義
HS430900	農村計画学特論	Advanced Rural Planning	2	通年	内川 義行(伊)	講義
特別演習(論文演習)						
HS480100	特別演習(市野)	Special Seminar	2	通年	市野 隆雄(松)	演習
HS480101	特別演習(高橋耕一)	Special Seminar	2	通年	高橋 耕一(松)	演習
HS480102	特別演習(朴)	Special Seminar	2	通年	朴 虎東(松)	演習
HS480103	特別演習(東城)	Special Seminar	2	通年	東城 幸治(松)	演習
HS480104	特別演習(吉田孝紀)	Special Seminar	2	通年	吉田 孝紀(松)	演習
HS480106	特別演習(廣内)	Special Seminar	2	通年	廣内 大助教	演習
HS480107	特別演習(岡野哲郎)	Special Seminar	2	通年	岡野 哲郎(伊)	演習
HS480109	特別演習(植木)	Special Seminar	2	通年	植木 達人(伊)	演習
HS480110	特別演習(泉山)	Special Seminar	2	通年	泉山 茂之(伊)	演習
HS480111	特別演習(大窪)	Special Seminar	2	通年	大窪 久美子(伊)	演習
HS480114	特別演習(國頭)	Special Seminar	2	通年	國頭 恭(松)	演習
HS480116	特別演習(宮原)	Special Seminar	2	通年	宮原 裕一(諏)	演習
HS480117	特別演習(井田)	Special Seminar	2	通年	井田 秀行(教)	演習
HS480118	特別演習(山田桂)	Special Seminar	2	通年	山田 桂(松)	演習
HS480119	特別演習(村越)	Special Seminar	2	通年	村越 直美(松)	演習
HS480120	特別演習(竹下)	Special Seminar	2	通年	竹下 欣宏(教)	演習
HS480121	特別演習(齋藤武士)	Special Seminar	2	通年	齋藤 武士(松)	演習
HS480122	特別演習(安江)	Special Seminar	2	通年	安江 恒(伊)	演習
HS480123	特別演習(荒瀬)	Special Seminar	2	通年	荒瀬 輝夫(伊)	演習
HS480124	特別演習(細尾)	Special Seminar	2	通年	細尾 佳宏(伊)	演習
HS480126	特別演習(岩田)	Special Seminar	2	通年	岩田 拓記(松)	演習
HS480127	特別演習(牧田)	Special Seminar	2	通年	牧田 直樹(松)	演習
HS480128	特別演習(森)	Special Seminar	2	通年	森 宏(松)	演習
HS480129	特別演習(常盤)	Special Seminar	2	通年	常盤 哲也(松)	演習
HS480131	特別演習(江島)	Special Seminar	2	通年	江島 輝美(松)	演習
HS480132	特別演習(笠原)	Special Seminar	2	通年	笠原 里恵(松)	演習
HS480133	特別演習(上村)	Special Seminar	2	通年	上村 佳奈(伊)	演習
HS480134	特別演習(小林)	Special Seminar	2	通年	小林 元(伊)	演習
【生物・生命科学分野】						
《先端生命科学ユニット》						
HS510100	きのこ資源科学特論	Advanced Mushroom Resource Science	2	通年	山田 明義(伊)	講義
HS510200	植物病理学特論	Advanced Plant Pathology	2	通年	加藤 新平(伊)	講義
HS510300	土壌生物学特論	Advanced Soil Biology	2	通年	齋藤 勝晴(伊)	講義
HS510400	動物発生工学特論	Advanced Animal Biotechnology	2	通年	高木 優二(伊)	講義
HS510500	分子生命工学特論	Molecular Biotechnology	2	通年	下里 剛士(伊), 高谷 智英(伊)	講義
HS510600	ケミカルバイオロジー特論	Frontiers in Chemical Biology	2	通年	大神田 淳子(伊), 細見 昭(伊), 喜井 勲(伊)	講義
HS510700	遺伝情報制御論特論	Regulation of Genetic Information	2	通年	鈴木 俊介(伊), 久保 浩義(松), 伊藤 靖夫(松・全), 柴田 直樹(松), 高梨 功次郎(松), 小笠原 慎治(松), 中村 美紀子(松)	講義
《食品生命科学ユニット》						
HS520100	食品微生物学特論	Advanced Food Microbiology	2	通年	池田 正人(伊), 竹野 誠記(伊)	講義
HS520200	食品遺伝子工学特論	Advanced Genetic Engineering for Food	2	通年	千 菊夫(伊)	講義
HS520300	食品機能解析学特論	Advanced Food Functional Analysis	2	通年	藤田 智之(伊), 濱渦 康範(伊), 筒井 歩(伊)	講義
HS520400	食品有機化学特論	Advanced Organic Chemistry for Food	2	通年	真壁 秀文(伊)	講義
HS520500	食品分子工学特論	Advanced Food Biotechnology	2	通年	中村 浩蔵(伊)	講義
HS520600	食品分子化学特論	Advanced Food Chemistry	2	通年	片山 茂(伊), 三谷 墨一(伊)	講義
HS520700	食品機能学特論	Advanced Food Bioscience	2	通年	河原 岳志(伊), 田中 沙智(伊)	講義
《生物資源科学ユニット》						
HS530100	栽培・園芸学特論	Horticultural Science	2	通年	春日 重光(伊), 阿久津 雅子(伊)	講義
HS530200	生産環境農学特論	Advanced Agronomy and Environmental Management	2	通年	萩原 素之(伊), 渡邊 修(伊), 松浦 朝奈(伊)	講義

※ 「担当教員」の()内は所属キャンパスで、次のように省略して標記しています。(松):松本キャンパス,(松・全):松本キャンパス全学教育センター,(諏):諏訪山岳科学研究所,(工):長野(工学)キャンパス,(伊):伊那キャンパス,(上):上田キャンパス,(教):長野(教育)キャンパス

履修登録コード	授業科目	授業科目(英字)	単位数	開講期	担当教員	授業形態
HS530300	植物資源育種学特論	Plant Breeding and Resources Science	2	通年	松島 憲一(伊), 根本 和洋(伊)	講義
HS530400	動物栄養学特論	Advanced Animal Nutrition	2	通年	上野 豊(伊), 徳武 優佳子(伊)	講義
HS530500	動物行動管理学特論	Advanced Applied Ethology	2	通年	竹田 謙一(伊)	講義
HS530600	動物生体機構学特論	Advanced Animal Functional Anatomy	2	通年	平松 浩二(伊)	講義
特別演習(論文演習)						
HS580100	特別演習(久保)	Special Seminar	2	通年	久保 浩義(松)	演習
HS580101	特別演習(大神田)	Special Seminar	2	通年	大神田 淳子(伊)	演習
HS580103	特別演習(真壁)	Special Seminar	2	通年	真壁 秀文(伊)	演習
HS580104	特別演習(池田)	Special Seminar	2	通年	池田 正人(伊)	演習
HS580105	特別演習(藤田)	Special Seminar	2	通年	藤田 智之(伊)	演習
HS580106	特別演習(春日)	Special Seminar	2	通年	春日 重光(伊)	演習
HS580108	特別演習(萩原)	Special Seminar	2	通年	萩原 素之(伊)	演習
HS580109	特別演習(平松浩二)	Special Seminar	2	通年	平松 浩二(伊)	演習
HS580110	特別演習(伊藤靖夫)	Special Seminar	2	通年	伊藤 靖夫(松・全)	演習
HS580111	特別演習(下里)	Special Seminar	2	通年	下里 剛士(伊)	演習
HS580112	特別演習(加藤新平)	Special Seminar	2	通年	加藤 新平(伊)	演習
HS580113	特別演習(山田明義)	Special Seminar	2	通年	山田 明義(伊)	演習
HS580114	特別演習(柴田)	Special Seminar	2	通年	柴田 直樹(松)	演習
HS580115	特別演習(齋藤勝晴)	Special Seminar	2	通年	齋藤 勝晴(伊)	演習
HS580116	特別演習(河原岳志)	Special Seminar	2	通年	河原 岳志(伊)	演習
HS580117	特別演習(中村浩蔵)	Special Seminar	2	通年	中村 浩蔵(伊)	演習
HS580118	特別演習(片山)	Special Seminar	2	通年	片山 茂(伊)	演習
HS580119	特別演習(松島)	Special Seminar	2	通年	松島 憲一(伊)	演習
HS580120	特別演習(竹田)	Special Seminar	2	通年	竹田 謙一(伊)	演習
HS580121	特別演習(渡邊修)	Special Seminar	2	通年	渡邊 修(伊)	演習
HS580122	特別演習(高梨)	Special Seminar	2	通年	高梨 功次郎(松)	演習
HS580123	特別演習(上野)	Special Seminar	2	通年	上野 豊(伊)	演習
HS580124	特別演習(鈴木俊介)	Special Seminar	2	通年	鈴木 俊介(伊)	演習
HS580125	特別演習(田中沙智)	Special Seminar	2	通年	田中 沙智(伊)	演習
HS580126	特別演習(瀧渦)	Special Seminar	2	通年	瀧渦 康範(伊)	演習
HS580127	特別演習(喜井)	Special Seminar	2	通年	喜井 勲(伊)	演習
HS580128	特別演習(高谷)	Special Seminar	2	通年	高谷 智英(伊)	演習
HS580129	特別演習(中村)	Special Seminar	2	通年	中村 美紀子(松)	演習
【数理・社会システム科学分野】						
《建築環境システム工学ユニット》						
HS610100	建築保全再生学特論	Advanced Lectures on Conservation of Historic Buildings	2	通年	土本 俊和(工), 寺内 美紀子(工), 梅干野 成央(工), 羽藤 広輔(工), 佐倉 弘祐(工)	講義
HS610200	サステナブル建築学特論	Advanced Lectures on Sustainable Architecture	2	通年	高村 秀紀(工), 柳瀬 亮太(工), 中谷 岳史(工)	講義
HS610300	建築情報システム学特論	Advanced Lectures on Computer Science for Building Engineering	2	通年	岩井 一博(工), 遠藤 洋平(工), 松田 昌洋(工)	講義
《水環境・土木システム工学ユニット》						
HS620100	軟弱地盤防災学特論	Disasters Prevention of Soft Ground	2	通年	梅崎 健夫(工), 河村 隆(工)	講義
HS620200	水文水資源工学特論	Advanced Hydrology and Water Resources	2	通年	吉谷 純一(工), 松本 明人(工), 豊田 政史(工), 小松 一弘(工)	講義
HS620300	土木工学システム特論	Advanced Civil Engineering Systems	2	通年	小山 茂(工), 近広 雄希(工), 高瀬 達夫(工), 森本 瑛士(工)	講義
《数理情報システム科学ユニット》						
HS630100	無限次元システム解析特論	Infinite Dimensional Analysis	2	通年	福田 一貴(工)	講義
HS630200	数理物理学特論	Advanced Mathematical Physics	2	通年	大野 博道(工), 鈴木 章斗(工), 松澤 泰道(教)	講義
HS630300	確率過程特論	Theory of Stochastic Processes	2	通年	乙部 徹己(松), XIE BIN(松)	講義
HS630400	関数空間特論	Theory of Function Spaces	2	通年	佐々木 格(松)	講義
HS630500	偏微分方程式特論	Advanced Partial Differential Equations	2	通年	谷内 靖(松), TRUSHIN IGOR(松), 宮西 吉久(松)	講義
HS630600	有限群の表現論特論	Advanced Representation Theory of Finite Groups	2	通年	花木 章秀(松)	講義

※ 「担当教員」の()内は所属キャンパスで、次のように省略して標記しています。(松):松本キャンパス, (松・全):松本キャンパス全学教育センター, (諏):諏訪山岳科学研究所, (工):長野(工学)キャンパス, (伊):伊那キャンパス, (上):上田キャンパス, (教):長野(教育)キャンパス

履修登録コード	授業科目	授業科目(英字)	単位数	開講期	担当教員	授業形態
HS630700	多元環論特論	Theory of Algebra	2	通年	和田 堅太郎(松)	講義
HS630800	位相幾何学特論	Advanced Topics in Topology	2	通年	玉木 大(松), 栗林 勝彦(松), 境圭一(松), 片長 敦子(松・全), 田中 康平(松)	講義
HS630900	微分幾何学特論	Advanced Differential Geometry	2	通年	高野 嘉寿彦(松・全), 昆 万佑子(教)	講義
HS631000	非線形現象論特論	Mathematical Methods of Nonlinear Phenomena	2	通年	中山 一昭(松)	講義
特別演習(論文演習)						
HS680100	特別演習(土本)	Special Seminar	2	通年	土本 俊和(工)	演習
HS680103	特別演習(吉谷)	Special Seminar	2	通年	吉谷 純一(工)	演習
HS680104	特別演習(梅崎)	Special Seminar	2	通年	梅崎 健夫(工)	演習
HS680106	特別演習(栗林)	Special Seminar	2	通年	栗林 勝彦(松)	演習
HS680107	特別演習(高野)	Special Seminar	2	通年	高野 嘉寿彦(松・全)	演習
HS680108	特別演習(谷内)	Special Seminar	2	通年	谷内 靖(松)	演習
HS680109	特別演習(玉木)	Special Seminar	2	通年	玉木 大(松)	演習
HS680111	特別演習(花木)	Special Seminar	2	通年	花木 章秀(松)	演習
HS680112	特別演習(岩井)	Special Seminar	2	通年	岩井 一博(工)	演習
HS680113	特別演習(高村)	Special Seminar	2	通年	高村 秀紀(工)	演習
HS680114	特別演習(寺内)	Special Seminar	2	通年	寺内 美紀子(工)	演習
HS680115	特別演習(梅千野)	Special Seminar	2	通年	梅千野 成央(工)	演習
HS680116	特別演習(柳瀬)	Special Seminar	2	通年	柳瀬 亮太(工)	演習
HS680117	特別演習(羽藤)	Special Seminar	2	通年	羽藤 広輔(工)	演習
HS680118	特別演習(河村隆:工)	Special Seminar	2	通年	河村 隆(工)	演習
HS680119	特別演習(高瀬)	Special Seminar	2	通年	高瀬 達夫(工)	演習
HS680120	特別演習(小山茂)	Special Seminar	2	通年	小山 茂(工)	演習
HS680121	特別演習(豊田)	Special Seminar	2	通年	豊田 政史(工)	演習
HS680122	特別演習(大野)	Special Seminar	2	通年	大野 博道(工)	演習
HS680123	特別演習(乙部)	Special Seminar	2	通年	乙部 徹己(松)	演習
HS680124	特別演習(片長)	Special Seminar	2	通年	片長 敦子(松・全)	演習
HS680126	特別演習(昆)	Special Seminar	2	通年	昆 万佑子(教)	演習
HS680127	特別演習(境)	Special Seminar	2	通年	境 圭一(松)	演習
HS680128	特別演習(佐々木)	Special Seminar	2	通年	佐々木 格(松)	演習
HS680129	特別演習(謝)	Special Seminar	2	通年	XIE BIN(謝賓)(松)	演習
HS680130	特別演習(中山)	Special Seminar	2	通年	中山 一昭(松)	演習
HS680132	特別演習(和田)	Special Seminar	2	通年	和田 堅太郎(松)	演習
HS680133	特別演習(鈴木章斗)	Special Seminar	2	通年	鈴木 章斗(工)	演習
HS680136	特別演習(遠藤)	Special Seminar	2	通年	遠藤 洋平(工)	演習
HS680138	特別演習(近広)	Special Seminar	2	通年	近広 雄希(工)	演習
HS680141	特別演習(松澤)	Special Seminar	2	通年	松澤 泰道(教)	演習
HS680142	特別演習(中谷)	Special Seminar	2	通年	中谷 岳史(工)	演習
HS680143	特別演習(TRUSHIN IGOR)	Special Seminar	2	通年	TRUSHIN IGOR(松)	演習
HS680145	特別演習(福田)	Special Seminar	2	通年	福田 一貴(工)	演習
HS680146	特別演習(田中康平)	Special Seminar	2	通年	田中 康平(松)	演習
HS680147	特別演習(宮西)	Special Seminar	2	通年	宮西 吉久(松)	演習
HS680148	特別演習(小松)	Special Seminar	2	通年	小松 一弘(工)	演習
HS680149	特別演習(佐倉)	Special Seminar	2	通年	佐倉 弘祐(工)	演習

【研究科共通科目】

履修登録コード	授業科目	授業科目(英字)	単位数	講義期間	担当教員	授業形態
HZ800100	先鋭領域融合研究群最先端研究特講	State-of-the-art research special lecture by Interdisciplinary Cluster for Cutting Edge Research	2	通年	柴 祐司(松) 他	講義
HZ900200	知財管理特講	Intellectual Property Management	2	前期	松山 紀里子(松)	講義

【専攻共通科目】

特別課題演習(研究会・学会演習)

【ファイバー工学分野】

履修登録コード	授業科目	授業科目(英字)	単位数	講義期間	担当教員	授業形態
HS810101	特別課題演習(梶浦)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	梶浦 善太(上)	演習
HS810104	特別課題演習(森脇)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	森脇 洋(上)	演習

※「担当教員」の()内は所属キャンパスで、次のように省略して標記しています。(松):松本キャンパス,(松・全):松本キャンパス全学教育センター,(諏):諏訪山岳科学研究所,(工):長野(工学)キャンパス,(伊):伊那キャンパス,(上):上田キャンパス,(教):長野(教育)キャンパス

履修登録 コード	授業科目	授業科目(英字)	単 位 数	開講 期	担当教員	授業 形態
HS810105	特別課題演習(大川)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	大川 浩作(上)	演習
HS810106	特別課題演習(平林)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	平林 公男(上)	演習
HS810107	特別課題演習(保地)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	保地 眞一(上)	演習
HS810108	特別課題演習(林田)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	林田 信明(上)	演習
HS810109	特別課題演習(後藤)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	後藤 康夫(上)	演習
HS810111	特別課題演習(森川)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	森川 英明(上)	演習
HS810112	特別課題演習(大越)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	大越 豊(上)	演習
HS810113	特別課題演習(木村睦)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	木村 睦(上)	演習
HS810114	特別課題演習(木村裕和)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	木村 裕和(上)	演習
HS810115	特別課題演習(鈴木正浩)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	鈴木 正浩(上)	演習
HS810117	特別課題演習(杉本)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	杉本 渉(上)	演習
HS810118	特別課題演習(市川)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	市川 結(上)	演習
HS810119	特別課題演習(浅尾)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	浅尾 直樹(上)	演習
HS810120	特別課題演習(渡邊真志)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	渡邊 真志(上)	演習
HS810123	特別課題演習(上條)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	上條 正義(上)	演習
HS810125	特別課題演習(高寺)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	高寺 政行(上)	演習
HS810127	特別課題演習(塩見)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	塩見 邦博(上)	演習
HS810128	特別課題演習(山本)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	山本 博規(上)	演習
HS810129	特別課題演習(松村英生)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	松村 英生(上)	演習
HS810130	特別課題演習(新井)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	新井 亮一(上)	演習
HS810131	特別課題演習(田口)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	田口 悟朗(上)	演習
HS810132	特別課題演習(白井孝治)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	白井 孝治(上)	演習
HS810133	特別課題演習(堀江)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	堀江 智明(上)	演習
HS810134	特別課題演習(野崎)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	野崎 功一(工)	演習
HS810135	特別課題演習(野川)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	野川 優洋(上)	演習
HS810136	特別課題演習(野村隆臣)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	野村 隆臣(上)	演習
HS810137	特別課題演習(金慶孝)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	KIM KYOUNG HOU(上)	演習
HS810138	特別課題演習(佐藤高彰)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	佐藤 高彰(上)	演習
HS810140	特別課題演習(若月)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	若月 薫(上)	演習
HS810141	特別課題演習(田中稔久)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	田中 稔久(上)	演習
HS810142	特別課題演習(平田)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	平田 雄一(上)	演習
HS810143	特別課題演習(金翼水)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	KIM ICKSOO(上)	演習
HS810145	特別課題演習(夏木)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	夏木 俊明(上)	演習
HS810146	特別課題演習(荒木)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	荒木 潤(上)	演習
HS810147	特別課題演習(寺本)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	寺本 彰(上)	演習
HS810148	特別課題演習(小駒)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	小駒 喜郎(上)	演習
HS810149	特別課題演習(小山俊樹)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	小山 俊樹(上)	演習
HS810150	特別課題演習(西井)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	西井 良典(上)	演習
HS810151	特別課題演習(藤本)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	藤本 哲也(上)	演習
HS810152	特別課題演習(鈴木大介)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	鈴木 大介(上)	演習
HS810153	特別課題演習(河村隆: 上)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	河村 隆(上)	演習
HS810154	特別課題演習(吉田宏昭)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	吉田 宏昭(上)	演習
HS810155	特別課題演習(金井)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	金井 博幸(上)	演習
HS810156	特別課題演習(佐古井)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	佐古井 智紀(上)	演習
HS810158	特別課題演習(堀場)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	堀場 洋輔(上)	演習
HS810160	特別課題演習(坂口)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	坂口 明男(上)	演習
HS810161	特別課題演習(吉武)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	吉武 康栄(上)	演習
HS810163	特別課題演習(高坂)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	高坂 泰弘(上)	演習
HS810164	特別課題演習(高島)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	高島 誠司(上)	演習
HS810165	特別課題演習(KIM KYOUNGOK)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	KIM KYOUNGOK(上)	演習
HS810166	特別課題演習(梅館)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	梅館 拓也(上)	演習
HS810167	特別課題演習(渡辺健太 郎)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	渡辺 健太郎(上)	演習
HS810168	特別課題演習(ZHU CHUNHONG)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	ZHU CHUNHONG(上)	演習
HS810169	特別課題演習(根岸)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	根岸 淳(上)	演習
HS810170	特別課題演習(橋本)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	橋本 朋子(上)	演習
HS810171	特別課題演習(小笠原)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	小笠原 寛(上)	演習
HS810172	特別課題演習(秋山)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	秋山 靖博(上)	演習
HS810173	特別課題演習(児山)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	児山 祥平(上)	演習
HS810174	特別課題演習(施)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	施 建(上)	演習
HS810175	特別課題演習(結城)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	結城 匡啓(教)	演習
【エネルギー・システム工学分野】						
HS820100	特別課題演習(劉)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	LIU XIAOXI(工)	演習
HS820101	特別課題演習(伊東)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	伊東 栄次(工)	演習
HS820102	特別課題演習(橋本佳男)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	橋本 佳男(工)	演習
HS820103	特別課題演習(佐藤敏郎)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	佐藤 敏郎(工)	演習
HS820104	特別課題演習(水野)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	水野 勉(工)	演習
HS820105	特別課題演習(林)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	林 卓哉(工)	演習
HS820106	特別課題演習(澤田)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	澤田 圭司(工)	演習

※ 「担当教員」の()内は所属キャンパスで、次のように省略して標記しています。(松):松本キャンパス,(松・全):松本キャンパス全学教育センター,(諏):諏訪山岳科学研究所,(工):長野(工学)キャンパス,(伊):伊那キャンパス,(上):上田キャンパス,(教):長野(教育)キャンパス

履修登録 コード	授業科目	授業科目(英字)	単 位 数	開 講 期	担当教員	授 業 形 態
HS820107	特別課題演習(アサノ)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	ASANO DAVID KEN(工)	演習
HS820108	特別課題演習(田中)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	田中 清(工)	演習
HS820110	特別課題演習(丸山)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	丸山 稔(工)	演習
HS820111	特別課題演習(香山)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	香山 瑞恵(工)	演習
HS820114	特別課題演習(和崎)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	和崎 克己(工)	演習
HS820116	特別課題演習(笹森)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	笹森 文仁(工)	演習
HS820117	特別課題演習(吉野)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	吉野 正人(工)	演習
HS820118	特別課題演習(佐藤運海)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	佐藤 運海(教)	演習
HS820119	特別課題演習(榊)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	榊 和彦(工)	演習
HS820120	特別課題演習(松原)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	松原 雅春(工)	演習
HS820122	特別課題演習(千田)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	千田 有一(工)	演習
HS820123	特別課題演習(中村正行)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	中村 正行(工)	演習
HS820124	特別課題演習(辺見)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	辺見 信彦(工)	演習
HS820126	特別課題演習(宮地)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	宮地 幸祐(工)	演習
HS820127	特別課題演習(上口)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	上口 光(工)	演習
HS820128	特別課題演習(曾根原)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	曾根原 誠(工)	演習
HS820129	特別課題演習(太子)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	太子 敏則(工)	演習
HS820130	特別課題演習(竹内)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	竹内 健司(工)	演習
HS820131	特別課題演習(田代晋久)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	田代 晋久(工)	演習
HS820132	特別課題演習(番場)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	番場 教子(工)	演習
HS820134	特別課題演習(アギレ)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	AGUIRRE DURAN HERNAN EDUARDO(工)	演習
HS820135	特別課題演習(カワモト)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	KAWAMOTO PAULINE NAOMI(工)	演習
HS820136	特別課題演習(岡野浩三)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	岡野 浩三(工)	演習
HS820137	特別課題演習(宮尾)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	宮尾 秀俊(工)	演習
HS820138	特別課題演習(橋本昌巳)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	橋本 昌巳(工)	演習
HS820139	特別課題演習(小林一樹)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	小林 一樹(工)	演習
HS820141	特別課題演習(西新)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	西新 幹彦(工)	演習
HS820142	特別課題演習(川原琢也)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	川原 琢也(工)	演習
HS820143	特別課題演習(田久)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	田久 修(工)	演習
HS820144	特別課題演習(藤原)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	藤原 洋志(工)	演習
HS820145	特別課題演習(白井啓一 郎)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	白井 啓一郎(工)	演習
HS820146	特別課題演習(亀山)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	亀山 正樹(工)	演習
HS820147	特別課題演習(吉田尚史)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	吉田 尚史(工)	演習
HS820148	特別課題演習(牛)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	牛 立斌(工)	演習
HS820149	特別課題演習(酒井)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	酒井 悟(工)	演習
HS820150	特別課題演習(松中)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	松中 大介(工)	演習
HS820151	特別課題演習(杉岡)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	杉岡 秀行(工)	演習
HS820152	特別課題演習(川久保)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	川久保 英樹(教)	演習
HS820153	特別課題演習(中山)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	中山 昇(工)	演習
HS820154	特別課題演習(飯尾)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	飯尾 昭一郎(工)	演習
HS820155	特別課題演習(浅岡)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	浅岡 龍徳(工)	演習
HS820156	特別課題演習(高山)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	高山 潤也(工)	演習
HS820157	特別課題演習(西村正臣)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	西村 正臣(工)	演習
HS820158	特別課題演習(山崎公俊)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	山崎 公俊(工)	演習
HS820160	特別課題演習(MYO)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	SAI MYO THAN HTAY(工)	演習
HS820161	特別課題演習(村松)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	村松 寛之(工)	演習
HS820162	特別課題演習(岡崎)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	岡崎 裕之(工)	演習
HS820165	特別課題演習(小形)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	小形 真平(工)	演習
HS820166	特別課題演習(富田)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	富田 孝幸(工)	演習
HS820167	特別課題演習(藤井雅留 太)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	藤井 雅留太(工)	演習
HS820170	特別課題演習(鈴木康祐)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	鈴木 康祐(工)	演習
HS820172	特別課題演習(佐藤光秀)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	佐藤 光秀(工)	演習
HS820173	特別課題演習(種村)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	種村 昌也(工)	演習
HS820174	特別課題演習(浦上)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	浦上 法之(工)	演習
HS820175	特別課題演習(跡部)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	跡部 隆(工)	演習
HS820176	特別課題演習(畑)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	畑 秀明(工)	演習
HS820177	特別課題演習(佐藤真平)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	佐藤 真平(工)	演習
【物質創成科学分野】						
HS830100	特別課題演習(新井)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	新井 進(工)	演習
HS830101	特別課題演習(手嶋)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	手嶋 勝弥(工)	演習
HS830102	特別課題演習(奥村)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	奥村 幸久(工)	演習
HS830103	特別課題演習(錦織)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	錦織 広昌(工)	演習
HS830104	特別課題演習(菅)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	菅 博幸(工)	演習
HS830105	特別課題演習(樽田)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	樽田 誠一(工)	演習
HS830107	特別課題演習(天児)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	天児 寧(松)	演習
HS830108	特別課題演習(小竹)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	小竹 悟(松)	演習
HS830109	特別課題演習(川村嘉春)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	川村 嘉春(松)	演習

※ 「担当教員」の()内は所属キャンパスで、次のように省略して標記しています。(松):松本キャンパス,(松・全):松本キャンパス全学教育センター,(諏):諏訪山岳科学研究所,(工):長野(工学)キャンパス,(伊):伊那キャンパス,(上):上田キャンパス,(教):長野(教育)キャンパス

履修登録 コード	授業科目	授業科目(英字)	単 位 数	開 講 期	担当教員	授 業 形 態
HS830110	特別課題演習(天谷)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	天谷 健一(教)	演習
HS830111	特別課題演習(樋口)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	樋口 雅彦(松)	演習
HS830112	特別課題演習(宇佐美)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	宇佐美 久尚(上)	演習
HS830113	特別課題演習(高橋伸英)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	高橋 伸英(上)	演習
HS830114	特別課題演習(村上)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	村上 泰(上)	演習
HS830115	特別課題演習(金継業)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	金 継業(松)	演習
HS830116	特別課題演習(勝木)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	勝木 明夫(松・全)	演習
HS830117	特別課題演習(大木)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	大木 寛(松)	演習
HS830118	特別課題演習(太田)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	太田 哲(松)	演習
HS830119	特別課題演習(岡田)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	岡田 友彦(工)	演習
HS830120	特別課題演習(酒井)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	酒井 俊郎(工)	演習
HS830121	特別課題演習(是津)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	是津 信行(工)	演習
HS830122	特別課題演習(山口)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	山口 朋浩(工)	演習
HS830123	特別課題演習(清野)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	清野 竜太郎(工)	演習
HS830124	特別課題演習(田中伸明)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	田中 伸明(工)	演習
HS830126	特別課題演習(安達)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	安達 弘通(松・全)	演習
HS830127	特別課題演習(奥山)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	奥山 和美(松)	演習
HS830128	特別課題演習(中島)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	中島 美帆(松)	演習
HS830129	特別課題演習(長谷川)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	長谷川 庸司(松)	演習
HS830130	特別課題演習(加藤千尋)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	加藤 千尋(松)	演習
HS830131	特別課題演習(宮丸)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	宮丸 文章(松)	演習
HS830132	特別課題演習(三澤)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	三澤 透(松・全)	演習
HS830133	特別課題演習(志水久)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	志水 久(松)	演習
HS830134	特別課題演習(長田)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	長田 光正(上)	演習
HS830135	特別課題演習(服部)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	服部 義之(上)	演習
HS830136	特別課題演習(森)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	森 正悟(上)	演習
HS830137	特別課題演習(福長)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	福長 博(上)	演習
HS830138	特別課題演習(マクナニー)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	MCNAMEE CATHY ELIZABETH(上)	演習
HS830139	特別課題演習(巽)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	巽 広輔(松)	演習
HS830140	特別課題演習(伊藤冬樹)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	伊藤 冬樹(教)	演習
HS830141	特別課題演習(石川)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	石川 厚(松)	演習
HS830142	特別課題演習(飯山)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	飯山 拓(松)	演習
HS830143	特別課題演習(野村泰志)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	野村 泰志(上)	演習
HS830145	特別課題演習(清水雅裕)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	清水 雅裕(工)	演習
HS830146	特別課題演習(戸田)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	戸田 泰徳(工)	演習
HS830147	特別課題演習(林)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	林 文隆(工)	演習
HS830149	特別課題演習(濱崎)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	濱崎 亜富(松)	演習
HS830150	特別課題演習(高橋史樹)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	高橋 史樹(松)	演習
HS830151	特別課題演習(久富)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	久富 隆史(工)	演習
HS830152	特別課題演習(山田哲也)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	山田 哲也(工)	演習
HS830154	特別課題演習(嶋田)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	嶋田 五百里(上)	演習
HS830155	特別課題演習(佐伯)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	佐伯 大輔(工)	演習
HS830156	特別課題演習(影島)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	影島 洋介(工)	演習
HS830157	特別課題演習(田中秀樹)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	田中 秀樹(工)	演習
HS830158	特別課題演習(川出)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	川出 健太郎(松)	演習
HS830159	特別課題演習(二村)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	二村 竜祐(松)	演習
【山岳環境科学分野】						
HS840100	特別課題演習(市野)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	市野 隆雄(松)	演習
HS840101	特別課題演習(高橋耕一)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	高橋 耕一(松)	演習
HS840102	特別課題演習(朴)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	朴 虎東(松)	演習
HS840103	特別課題演習(東城)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	東城 幸治(松)	演習
HS840104	特別課題演習(吉田孝紀)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	吉田 孝紀(松)	演習
HS840106	特別課題演習(廣内)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	廣内 大助(教)	演習
HS840107	特別課題演習(岡野哲郎)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	岡野 哲郎(伊)	演習
HS840109	特別課題演習(植木)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	植木 達人(伊)	演習
HS840110	特別課題演習(泉山)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	泉山 茂之(伊)	演習
HS840111	特別課題演習(大窪)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	大窪 久美子(伊)	演習
HS840114	特別課題演習(國頭)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	國頭 恭(松)	演習
HS840116	特別課題演習(宮原)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	宮原 裕一(諏)	演習
HS840117	特別課題演習(井田)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	井田 秀行(教)	演習
HS840118	特別課題演習(山田桂)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	山田 桂(松)	演習
HS840119	特別課題演習(村越)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	村越 直美(松)	演習
HS840120	特別課題演習(竹下)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	竹下 欣宏(教)	演習
HS840121	特別課題演習(齋藤武士)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	齋藤 武士(松)	演習
HS840122	特別課題演習(安江)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	安江 恒(伊)	演習
HS840123	特別課題演習(荒瀬)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	荒瀬 輝夫(伊)	演習
HS840124	特別課題演習(細尾)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	細尾 佳宏(伊)	演習
HS840126	特別課題演習(岩田)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	岩田 拓記(松)	演習
HS840127	特別課題演習(牧田)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	牧田 直樹(松)	演習
HS840128	特別課題演習(森)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	森 宏(松)	演習

※ 「担当教員」の()内は所属キャンパスで、次のように省略して標記しています。(松):松本キャンパス,(松・全):松本キャンパス全学教育センター,(諏):諏訪山岳科学研究所,(工):長野(工学)キャンパス,(伊):伊那キャンパス,(上):上田キャンパス,(教):長野(教育)キャンパス

履修登録 コード	授業科目	授業科目(英字)	単 位 数	開講 期	担当教員	授業 形態
HS840129	特別課題演習(常盤)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	常盤 哲也(松)	演習
HS840131	特別課題演習(江島)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	江島 輝美(松)	演習
HS840132	特別課題演習(笠原)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	笠原 里恵(松)	演習
HS840133	特別課題演習(上村)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	上村 佳奈(伊)	演習
HS840134	特別課題演習(小林)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	小林 元(伊)	演習
【生物・生命科学分野】						
HS850100	特別課題演習(久保)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	久保 浩義(松)	演習
HS850101	特別課題演習(大神田)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	大神田 淳子(伊)	演習
HS850103	特別課題演習(真壁)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	真壁 秀文(伊)	演習
HS850104	特別課題演習(池田)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	池田 正人(伊)	演習
HS850105	特別課題演習(藤田)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	藤田 智之(伊)	演習
HS850106	特別課題演習(春日)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	春日 重光(伊)	演習
HS850108	特別課題演習(萩原)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	萩原 素之(伊)	演習
HS850109	特別課題演習(平松浩二)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	平松 浩二(伊)	演習
HS850110	特別課題演習(伊藤靖夫)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	伊藤 靖夫(松・全)	演習
HS850111	特別課題演習(下里)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	下里 剛士(伊)	演習
HS850112	特別課題演習(加藤新平)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	加藤 新平(伊)	演習
HS850113	特別課題演習(山田明義)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	山田 明義(伊)	演習
HS850114	特別課題演習(柴田)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	柴田 直樹(松)	演習
HS850115	特別課題演習(齋藤勝晴)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	齋藤 勝晴(伊)	演習
HS850116	特別課題演習(河原岳志)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	河原 岳志(伊)	演習
HS850117	特別課題演習(中村浩蔵)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	中村 浩蔵(伊)	演習
HS850118	特別課題演習(片山)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	片山 茂(伊)	演習
HS850119	特別課題演習(松島)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	松島 憲一(伊)	演習
HS850120	特別課題演習(竹田)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	竹田 謙一(伊)	演習
HS850121	特別課題演習(渡邊修)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	渡邊 修(伊)	演習
HS850122	特別課題演習(高梨)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	高梨 功次郎(松)	演習
HS850123	特別課題演習(上野)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	上野 豊(伊)	演習
HS850124	特別課題演習(鈴木俊介)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	鈴木 俊介(伊)	演習
HS850125	特別課題演習(田中沙智)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	田中 沙智(伊)	演習
HS850126	特別課題演習(濱渦)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	濱渦 康範(伊)	演習
HS850127	特別課題演習(喜井)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	喜井 勲(伊)	演習
HS850128	特別課題演習(高谷)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	高谷 智英(伊)	演習
HS850129	特別課題演習(中村)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	中村 美紀子(松)	演習
【数理・社会システム科学分野】						
HS860100	特別課題演習(土本)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	土本 俊和(工)	演習
HS860103	特別課題演習(吉谷)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	吉谷 純一(工)	演習
HS860104	特別課題演習(梅崎)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	梅崎 健夫(工)	演習
HS860106	特別課題演習(栗林)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	栗林 勝彦(松)	演習
HS860107	特別課題演習(高野)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	高野 嘉寿彦(松・全)	演習
HS860108	特別課題演習(谷内)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	谷内 靖(松)	演習
HS860109	特別課題演習(玉木)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	玉木 大(松)	演習
HS860111	特別課題演習(花木)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	花木 章寿(松)	演習
HS860112	特別課題演習(岩井)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	岩井 一博(工)	演習
HS860113	特別課題演習(高村)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	高村 秀紀(工)	演習
HS860114	特別課題演習(寺内)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	寺内 美紀子(工)	演習
HS860115	特別課題演習(梅干野)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	梅干野 成央(工)	演習
HS860116	特別課題演習(柳瀬)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	柳瀬 亮太(工)	演習
HS860117	特別課題演習(羽藤)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	羽藤 広輔(工)	演習
HS860118	特別課題演習(河村隆: 工)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	河村 隆(工)	演習
HS860119	特別課題演習(高瀬)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	高瀬 達夫(工)	演習
HS860120	特別課題演習(小山茂)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	小山 茂(工)	演習
HS860121	特別課題演習(豊田)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	豊田 政史(工)	演習
HS860122	特別課題演習(大野)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	大野 博道(工)	演習
HS860123	特別課題演習(乙部)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	乙部 厳己(松)	演習
HS860124	特別課題演習(片長)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	片長 敦子(松・全)	演習
HS860126	特別課題演習(昆)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	昆 万佑子(教)	演習
HS860127	特別課題演習(境)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	境 圭一(松)	演習
HS860128	特別課題演習(佐々木)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	佐々木 格(松)	演習
HS860129	特別課題演習(謝)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	XIE BIN(謝賓)(松)	演習
HS860130	特別課題演習(中山)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	中山 一昭(松)	演習
HS860132	特別課題演習(和田)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	和田 堅太郎(松)	演習
HS860133	特別課題演習(鈴木章斗)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	鈴木 章斗(工)	演習
HS860136	特別課題演習(遠藤)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	遠藤 洋平(工)	演習
HS860138	特別課題演習(近広)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	近広 雄希(工)	演習
HS860141	特別課題演習(松澤)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	松澤 泰道(教)	演習
HS860142	特別課題演習(中谷)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	中谷 岳史(工)	演習
HS860143	特別課題演習(TRUSHIN IGOR)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	TRUSHIN IGOR(松)	演習

※「担当教員」の()内は所属キャンパスで、次のように省略して標記しています。(松):松本キャンパス,(松・全):松本キャンパス全学教育センター,(諏):諏訪山岳科学研究所,(工):長野(工学)キャンパス,(伊):伊那キャンパス,(上):上田キャンパス,(教):長野(教育)キャンパス

履修登録 コード	授業科目	授業科目(英字)	単位 数	開講 期	担当教員	授業 形態
HS860145	特別課題演習(福田)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	福田 一貴(工)	演習
HS860146	特別課題演習(田中康平)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	田中 康平(松)	演習
HS860147	特別課題演習(宮西)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	宮西 吉久(松)	演習
HS860148	特別課題演習(小松)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	小松 一弘(工)	演習
HS860149	特別課題演習(佐倉)	Special Seminar on Research Subject	2	通年	佐倉 弘祐(工)	演習
講義科目						
HS900100	科学技術政策特論(隔年開講2024年度開講)	Science and Technology Policy	2	非開講		講義
HS910000	長期インターンシップ(1単位)	Long-term Internship	1	通年	玉木 大(研究科長)	実習
HS920000	長期インターンシップ(2単位)	Long-term Internship	2	通年	玉木 大(研究科長)	実習
HS990000	学外研修	Training Outside the University	2	通年		実習

※ 「担当教員」の()内は所属キャンパスで、次のように省略して標記しています。(松):松本キャンパス,(松・全):松本キャンパス全学教育センター,(諏):諏訪山岳科学研究所,(工):長野(工学)キャンパス,(伊):伊那キャンパス,(上):上田キャンパス,(教):長野(教育)キャンパス

36.総合理工学専攻 教員一覧

【ファイバー工学分野】

ユニット	氏名	職名	キャンパス	e-mail (~shinshu-u.ac.jp)
バイオファイバー工学ユニット	梶浦 善太	教授	上田	zkajiur@
バイオファイバー工学ユニット	森脇 洋	教授	上田	moriwaki@
バイオファイバー工学ユニット	大川 浩作	教授	上田	kohkawa@
バイオファイバー工学ユニット	平林 公男	教授	上田	kimio@
バイオファイバー工学ユニット	保地 眞一	教授	上田	shochi@
バイオファイバー工学ユニット	林田 信明	教授	上田	nobuaki@
バイオファイバー工学ユニット	田口 悟朗	教授	上田	gtagtag@
バイオファイバー工学ユニット	堀江 智明	教授	上田	horie@
バイオファイバー工学ユニット	塩見 邦博	教授	上田	shiomi@
バイオファイバー工学ユニット	山本 博規	教授	上田	ymmthrk@
バイオファイバー工学ユニット	松村 英生	教授	上田	hideo@
バイオファイバー工学ユニット	新井 亮一	准教授	上田	rarai@
バイオファイバー工学ユニット	白井 孝治	准教授	上田	kshirai@
バイオファイバー工学ユニット	野崎 功一	准教授	長野工学	knoza@
バイオファイバー工学ユニット	野川 優洋	准教授	上田	mnogawa@
バイオファイバー工学ユニット	野村 隆臣	准教授	上田	nomurat@
バイオファイバー工学ユニット	高島 誠司	准教授	上田	stakashi@
バイオファイバー工学ユニット	根岸 淳	准教授	上田	jnegishi@
バイオファイバー工学ユニット	橋本 朋子	准教授	上田	hashitomo@
バイオファイバー工学ユニット	小笠原 寛	准教授	上田	hogasawara@
バイオファイバー工学ユニット	矢澤 健二郎	准教授	上田	kenjiro_yazawa@
フロンティアファイバー工学ユニット	後藤 康夫	教授	上田	ygotohy@
フロンティアファイバー工学ユニット	森川 英明	教授	上田	morikaw@
フロンティアファイバー工学ユニット	大越 豊	教授	上田	yokoshi@
フロンティアファイバー工学ユニット	木村 睦	教授	上田	mkimura@
フロンティアファイバー工学ユニット	木村 裕和	教授	上田	hiro@
フロンティアファイバー工学ユニット	鈴木 正浩	教授	上田	msuzuki@
フロンティアファイバー工学ユニット	KIM KYOUNG HOU	教授	上田	khkim@
フロンティアファイバー工学ユニット	佐藤 高彰	教授	上田	takaakis@
フロンティアファイバー工学ユニット	田中 稔久	教授	上田	tanakat@
フロンティアファイバー工学ユニット	若月 薫	教授	上田	kaoruw@
フロンティアファイバー工学ユニット	平田 雄一	准教授	上田	yhirata@
フロンティアファイバー工学ユニット	坂口 明男	准教授	上田	aksakag@
フロンティアファイバー工学ユニット	高坂 泰弘	准教授	上田	kohsaka@
フロンティアファイバー工学ユニット	ZHU CHUNHONG	准教授	上田	zhu@
フロンティアファイバー工学ユニット	施 建	准教授	上田	shi@
フロンティアファイバー工学ユニット	富澤 鍊	助教	上田	rtomisawa@
スマート材料工学ユニット	杉本 涉	教授	上田	wsugi@
スマート材料工学ユニット	市川 結	教授	上田	musubu@
スマート材料工学ユニット	浅尾 直樹	教授	上田	asao@
スマート材料工学ユニット	渡邊 真志	教授	上田	mwatana@
スマート材料工学ユニット	KIM ICKSOO	教授	上田	kim@
スマート材料工学ユニット	西井 良典	教授	上田	nishii@
スマート材料工学ユニット	夏木 俊明	教授	上田	natsuki@
スマート材料工学ユニット	荒木 潤	教授	上田	jun@
スマート材料工学ユニット	藤本 哲也	教授	上田	tfujimo@
スマート材料工学ユニット	寺本 彰	准教授	上田	ateramo@
スマート材料工学ユニット	小駒 喜郎	准教授	上田	yogoma1@
スマート材料工学ユニット	小山 俊樹	准教授	上田	toshiki@
スマート材料工学ユニット	鈴木 大介	准教授	上田	d_suzuki@
スマート材料工学ユニット	渡辺 健太郎	准教授	上田	kentaro_watanabe@
スマート材料工学ユニット	村井 一喜	助教	上田	murai_kazuki@
スマート材料工学ユニット	小嶋 隆幸	助教	上田	tkojima@
スマート材料工学ユニット	西村 智貴	助教	上田	nishimura_tomoki@
スマート材料工学ユニット	佐野 航季	助教	上田	koki_sano@
感性・ファッション工学ユニット	上條 正義	教授	上田	kamijo@
感性・ファッション工学ユニット	高寺 政行	教授	上田	takatera@
感性・ファッション工学ユニット	吉武 康栄	教授	上田	yasu_yoshitake@
感性・ファッション工学ユニット	河村 隆	教授	上田	kawamura@
感性・ファッション工学ユニット	吉田 宏昭	教授	上田	hyoshida@
感性・ファッション工学ユニット	金井 博幸	教授	上田	kanai@
感性・ファッション工学ユニット	結城 匡啓	教授	長野教育	myuki@
感性・ファッション工学ユニット	佐古井 智紀	准教授	上田	t-sakoi@
感性・ファッション工学ユニット	堀場 洋輔	准教授	上田	horiba@
感性・ファッション工学ユニット	KIM KYOUNGOK	准教授	上田	kimko@

36.総合理工学専攻 教員一覧

ユニット	氏名	職名	キャンパス	e-mail (~shinshu-u.ac.jp)
感性・ファッション工学ユニット	梅館 拓也	准教授	上田	umedachi@
感性・ファッション工学ユニット	児山 祥平	准教授	上田	shouhei@
感性・ファッション工学ユニット	秋山 靖博	准教授	上田	akiyama_yasuhiro@

【エネルギー・システム工学分野】

エネルギー材料・デバイス工学ユニット	LIU XIAOXI	教授	長野工学	liu@
エネルギー材料・デバイス工学ユニット	伊東 栄次	教授	長野工学	eitoh@
エネルギー材料・デバイス工学ユニット	橋本 佳男	教授	長野工学	hashimt@
エネルギー材料・デバイス工学ユニット	佐藤 敏郎	教授	長野工学	labyam1@
エネルギー材料・デバイス工学ユニット	水野 勉	教授	長野工学	mizunot@
エネルギー材料・デバイス工学ユニット	林 卓哉	教授	長野工学	thaya@
エネルギー材料・デバイス工学ユニット	澤田 圭司	教授	長野工学	ksawada@
エネルギー材料・デバイス工学ユニット	太子 敏則	教授	長野工学	taishi@
エネルギー材料・デバイス工学ユニット	宮地 幸祐	准教授	長野工学	kmiyaji@
エネルギー材料・デバイス工学ユニット	上口 光	准教授	長野工学	johguchi@
エネルギー材料・デバイス工学ユニット	曾根原 誠	准教授	長野工学	makoto@
エネルギー材料・デバイス工学ユニット	竹内 健司	准教授	長野工学	ktakeuchi@
エネルギー材料・デバイス工学ユニット	田代 晋久	准教授	長野工学	tashiro@
エネルギー材料・デバイス工学ユニット	番場 教子	准教授	長野工学	nbamba@
エネルギー材料・デバイス工学ユニット	村松 寛之	准教授	長野工学	muramatsu@
エネルギー材料・デバイス工学ユニット	SAI MYO THAN HTAY	准教授	長野工学	myoth@
エネルギー材料・デバイス工学ユニット	佐藤 真平	准教授	長野工学	satos@
エネルギー材料・デバイス工学ユニット	浦上 法之	助教	長野工学	urakami@
エネルギー材料・デバイス工学ユニット	佐藤 光秀	助教	長野工学	mitsuhide@
情報通信システム工学ユニット	ASANO DAVID KEN	教授	長野工学	david@
情報通信システム工学ユニット	田中 清	教授	長野工学	ktanaka@
情報通信システム工学ユニット	丸山 稔	教授	長野工学	mmaruya@
情報通信システム工学ユニット	香山 瑞恵	教授	長野工学	kayama@
情報通信システム工学ユニット	和崎 克己	教授	長野工学	wasaki@
情報通信システム工学ユニット	AGUIRRE DURAN HERNAN EDUARDO	教授	長野工学	ahernan@
情報通信システム工学ユニット	笹森 文仁	教授	長野工学	fsasa@
情報通信システム工学ユニット	岡野 浩三	教授	長野工学	kozy_okano@
情報通信システム工学ユニット	KAWAMOTO PAULINE NAOMI	教授	長野工学	pauline@
情報通信システム工学ユニット	小林 一樹	教授	長野工学	kby@
情報通信システム工学ユニット	田久 修	教授	長野工学	takyu@
情報通信システム工学ユニット	藤原 洋志	教授	長野工学	fujiiwara@
情報通信システム工学ユニット	宮尾 秀俊	准教授	長野工学	hmiyao@
情報通信システム工学ユニット	橋本 昌巳	准教授	長野工学	mhasimo@
情報通信システム工学ユニット	西新 幹彦	准教授	長野工学	mikihiko@
情報通信システム工学ユニット	川原 琢也	准教授	長野工学	taku_kawahara@
情報通信システム工学ユニット	白井 啓一郎	准教授	長野工学	keiichi@
情報通信システム工学ユニット	小形 真平	准教授	長野工学	ogata@
情報通信システム工学ユニット	畑 秀明	准教授	長野工学	hata@
情報通信システム工学ユニット	岡崎 裕之	准教授	長野工学	okazaki@
情報通信システム工学ユニット	富田 孝幸	助教	長野工学	tomida@
機械システム工学ユニット	吉野 進人	教授	長野工学	masato@
機械システム工学ユニット	佐藤 運海	教授	長野教育	unkaist@
機械システム工学ユニット	榎 和彦	教授	長野工学	ksakaki@
機械システム工学ユニット	松原 雅春	教授	長野工学	mmatsu@
機械システム工学ユニット	千田 有一	教授	長野工学	chida@
機械システム工学ユニット	中村 正行	教授	長野工学	maxnaka@
機械システム工学ユニット	辺見 信彦	教授	長野工学	henmi@
機械システム工学ユニット	杉岡 秀行	教授	長野工学	hsugioka@
機械システム工学ユニット	酒井 悟	教授	長野工学	satorus@
機械システム工学ユニット	松中 大介	教授	長野工学	matsunaka@
機械システム工学ユニット	川久保 英樹	教授	長野教育	kawa-h@
機械システム工学ユニット	山崎 公俊	教授	長野工学	kyamazaki@
機械システム工学ユニット	藤井 雅留太	教授	長野工学	g_fujii@
機械システム工学ユニット	亀山 正樹	准教授	長野工学	kameyama@
機械システム工学ユニット	吉田 尚史	准教授	長野工学	t_yoshi@
機械システム工学ユニット	牛 立斌	准教授	長野工学	niulibn@
機械システム工学ユニット	松岡 浩仁	准教授	長野工学	vendome@
機械システム工学ユニット	中山 昇	准教授	長野工学	nobo@
機械システム工学ユニット	飯尾 昭一郎	准教授	長野工学	shouiiio@
機械システム工学ユニット	浅岡 龍徳	准教授	長野工学	asaoka@
機械システム工学ユニット	高山 潤也	准教授	長野工学	itakayama@

36.総合理工学専攻 教員一覧

ユニット	氏名	職名	キャンパス	e-mail (~shinshu-u.ac.jp)
機械システム工学ユニット	西村 正臣	准教授	長野工学	nishimu@
機械システム工学ユニット	鈴木 康祐	准教授	長野工学	kosuzuki@
機械システム工学ユニット	種村 昌也	助教	長野工学	tanemura@

【物質創成科学分野】

分子機能材料工学ユニット	新井 進	教授	長野工学	araisun@
分子機能材料工学ユニット	手嶋 勝弥	教授	長野工学	teshima@
分子機能材料工学ユニット	奥村 幸久	教授	長野工学	okumura@
分子機能材料工学ユニット	錦織 広昌	教授	長野工学	nishiki@
分子機能材料工学ユニット	菅 博幸	教授	長野工学	sugahio@
分子機能材料工学ユニット	樽田 誠一	教授	長野工学	staruta@
分子機能材料工学ユニット	是津 信行	教授	長野工学	zettsu@
分子機能材料工学ユニット	酒井 俊郎	教授	長野工学	tsakai@
分子機能材料工学ユニット	田中 秀樹	教授	長野工学	htanaka@
分子機能材料工学ユニット	久富 隆史	教授	長野工学	hisatomi@
分子機能材料工学ユニット	岡田 友彦	准教授	長野工学	tomohiko@
分子機能材料工学ユニット	山口 朋浩	准教授	長野工学	mtmouth@
分子機能材料工学ユニット	清野 竜太郎	准教授	長野工学	rkiyono@
分子機能材料工学ユニット	田中 伸明	准教授	長野工学	ntanaka@
分子機能材料工学ユニット	林 文隆	准教授	長野工学	fhayash@
分子機能材料工学ユニット	戸田 泰徳	准教授	長野工学	ytoda@
分子機能材料工学ユニット	清水 雅裕	准教授	長野工学	shimizu@
分子機能材料工学ユニット	影島 洋介	准教授	長野工学	kage_ysk@
分子機能材料工学ユニット	山田 哲也	助教	長野工学	yamadat@
分子機能材料工学ユニット	佐伯 大輔	助教	長野工学	dsaeki@
物質解析科学ユニット	天児 寧	教授	松本	tenjine@
物質解析科学ユニット	小竹 悟	教授	松本	odakesu@
物質解析科学ユニット	川村 嘉春	教授	松本	ykawamu@
物質解析科学ユニット	天谷 健一	教授	長野教育	tenya@
物質解析科学ユニット	樋口 雅彦	教授	松本	higuchi@
物質解析科学ユニット	宮丸 文章	教授	松本	miyamaru@
物質解析科学ユニット	長谷川 庸司	教授	松本	hasegaw@
物質解析科学ユニット	加藤 千尋	教授	松本	ckato@
物質解析科学ユニット	三澤 透	教授	松本	misawatr@
物質解析科学ユニット	奥山 和美	教授	松本	kazumi@
物質解析科学ユニット	中島 美帆	教授	松本	mnaka@
物質解析科学ユニット	安達 弘通	准教授	松本	adachih@
物質解析科学ユニット	志水 久	准教授	松本	hshimiz@
物質解析科学ユニット	神原 浩	准教授	長野教育	kmbara@
物質解析科学ユニット	川出 健太郎	助教	松本	kawade@
物質解析科学ユニット	高野 恵介	助教	松本	ksk_takano@
極限材料工学ユニット	宇佐美 久尚	教授	上田	hisayan@
極限材料工学ユニット	高橋 伸英	教授	上田	novhide@
極限材料工学ユニット	村上 泰	教授	上田	yasmura@
極限材料工学ユニット	森 正悟	教授	上田	shogmori@
極限材料工学ユニット	服部 義之	教授	上田	hattoriy@
極限材料工学ユニット	長田 光正	准教授	上田	osadam@
極限材料工学ユニット	福長 博	准教授	上田	fuku@
極限材料工学ユニット	嶋田 五百里	講師	上田	iori@
極限材料工学ユニット	瀧澤 辰洋	助教	上田	ttakiz1@
分子基盤科学ユニット	金 継業	教授	松本	jin@
分子基盤科学ユニット	勝木 明夫	教授	松本	akatuki@
分子基盤科学ユニット	大木 寛	教授	松本	h-ohki@
分子基盤科学ユニット	太田 哲	教授	松本	aohta@
分子基盤科学ユニット	飯山 拓	教授	松本	tiiyama@
分子基盤科学ユニット	巽 広輔	教授	松本	tatsumi@
分子基盤科学ユニット	伊藤 冬樹	教授	長野教育	fito@
分子基盤科学ユニット	野村 泰志	教授	上田	nomuray@
分子基盤科学ユニット	MCNAMEE CATHY ELIZABETH	教授	上田	mcnamee@
分子基盤科学ユニット	石川 厚	准教授	松本	ishikaw@
分子基盤科学ユニット	濱崎 亜富	准教授	松本	atom@
分子基盤科学ユニット	高橋 史樹	准教授	松本	takahashi@
分子基盤科学ユニット	二村 竜祐	助教	松本	ryu_f@

【山岳環境科学分野】

生物・大気・水環境科学ユニット	市野 隆雄	教授	松本	itinot@
-----------------	-------	----	----	---------

36.総合理工学専攻 教員一覧

ユニット	氏名	職名	キャンパス	e-mail (~shinshu-u.ac.jp)
生物・大気・水環境科学ユニット	高橋 耕一	教授	松本	koichit@
生物・大気・水環境科学ユニット	朴 虎東	教授	松本	pparkhd@
生物・大気・水環境科学ユニット	東城 幸治	教授	松本	ktojo@
生物・大気・水環境科学ユニット	國頭 恭	教授	松本	kunito@
生物・大気・水環境科学ユニット	宮原 裕一	教授	松本	miyabar@
生物・大気・水環境科学ユニット	井田 秀行	教授	長野教育	pida@
生物・大気・水環境科学ユニット	岩田 拓記	准教授	松本	hiwata@
生物・大気・水環境科学ユニット	牧田 直樹	准教授	松本	macky@
生物・大気・水環境科学ユニット	榊原 厚一	助教	松本	k_sakaki@
生物・大気・水環境科学ユニット	笠原 里恵	助教	松本	sk_urume@
生物・大気・水環境科学ユニット	廣田 昌大	助教	松本	hirota@
生物・大気・水環境科学ユニット	松本 卓也	助教	松本	matsumoto_t@
地殻環境科学ユニット	吉田 孝紀	教授	松本	kxyoshid@
地殻環境科学ユニット	廣内 大助	教授	長野教育	hirokuma@
地殻環境科学ユニット	山田 桂	教授	松本	katsurai@
地殻環境科学ユニット	村越 直美	教授	松本	nao@
地殻環境科学ユニット	齋藤 武士	教授	松本	saito@
地殻環境科学ユニット	竹下 欣宏	准教授	長野教育	takey@
地殻環境科学ユニット	常盤 哲也	准教授	松本	tokiwa@
地殻環境科学ユニット	森 宏	助教	松本	mori_hiroshi@
地殻環境科学ユニット	江島 輝美	助教	松本	tejima@
地殻環境科学ユニット	山田 昌樹	助教	松本	yamada@
環境共生学ユニット	岡野 哲郎	教授	伊那	teokano@
環境共生学ユニット	植木 達人	教授	伊那	tatueki@
環境共生学ユニット	泉山 茂之	教授	伊那	izumiys@
環境共生学ユニット	大窪 久美子	教授	伊那	zuiko@
環境共生学ユニット	安江 恒	准教授	伊那	yasue@
環境共生学ユニット	荒瀬 輝夫	准教授	伊那	tearase@
環境共生学ユニット	細尾 佳宏	准教授	伊那	hosoo@
環境共生学ユニット	小林 元	准教授	伊那	kobaafc@
環境共生学ユニット	上原 三知	准教授	伊那	ueharam@
環境共生学ユニット	鈴木 純	准教授	伊那	jsuzuki@
環境共生学ユニット	内川 義行	准教授	伊那	yuchi@
環境共生学ユニット	上村 佳奈	准教授	伊那	kamimura@
環境共生学ユニット	小野 裕	助教	伊那	hiroono@
環境共生学ユニット	城田 徹央	助教	伊那	shirota@
環境共生学ユニット	福山 泰治郎	助教	伊那	tjrfkym@

【生物・生命科学分野】

先端生命科学ユニット	久保 浩義	教授	松本	hkubo77@
先端生命科学ユニット	大神田 淳子	教授	伊那	johkanda@
先端生命科学ユニット	下里 剛士	教授	伊那	shimot@
先端生命科学ユニット	喜井 勲	教授	伊那	ikii@
先端生命科学ユニット	山田 明義	教授	伊那	akiyosh@
先端生命科学ユニット	齋藤 勝晴	教授	伊那	saitok@
先端生命科学ユニット	伊藤 靖夫	准教授	松本	ysoitoh@
先端生命科学ユニット	加藤 新平	准教授	伊那	shinpei@
先端生命科学ユニット	高木 優二	准教授	伊那	ytakagi@
先端生命科学ユニット	柴田 直樹	准教授	松本	oryzias@
先端生命科学ユニット	高梨 功次郎	准教授	松本	takanashi@
先端生命科学ユニット	鈴木 俊介	准教授	伊那	ssuzuki@
先端生命科学ユニット	中村 美紀子	准教授	松本	nakamuramikiko@
先端生命科学ユニット	松山 紀里子	准教授	松本	kirico@
先端生命科学ユニット	高谷 智英	准教授	伊那	ttakaya@
先端生命科学ユニット	細見 昭	助教	伊那	ahosomi@
先端生命科学ユニット	小笠原 慎治	助教	松本	shinzi@
食品生命科学ユニット	眞壁 秀文	教授	伊那	makabeh@
食品生命科学ユニット	千 菊夫	教授	伊那	kik1000@
食品生命科学ユニット	池田 正人	教授	伊那	m_ikeda@
食品生命科学ユニット	藤田 智之	教授	伊那	tfujita@
食品生命科学ユニット	片山 茂	教授	伊那	skata@
食品生命科学ユニット	瀧渦 康範	教授	伊那	hamauzu@
食品生命科学ユニット	河原 岳志	准教授	伊那	tkawafb@
食品生命科学ユニット	竹野 誠記	准教授	伊那	stakeno@
食品生命科学ユニット	中村 浩蔵	准教授	伊那	knakamu@
食品生命科学ユニット	田中 沙智	准教授	伊那	tanakasa@

36.総合理工学専攻 教員一覧

ユニット	氏名	職名	キャンパス	e-mail (~shinshu-u.ac.jp)
食品生命科学ユニット	三谷 豊一	助教	伊那	mitani@
食品生命科学ユニット	筒井 歩	助教	伊那	ayumi221@
生物資源科学ユニット	春日 重光	教授	伊那	skasuga@
生物資源科学ユニット	萩原 素之	教授	伊那	mothagi@
生物資源科学ユニット	平松 浩二	教授	伊那	seitaik@
生物資源科学ユニット	松島 憲一	教授	伊那	matuken@
生物資源科学ユニット	竹田 謙一	准教授	伊那	ktakeda@
生物資源科学ユニット	渡邊 修	准教授	伊那	wtnabe@
生物資源科学ユニット	上野 豊	准教授	伊那	ytkuyeno@
生物資源科学ユニット	阿久津 雅子	准教授	伊那	akutsu@
生物資源科学ユニット	松浦 朝菜	准教授	伊那	asana@
生物資源科学ユニット	根本 和洋	助教	伊那	knemoto@
生物資源科学ユニット	徳武 優佳子	助教	伊那	tokutake@

【数理・社会システム科学】

建築環境システム工学ユニット	土本 俊和	教授	長野工学	tsuch01@
建築環境システム工学ユニット	高村 秀紀	教授	長野工学	takam@
建築環境システム工学ユニット	寺内 美紀子	教授	長野工学	terauchi@
建築環境システム工学ユニット	羽藤 広輔	教授	長野工学	khato@
建築環境システム工学ユニット	岩井 一博	准教授	長野工学	iwaikaz@
建築環境システム工学ユニット	梅干野 成央	准教授	長野工学	iyano@
建築環境システム工学ユニット	柳瀬 亮太	准教授	長野工学	ryota@
建築環境システム工学ユニット	遠藤 洋平	准教授	長野工学	endii@
建築環境システム工学ユニット	中谷 岳史	助教	長野工学	t-nakaya@
建築環境システム工学ユニット	松田 昌洋	助教	長野工学	mat@
水環境・土木システム工学ユニット	吉谷 純一	教授	長野工学	yoshitani@
水環境・土木システム工学ユニット	梅崎 健夫	教授	長野工学	umezaki@
水環境・土木システム工学ユニット	小松 一弘	教授	長野工学	k_koma@
水環境・土木システム工学ユニット	松本 明人	准教授	長野工学	amatsu1@
水環境・土木システム工学ユニット	河村 隆	准教授	長野工学	t_kawa@
水環境・土木システム工学ユニット	高瀬 達夫	准教授	長野工学	ttakase@
水環境・土木システム工学ユニット	小山 茂	准教授	長野工学	koyama@
水環境・土木システム工学ユニット	豊田 政史	准教授	長野工学	mtoyo@
水環境・土木システム工学ユニット	近広 雄希	助教	長野工学	chikahiro@
水環境・土木システム工学ユニット	森本 瑛士	助教	長野工学	emorimoto@
数理情報システム科学ユニット	栗林 勝彦	教授	松本	kurimath@
数理情報システム科学ユニット	高野 嘉寿彦	教授	松本	ktakano@
数理情報システム科学ユニット	谷内 靖	教授	松本	taniuchi@
数理情報システム科学ユニット	玉木 大	教授	松本	rivulus@
数理情報システム科学ユニット	花木 章秀	教授	松本	hanaki@
数理情報システム科学ユニット	TRUSHIN IGOR	教授	松本	trushin@
数理情報システム科学ユニット	大野 博道	教授	長野工学	h_ohno@
数理情報システム科学ユニット	境 圭一	教授	松本	sakaik@
数理情報システム科学ユニット	XIE BIN(謝 賓)	教授	松本	bxie@
数理情報システム科学ユニット	乙部 巖己	准教授	松本	otobe@
数理情報システム科学ユニット	片長 敦子	准教授	松本	katanaga@
数理情報システム科学ユニット	昆 万佑子	准教授	長野教育	mayuko.k@
数理情報システム科学ユニット	佐々木 格	准教授	松本	isasaki@
数理情報システム科学ユニット	中山 一昭	准教授	松本	fracta1@
数理情報システム科学ユニット	和田 堅太郎	准教授	松本	kwada@
数理情報システム科学ユニット	鈴木 章斗	准教授	長野工学	akito@
数理情報システム科学ユニット	松澤 泰道	准教授	長野教育	myasu@
数理情報システム科学ユニット	宮西 吉久	准教授	松本	miyanishi@
数理情報システム科学ユニット	田中 康平	准教授	松本	tanaka@
数理情報システム科学ユニット	福田 一貴	講師	長野工学	i_fukuda@
数理情報システム科学ユニット	佐倉 弘祐	助教	長野工学	kosuke_sakura@

37.規則・規程

- 信州大学大学院総合医理工学研究科学位論文審査及び最終試験の評価基準.....65
- 信州大学大学院総合医理工学研究科総合理工学専攻及び生命医工学専攻3年制コースにおける博士の学位に関する取扱細則.....66

次に掲げる規程等については、国立大学法人信州大学規則集を参照してください。

<http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/regulations/>

- 信州大学大学院学則
- 信州大学学位規程
- 信州大学大学院総合医理工学研究科規程
- 信州大学における学生の懲戒に関する規程／信州大学における学生の懲戒に係るガイドライン
- 学籍上の氏名及び性別に関する取扱要項
- 信州大学における授業の出席に関する要項

次に掲げる取扱、要項等については、eALPSを参照してください。

<https://acsu.shinshu-u.ac.jp/ActiveCampus/>

eALPS →年度共通サイト[学部・研究科共通] →総合医理工学研究科_掲示板

- 信州大学大学院総合医理工学研究科総合理工学専攻及び生命医工学専攻（3年制コース）長期履修制度に関する内規
- 信州大学大学院総合医理工学研究科他の大学院等における研究指導に関する取扱要項
- 信州大学大学院総合医理工学研究科転専攻等に関する申合せ

信州大学大学院総合医理工学研究科（博士課程）
学位論文審査及び最終試験の評価基準

学位審査には、学位論文の提出を必要とする。所定の単位を修得し、学位論文を提出した者に対して、学位論文の審査と最終試験を行う。

学位論文の認定基準

各専攻、分野において、以下のとおり定める。

【医学系専攻医学分野、生命医工学専攻 4 年制コース】

1. 学位論文は、原則として学位論文申請者の英文原著論文であり、当該研究領域で権威ある邦文又は欧文雑誌に印刷公表されたものであること。
2. 学位論文申請者が、筆頭著者あるいは筆頭著者相当であること。ただし、共著論文の場合は、研究及び論文作成の中心的役割を果たしたことが指導教員により証明され、共著者により同意されたものであること。
3. 「権威ある邦文又は欧文雑誌」とは、以下のものとする。

- (1) IF (Impact Factor) 0.3 以上の国際的雑誌
- (2) 信州医学雑誌（ただし英文論文に限る。）
- (3) その他、医学系専攻医学分野又は生命医工学専攻 4 年制コースが認めた雑誌

【医学系専攻保健学分野】

1. 学位論文は、学位論文申請者単独の著作であり、当該研究領域で権威ある邦文又は欧文雑誌に印刷公表又は受理（掲載許可）されたものであること。
2. 次の要件をすべて満たす場合は、共著論文を学位論文とすることができる。
 - (1) 当該研究領域で権威ある邦文又は欧文雑誌に印刷公表又は受理（掲載許可）された論文であり、申請者が筆頭著者であること。
 - (2) 研究及び論文作成の中心的役割を果たしたことが指導教員により証明され、共著者により同意されたものであること。
3. 「権威ある邦文又は欧文雑誌」とは、以下のものとする。
 - (1) IF (Impact Factor) がついている英文雑誌
 - (2) 信州医学雑誌（ただし英文論文に限る。）
 - (3) その他、医学系専攻保健学分野が認めた雑誌

【総合理工学専攻、生命医工学専攻 3 年制コース】

1. 学位論文の基礎となる原著論文（以下「原著論文」という。）が筆頭著者又は主著者（原著論文の内容に最も貢献した著者）として、査読制度が確立されている学術雑誌に所定の編数以上掲載又は掲載予定（印刷中あるいは掲載許可済み）であること。
2. 前項に定める「学術雑誌」は、以下のものとする。

- (1) Journal Citation Reports, Scimago Journal & Country Rank もしくは J-STAGE の最新版に掲載されたジャーナル及び出版社、または日本学術会議協力学術研究団体の発行する学会誌
- (2) 総合理工学専攻又は生命医工学専攻 3 年制コースが認めたジャーナル
3. 認定基準の詳細については、各分野、各ユニット又は各コースの取り決めに拠るものとする。

最終試験の評価基準

最終試験は、学外審査委員を含む学位審査委員会のもとで公開の口頭試問により行い、次の基準により評価する。

1. 研究の目的・方法・結果および考察について十分に理解し、明確に説明できること。
2. 研究の内容について提起される質問について、論理的に説明できること。
3. 研究の将来展望について論述できること。
4. 当該研究分野に関する最先端の知識を有すること。
5. 関連する研究分野に関する基礎的な知識を有すること。

附則

この基準は、平成 30 年 4 月 1 日より施行する。

附則

この基準は、令和元年 5 月 9 日より施行する。

附則

この基準は、令和元年 7 月 1 日より施行する。

信州大学大学院総合医理工学研究科総合医理工学専攻及び生命医工学専攻3年制コースにおける博士の学位に関する取扱細則

第1章 総則 (趣旨)

第1条 信州大学大学院総合医理工学研究科総合医理工学専攻及び生命医工学専攻3年制コース（以下「専攻等」という。）における博士の学位に関する取扱いは、信州大学大学院学則（平成16年信州大学学則第2号）、信州大学学位規程（平成16年信州大学規程第19号）（以下「学位規程」という。）及び信州大学大学院総合医理工学研究科規程（平成30年信州大学規程第289号）に定めるもののほか、この細則の定めるところによる。

(定義)

- 第2条 この細則において「課程申請者」とは、学位規程第5条第1項の規定により博士の学位論文の審査を申請する者をいう。
- 2 この細則において「論文申請者」とは、学位規程第5条第2項の規定により博士の学位を申請する者をいう。
- 3 この細則において、「研究指導教員」とは、信州大学大学院総合医理工学研究科総合医理工学専攻及び生命医工学専攻3年制コースにおける担当教員選考細則（以下「選考細則」という。）第4条第3項第1号に定める研究指導教員をいう。
- 4 この細則において、「研究指導補助教員」とは、選考細則第4条第3項第2号に定める研究指導補助教員をいう。
- 5 この細則において、「主指導教員」とは、研究指導教員のうち課程申請者を主として担当している指導責任者をいう。
- 6 この細則において、「副指導教員」とは、研究指導教員のうち課程申請者を副として担当している指導者をいう。

第2章 課程修了による学位授与

(学位論文の提出資格)

第3条 専攻等に在学する者で学位論文の審査を受けることができる者は、専攻等2年以上在学し、修了に必要な単位数以上を修得し、かつ専攻内予備審査による学位論文の申請資格の認定を受けたものとする。ただし、在学期間に関しては、「履かれた研究業績」を上げた者については、博士課程に少なくとも1年は在学又は学位見込みであること（修士課程（他大学院も含む）を修了した者）にあっては、修士課程の在学期間（上限2年）を含めて3年以上在学又は学位見込みであること。

(論文受理の専攻内予備審査)

第4条 専攻等に在学する者で、学位論文の審査を希望するものは、その申請に先立ち、専攻内予備審査（以下「予備審査」という。）を受けなければならない。

(予備審査の申請)

第5条 予備審査を申請する者（以下「予備審査申請者」という。）は、次の書類の提出により、主指導教員を経て所属する分野の分野長（以下「分野長」という。）に申請しなければならない。

- 一 博士学位論文予備審査願（別紙様式第1号） 1部
- 二 博士学位論文の草稿 所定の部数
- 三 博士学位論文要旨の草稿（別紙様式第2号の1） 所定の部数
- 四 発表論文目録（別紙様式第3号）及び別刷 所定の部数
- 五 その他参考論文等 所定の部数
(予備審査の付託)

第6条 分野長は、予備審査の申請があった論文について、ユニット長又は3年制コース長（以下「ユニット長等」という。）に論文の予備審査を付託する。ユニット長等は、予備審査委員会を設定し、予備審査委員会は、当該論文が学位授与の審査に値するか否かを審査し、論文受理の可否及び博士の学位に付記する専攻分野の名称について検討及び指導するものとする。

(予備審査の申請時期)

第7条 予備審査申請者が、第5条による申請時期は、原則として学位授与申請時期の2か月前とし、各専攻長が決める。

(予備審査委員会)

第8条 予備審査委員会は、主指導教員及び主指導教員が選定する本研究科の研究指導教員2名以上をもって組織する。

2 予備審査委員として必要があるときは、前項に本研究科の研究指導補助教員並びに他の大学院又は研究機関等の教員等を加えることができる。

3 予備審査委員会に委員長を置き、委員の中から選出する。このとき、主指導教員を審査委員長にすることができるとする。

(予備審査結果の報告)

第9条 予備審査委員会は、予備審査終了後、予備審査結果報告書（別紙様式第4号）及び予備審査委員全員の予備審査結果審査委員報告書（別紙様式第5号）（以下、「予備審査結果報告書等」という。）をユニット長等に提出する。

2 ユニット長等は、予備審査の結果について、総合理工学専攻はユニット会議を、生命医工学専攻3年制コースは分野3年制コース会議（以下「ユニット会議等」という。）において審議する。

(キャンパス博士課程教員会議の審議)

第10条 ユニット長等は、前条第2項において承認後、予備審査結果報告書等を、信州大学大学院総合医理工学研究科総合医理工学専攻の委員会等の組織及び運営に関する内規第18条及び信州大学大学院総合医理工学研究科生命医工学専攻の委員会等の組織及び運営に関する内規第12条に定めるキャンパス博士課程教員会議（以下「博士課程教員会議」という。）に提出するものとする。

2 前項により予備審査報告書等の提出を受けた博士課程教員会議は、当該キャンパ

スにおける予備審査について、適正に行われたか否かについて審議する。

3 前項の審議の結果、適正に行われているものと判断した場合は、当該キャンパスの博士課程教員会議議長（以下「議長」という。）は、分野長にその旨を報告するものとする。

4 第2項の審議の結果、適正に行われていないものと判断した場合は、当該ユニット長等に報告する。

5 前項の報告を受けたユニット長等は、当該予備審査委員会に再審査の実施を通告する。

（予備審査結果の通知）

第11条 分野長は、主指導教員を通じて、予備審査の結果を、予備審査申請者に通知するものとする。

（審査委員候補者の選出）

第12条 予備審査委員長は、予備審査合格者に対し、学位論文審査委員候補者として3名以上の本研究科の研究指導教員及び1名以上の他の大学院又は研究機関等の教員等（以下「他大学院教員等」という。）を選出し、「博士学位論文（甲）審査委員候補者名簿」（別紙様式第6号の1）を作成すると共に、分野長を経て当該キャンパスの博士課程教員会議に提出するものとする。ただし、学位論文審査委員候補者には上記以外に本研究科の研究指導補助教員を加えることができる。

2 前項における他大学院教員等の選出にあたっては、当該候補者の研究歴を含む博士学位論文審査委員候補者履歴書（別紙様式第7号）も併せて提出する。

3 博士課程教員会議は、学位論文審査委員候補者について審議し、疑義が生じた場合は、予備審査委員長に説明を求めるものとする。

4 分野長は、前項による審議の結果、学位論文審査委員候補者が認められた場合は、博士学位論文（甲）審査委員候補者名簿（別紙様式第6号の1）を専攻長に提出するものとする。

（学位論文等の提出）

第13条 第6条の規定による予備審査の結果及び第10条第2項による審議の結果、論文受理が可能となった場合、課程申請者は次に掲げる書類（以下「学位申請書類等」という。）を主指導教員の確認の後、研究科長を経て学長に提出するものとする。

- | | | |
|---|------------------------|-------|
| 一 | 博士学位論文審査申請書（別紙様式第8号の1） | 1部 |
| 二 | 博士学位論文 1編 | 所定の部数 |
| 三 | 博士学位論文要旨（別紙様式第9号） | 所定の部数 |
| 四 | 発表論文目録（別紙様式第3号） | 所定の部数 |
| 五 | 履歴書（別紙様式第10号の1） | 所定の部数 |
| 六 | その他参考論文等 | 所定の部数 |
| 七 | 誓約書（別紙様式第11号） | 1部 |
| 八 | 承諾書（別紙様式第12号）※該当者のみ | 1部 |

（学位授与の申請時期）

第14条 学位授与の申請は、在学中に行うものとし、学位申請書等を提出する時期は、1月及び7月の所定の期間とする。

（審査委員会）

第15条 研究科長は、学位授与の申請のあった論文について審査するため、専攻長による審査委員候補者の推薦に基づき、審査委員を決定する。

2 前項において、専攻長は課程申請者、論文題目、主指導教員、副指導教員及び審査委員候補者の一覧を資料として提出するものとする。

3 審査委員会に、審査委員長を置き、論文及び博士の学位に付記する専攻分野の名称の審査等の総括を行うものとする。この場合、主指導教員を審査委員長にすることができる。

（公聴会）

第16条 学位論文の審査の一環として、公聴会を公開で開催するものとし、審査委員長はその司会者となる。

2 課程申請者は、公聴会で、論文の発表を行うものとする。

3 審査委員会は、公聴会の日程等を定め、課程申請者に通知するとともに、これを開催日の1週間前までに公示するものとする。

（学位論文の審査等）

第17条 審査委員会は、学位論文の審査、最終試験及び博士の学位に付記する専攻分野の名称の審査（以下、「学位論文の審査等」という。）を実施する。

2 審査委員長は、最終試験の実施に関し、必要な事項を課程申請者に通知するものとする。

3 最終試験は、論文の内容を中心として、これに関連ある科目について口頭試問により行う。

4 学位論文の審査及び最終試験の成績は、論文審査と最終試験を別に判定し、評価は合否で表す。

5 審査委員会は学位授与の可否に関する意見をまとめ、学位論文の審査等を終了するものとする。

（学位論文の審査等の結果の報告）

第18条 審査委員長は、学位論文の審査等が終了したときは、博士学位論文審査及び最終試験結果報告書（別紙様式第13号の1）及び審査委員全員の学位論文審査結果審査委員報告書（別紙様式第14号）（以下「学位論文審査報告書等」という。）を博士課程教員会議に提出するものとする。

2 博士課程教員会議は、当該キャンパスにおける博士学位論文審査について、適正に行われたか否かについて審議すると共に、学位論文審査報告書の記載内容の確認を行うものとする。

3 前項の審議及び確認の結果、適正に行われているものと判断した場合は、当該キャンパスの議長は、審査委員長にその旨を報告するものとする。

- 4 審査委員長は、前項による報告を受けた場合は、学位論文審査報告書等を専攻長に提出する。
- 5 第2項の審議及び確認の結果、適正に行われていないものと判断した場合は、当該委員長に説明を求めると共に、別刷等資料の提出及び記載内容の変更を求めることができ。
- 6 審議の結果、適正に行われていないものと判断した場合は、当該審査委員会に再審査の実施を通告する。
(学位論文の審査等の審議、議決)
- 第19条 専攻長は、前条第4項により学位論文審査報告書の提出を受けた場合、総合理工学委員会又は生命理工学委員会を開催し、課程申請者の学位論文の審査等の合格又は不合格について審議し、議決する。
- 2 専攻長は、前項の委員会に課程申請者、論文題目、主指導教員及び副指導教員、審査委員、論文審査の結果、最終試験の結果、博士の学位に付記する専攻分野の名称、学位論文の審査等の合格又は不合格に関する意見の一覧を審査資料として提出するものとする。
- 3 専攻長は、第1項により議決した場合は、研究科長に報告する。
- 4 研究科長は、前項の報告を受けた場合は、学位論文の審査等の審議の結果を学長に報告するものとする。
(学位授与等)

- 第20条 学長は、前条第4項の報告を受け、学位を授与すべき者には、総合理工学専攻の課程申請者には博士(学術)、博士(理学)、博士(工学)又は博士(農学)の学位記を、生命理工学専攻3年制コースの課程申請者には博士(工学)の学位記を授与し、学位を授与できない者にはその旨を通知する。
- 2 前項の学位記の授与は、3月、9月に行うものとする。

第3章 論文提出による学位授与 (学位論文の提出資格)

- 第21条 学位規程第5条第2項の規定により、博士課程を修めない者で、論文を提出し、博士(学術)、博士(理学)、博士(工学)、博士(農学)又は博士(農学)の学位を申請することができる者は、次の各号の一に該当するものとする。
 - 一 大学院の博士課程に所定の修業年限以上在学し、所定の単位を修得して退学した者。
 - 二 修士の学位を授与された後、4年以上の研究歴を有する者。
 - 三 学士の学位を授与された後、7年以上の研究歴を有する者。
 - 四 その他専攻等が認めた者。
- 2 前項第2号及び第3号の研究歴とは次の各号に掲げるものをいう。
 - 一 大学又は大学院の専任教員として研究に従事した期間
 - 二 大学又は大学院の研究生として研究に従事した期間

- 三 大学院の学生として在学した期間
- 四 各種の研究機関、団体、企業等において、研究者(専任)として研究に従事した期間
- 五 その他専攻等が認めた期間
(論文受理の専攻内下見審査)

第22条 論文申請者は、その申請に先立ち、学位論文の草稿の下見審査(以下「下見」という。)を受けなければならない。

2 論文申請者は、学位論文の草稿の内容に關係の深い学問領域をもつ専攻等の研究指導教員(以下「世話教員」という。)に、下見を申し出るものとする。
(下見願等の提出)

第23条 前条の世話教員は、学位論文の草稿の学問領域との関連性等を確認した上、学位授与の申請に先立ち、論文申請者に次の書類を提出させるものとする。

- | | | | |
|---|------------------------|----|-------|
| 一 | 博士学位論文草稿下見願(別紙様式第15号) | 1部 | |
| 二 | 博士学位論文の草稿 | | 所定の部数 |
| 三 | 博士学位論文要旨の草稿(別紙様式第2号の2) | | 所定の部数 |
| 四 | 発表論文目録(別紙様式第3号)及び別刷 | | 所定の部数 |
| 五 | 履歴書(別紙様式第10号の2) | | 所定の部数 |
| 六 | その他参考論文等 | | 所定の部数 |

2 世話教員は、前項の書類を世話教員の所属する分野長に提出するものとする。
(下見の申請時期)

第24条 論文申請者が、前条の書類を提出する時期は随時とする。

(下見の付託)

第25条 分野長は、学位論文草稿の下見の申請があった場合、下見委員会に下見を付託する。

(下見委員会)

第26条 下見委員会は、第8条の規定を準用し、「主指導教員」は「世話教員」に読み替える。

2 下見審査は、第6条及び第8条の規定を準用して世話教員の属する分野内(以下「世話分野」という。)で行うものとする。なお、生命工学専攻の場合は、当該分野の3年制コースで行うものとする。

(学位論文の提出資格の認定)

第27条 下見委員会は、論文申請者の学位論文提出資格の有無の審査の必要があると認めるときは、論文申請者に次の書類を提出させ、分野会議の議を経て、当該専攻長に学位論文提出資格審査委員会の開催を求めることができる。

- | | | |
|---|---------------------|----|
| 一 | 最終出身学校の卒業証明書又は修了証明書 | 1部 |
| 二 | 研究従事内容証明書(別紙様式第16号) | 1部 |
| 三 | その他必要と認められた書類 | 1部 |
- (学位論文提出資格審査委員会)

第28条 前条に規定する学位論文の提出資格の有無を審議するため、専攻等に学位論文提出資格審査委員会を置く。

2 学位論文提出資格審査委員会は、総合理工学専攻は専攻長及び各分野長を、生命医工学専攻3年制コースは生命工学分野及び生体医工学分野の3年制コース長及び各分野から研究指導教授各1名をもって組織する。

3 学位論文提出資格審査委員会は、下見委員長より申し出のあった学位申請希望者の学位論文提出資格の有無を判定し、その結果について専攻長を経て、下見委員会の委員長に通知するものとする。

(下見結果の報告)

第29条 下見委員会の委員長は、下見終了後、博士学位論文草稿下見結果報告書(別紙様式第17号)及び下見審査委員全員の下見審査結果審査委員報告書(別紙様式第18号)(以下「下見結果報告書等」という。)をユニット長等に提出する。

2 ユニット長等は、下見の結果についてユニット会議等において審議する。(キャンパス博士課程教員会議での審議)

第30条 ユニット長等は、前条第2項において承認後、下見結果報告書等を、博士課程教員会議に提出するものとする。

2 前項により下見結果報告書等の提出を受けた博士課程教員会議は、当該キャンパスにおける下見審査について、適正に行われたか否かについて審議する。

3 前項の審議の結果、適正に行われているものと判断した場合は、当該キャンパスの議長は、分野長にその旨を報告するものとする。

4 第2項の審議の結果、適正に行われていないものと判断した場合は、当該ユニット長等に報告する。

5 前項の報告を受けたユニット長等は、当該下見審査委員会に再審査の実施を通告する。

(下見結果の通知)

第31条 分野長等は、世話教員を通じて下見の結果を論文申請者に通知するものとする。

(審査委員候補者の選出)

第32条 第12条第1項～第4項に準ずるものとする。この場合において、第12条第1項及び第3項中「予備審査」とあるのは「下見審査」と、第12条第1項及び第4項中「別紙様式第6号の1」とあるのは「別紙様式第6号の2」と読み替えるものとする。

(学位論文等の提出)

第33条 第22条の規定により下見審査の結果、論文受理が可能となった場合、次に掲げる書類等を世話教員の確認の後、研究科長を経て学長に提出するものとする。

- 一 博士学位論文審査申請書(別紙様式第8号の2) 1部
(単位修得退学後1年以内に申請する場合は別紙様式第8号の3)
- 二 博士学位論文 1編 所定の部数

- 三 博士学位論文要旨(別紙様式第9号) 所定の部数
- 四 発表論文目録(別紙様式第3号) 所定の部数
- 五 履歴書(別紙様式第10号の2) 所定の部数
- 六 その他参考論文等 所定の部数
- 七 誓約書(別紙様式第11号) 1部
- 八 承諾書(別紙様式第12号) ※該当者のみ 1部
- 九 学位論文審査手数料
(学位授与の申請時期)

第34条 論文申請者が、学位授与申請書等を提出する時期は、1月、7月の所定の期間とする。

(審査委員会)

第35条 第15条第1項～第3項に準ずるものとする。

(公聴会)

第36条 第16条第1項～第3項に準ずるものとする。

(学位論文の審査等)

第37条 審査委員会は、学位論文の審査、学力の確認及び博士の学位に付記する専攻分野の名称の審査(以下、「論文申請者の学位論文の審査等」という。)を実施する。

2 審査委員長は、学力の確認の実施に関し必要な事項を、論文申請者に通知するものとする。

3 学力の確認は、論文申請者が博士課程を修了した者と同等以上の学力を有するかについて、次により確認するものとする。

一 論文の内容に関連ある世話分野の主要科目について、研究能力の有無を判定するため、口頭試問又は筆記試験を行う。

二 1種類の外国語について、専門の学術研究を行うに十分な外国語の素養があるかどうかを判定するため、口頭試問又は筆記試験を行う。

4 学位論文の審査及び学力の確認の成績は、論文審査と学力の確認を別に判定し、評価は合否で表す。

5 学力の確認の評価は、本条第3項第1号及び第2号を総合判定するものとする。

6 審査委員会は、学位論文の審査及び学力試問の合否に関する意見をまとめ、論文申請者の学位論文の審査等を終了するものとする。

(学力の確認の免除)

第38条 専攻等において、所定の修業年限以上在学し、所定の単位を修得し退学した者が、退学後3年以内に学位を申請するときは、前条の規定にかかわらず、学位課程第14条第2項の試問を免除する。

(課程修了による学位授与の規定の準用)

第39条 学位論文の審査等の結果の報告、審議、議決及び学位授与等については、第18条から第20条までの規定を準用する。この場合において、第18条第1項中「別紙

年 月 日

分野長 殿

年度入学
所 属
分野

学籍番号
ふりがな
氏 名

博士學位論文予備審査願

下記のとおり、學位論文の予備審査をお願いします。

記

- 1 論文題目（外国語の場合は、その和訳を併記すること。）
- 2 希望する博士の学位に付記する専攻分野の名称（該当する専攻分野の○を付すこと。）

学術 ・ 理学 ・ 工学 ・ 農学 ・ 医学 ・ 医工学

(添付書類) 博士學位論文の草稿 部
博士學位論文要旨の草稿 部
発表論文目録及び別刷 部
その他参考論文等 部

eAPRIN 履修確認 (学務担当)	
主指導教員（自署）	

様式第13号の1」とあるのは「別紙様式第13号の2」と読み替えるものとし、第19条第2項に規定する審査資料は、論文申請者、論文題目、最終学歴及び現職、世話分野及び世話教員、審査委員、論文審査の結果並びに学力の確認の結果に関する意見の一覧を資料とする。

第4章 雑 則
(學位論文等の公表)

第40条 博士の学位を授与した學位論文、博士論文の内容の要旨及び博士學位論文審査の結果の要旨は、學位規程第18条並びに第19条に基づき、信州大学機関リポジトリに登録し、公表するものとする。

附 則

この細則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

1 この細則は、平成31年4月1日から施行する。

2 総合工学系研究科に所定の修業年限以上在学し、所定の単位を修得後退学した者が、退学後3年以内に専攻等に学位を申請する場合は、第38条の規定を準用する。

附 則

この細則は、令和元年7月11日から施行する。

附 則

この細則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、令和3年8月5日から施行する。

附 則

この細則は、令和3年10月20日から施行する。

附 則

この細則は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、令和4年10月1日から施行する。

To the Head of the Division

博士学位論文要旨の草稿

Enrollment Year :

Division :

Student Id Number :

Full Name :

所属 専攻 分野

学籍番号

Request for the preliminary review

氏名

論文題目 (外国語の場合は、その和訳を併記すること。)

I would like to request Shinshu University to conduct the dissertation preliminary review as follows.

Note

- 1. Dissertation title.
(If the dissertation is written in a foreign language, Japanese translation should be included.)
- 2. Preferable name of the specialized research fields attached to the doctoral degree.
(To enclose the corresponding research fields listed below with a circle.)

要旨 (注：和文の場合は2,000字程度、英文の場合は1,000語程度にまとめること。)

PHILOSOPHY ・ SCIENCE ・ ENGINEERING ・
PHILOSOPHY in AGRICULTURAL ・ BIOMEDICAL ENGINEERING

(Attached Documents)

- Draft of a doctoral dissertation Copy (Copies)
- Draft of the doctoral dissertation summary Copy (Copies)
- List of published articles and Separate volumes Copy (Copies)
- Other reference articles, etc. Copy (Copies)

Main Advisor (Signature)	eAPRIN Course Taken Confirmation (Academic Affairs Staff)

(No. 2)

Attachment item 2-1 (for Kou) (Regarding Article 5)

所属 専攻 分野 氏名

(No.1)

Draft of the doctoral dissertation summary

Department :

Division :

Student Id Number :

Full Name :

Dissertation Title :

(If the dissertation is written in a foreign language, Japanese translation should be included.)

Summary (Note: Summarize about 1,000 English words.)

(No. 2)

別紙様式第2号の2 (乙用) (第23条関係)

(No. 1)

Department :
Full Name :

Division :

博士学位論文要旨の草稿

氏 名

論文題目 (外国語の場合は、その和訳を併記すること。)

要 旨 (注：和文の場合は2,000字程度、英文の場合は1,000語程度にまとめること。)

(No. 2)

Attachment item 2-2 (for Otsu) (Regarding Article 23)

氏 名

(No.1)

Draft of the doctoral dissertation summary

Full Name :

Dissertation Title :

(If the dissertation is written in a foreign language, Japanese translation should be included.)

Summary (Note: Summarize about 1,000 English words.)

発表論文目録

Full Name :

No. 1

報告番号	第 号	専攻分野	氏名
学位論文 (1) 題 目 ○○○○○○○○○○○ (外国語の場合は, その和訳を併記する。)			
(2) 印刷公表の方法及び時期			
論文発表 (1) 審査付発表論文 (別刷又は写を添付すること。)			
(レフエリー制のある学術雑誌)			
・著者名 (全員) ○○○○○○○○○ (題名) ○○学雑誌第○巻○頁～○頁 (20××年○月発行に掲載)			
・著者名 (全員) ○○○○○○○○○ (題名) ○○学雑誌第○巻 (20××年○月発行に掲載予定)			
(2) 審査付発表論文 (別刷又は写を添付すること。)			
(レフエリー制のある国際会議発表論文)			
・著者名 (全員) ○○○○○○○○○ (題名) プロシーディング第○巻○頁～○頁 (20××年○月発表)			

List of published articles

Report Number	Department/Division Name	Full Name
Dissertation		
(1) Title	0000000000	
(If this the dissertation is written in a foreign language, Japanese translation should be included)		
(2) Print Publication Method and Period		
Article Publication		
(1) Published Article(s) with Review (Attach separate volumes or copies.) (Academic Journal(s) with (a) Referee System(s))		
• Author Name(s) (All)	0000000000 (Title)	
0000 Journal, Volume 00, Pages 00 to 00 (Appeared in the journal published in MM, 20XX)		
• Author Name(s) (All)	0000000000 (Title)	
0000 Journal, Volume 00 (Appeared in the journal to be published in MM, 20XX)		
(2) Published Article(s) with Review (Attach separate volumes or copies.) (Article(s) Presented in (an) International Conference(s) with (a) Referee System(s))		
• Author Name(s) (All)	0000000000 (Title)	
Proceeding, Volume 00, Pages 00 to 00 (Presented in MM, 20XX)		

(3) 学位論文のテーマに直接関係しない発表論文

(レフエリー制のある学術雑誌及び国際会議発表論文)

- 著者名 (全員) 0000000000 (題名)
00学雑誌第0巻0頁~0頁 (20××年0月発行に掲載)
- 著者名 (全員) 0000000000 (題名)
プロシーディング第0巻0頁~0頁 (20××年0月発表)

(4) 審査なし発表論文

(レフエリー制のない学術雑誌, プロシーディング, 総説, 解説
口頭発表等)

(5) 作品等

(注) 「論文発表」の(1), (2)は, 学位論文に直接関係のあるもののみとする。

(注) 雑誌名の記載法は国際的な規則 (Web of Scienceの表記) に従う。

(注) 連名の記載法はカンマで区切り, andは記載しない。著者名は論文記載のまま表記する。

英語論文は姓名とも頭文字のみ大文字とする。例) Taro Nagano, Ichiro Wakasato

※作成時に不要であれば(注)を削除する。

予備審査結果報告書

(3) Published Article(s) that does not directly related to the dissertation (Academic Journal(s) or Article(s) Presented in (an) International Conference(s) with (a) Referee System(s))

- Author Name(s) (All) 0000000000 (Title)
0000 Journal, Volume 00, Pages 00 to 00 (Appeared in the journal published in MM, 20XX)
- Author Name(s) (All) 0000000000 (Title)
Proceeding, Volume 00, Pages 00 to 00 (Presented in MM, 20XX)

(4) Published Article(s) without Review (Academic Journal(s) without (a) Referee System(s), Proceeding(s), Review(s), Comment(s), Oral Presentations, etc.)

(5) Works of Art, etc.

(Note) Items (1) and (2) of the "Article Publication" must limit only those directly related to the dissertation.
(Note) Description method of the names of academic journals must be follow international rules (Web of Sciences system).
(Note) Joint author names must be separated with a comma, and must not use "and." Author names must be notated as they are listed in the articles. For articles written in English, the first letters of the first and last names of the authors must be capitalized. Example: Itaro Nagano, Ichiro Wakasato

* On completion of this document, unnecessary (Note) must be deleted.

予備審査出願者 専攻・分野・ユニット 学術番号・氏名 学位論文題目 (外国語の場合は、その和訳を併記すること。)	専攻 分野 ユニット
変更を要する場合は、変更後の学位論文題目を明記すること。	
予備審査の結果	
(注1) 学位論文題目の変更を要する場合は理由も明記する。 (注2) 早期修了の見込みである場合は、条件等を満たす予定である旨を記載する。 ※作成時に不要であれば(注)を削除する。	
博士の学位に付記する専攻分野の名称 (該当する専攻分野に○を付すこと。)	学 術 学 理 工 学 農 学 医 工 学

上記のとおり報告します。

年 月 日

予備審査委員長
同委員
同委員
同委員
同委員
同委員

予備審査委員会委員長 殿		年 月 日
予備審査委員会委員		
学位論文予備審査結果につきまして、以下のとおり報告します。		
予備審査論文甲申請者氏名		
論文題目		
<small>(□にレ点を記入願います。)</small>		
評価	<input type="checkbox"/> 本審査提出期限までにユニット・分野の審査基準の目安に合致する見込みがあることを確認した。 <input type="checkbox"/> 別刷等により内容確認が可能である。 <input type="checkbox"/> 論文内容が公表論文(本審査提出期限までに受理される見込みがあると確認した論文を含む。)に基づいて作成されている。	
	判定	博士の学位に付記する名称は、 <input type="checkbox"/> 学術 <input type="checkbox"/> 理学 <input type="checkbox"/> 工学 <input type="checkbox"/> 農学 (総合理工学専攻の時) <input type="checkbox"/> 医工学 (生命医工学専攻の時) が適当である。
コメント (良い点、課題・要望などを詳細に400字程度で記入願います。但し、400字を越えても構いません。記入欄が不足する場合は任意の別紙に記入願います。)		

年 月 日

博士學位論文(甲) 審査委員候補者名簿

分野長

課程申請者			
学位論文審査委員候補者			
区分	所属(専攻・分野・ユニット)	職名	氏名
委員長			
委員			
外部委員			

備考 所属欄には専攻、分野、ユニット名を記入してください。また、外部審査委員の所属(研究科・専攻・部門等)も所属欄に記入してください。

年 月 日

博士学位論文(乙)審査委員候補者名簿

分野長 _____

論文申請者		学位論文審査委員候補者		
区分	所属(専攻・分野・ユニット)	職名	氏名	
委員長				
委員				
外部委員				

備考 所属欄には、専攻、分野、ユニットを記入してください。また、外部審査委員の所属(研究科・専攻・部門等)も所属欄に記入してください。

博士学位論文審査委員候補者履歴書

ふりがな 氏名			男・女
生年月日	年 月 日		
現職			
最終取得学位	年 月		
国籍	(外国人のみ記入)		
現住所	都 道 市 町	府 県	村 区
大学院博士課程の研究指導の資格【大学院の教員のみ記入】		有 ・ 無	
最終学歴・職歴・主要な研究テーマ(※)			

※直近10年以内の主要な研究テーマを簡条書きで記載してください。(外国人の場合は、上記内容を含めた任意様式とする。)

Attachment item 7 (Regarding Articles 12-2)

Note: Passages in red should be either modified and changed to black or deleted prior to submission.

別紙様式第8号の1 (甲用) (第13条関係)

年 月 日

博士學位論文審査申請書

博士學位論文審査委員候補者履歴書

PhD Dissertation Evaluation Committee Candidate Curriculum Vitae

Name:

信州大学長

殿

Sex: Male Female

Date of Birth:

年度入学

信州大学大学院総合医理工学研究科

専攻
分野

Current Occupation:

本籍 (都道府県名)

※ 留学生は国籍を記入

学籍番号

申請者

Nationality:

Current Address:

このたび、信州大学学位規程第5条第1項の規定により、博士()の学位を受けたいので、下記の書類を提出いたしますから、御審査くださるよう申請いたします。

Final degree: Date of issue, degree title, name of issuing university

記

Professional Experiences:

MM/YYYY – MM/YYYY ○○○○ (Enter Professional Experiences with time period)

MM/YYYY – MM/YYYY ○○○○ (Enter Professional Experiences with time period)

Main research themes (Within the last 10 years) :

Please list "Main Research Themes" within the last 10 years.

博士學位論文
部 (うち正本1部)
博士學位論文要旨
部
発表論文目録
部
履歴書
部
その他参考文献等
部

博士學位論文審査申請書

Date: YYYY/MM/DD

年 月 日

Doctoral dissertation review application

信州大学長 殿

To the President of Shinshu University

本籍 (都道府県名) ※外国人は国籍
現住所
氏 名

Enrollment Year :
Shinshu University Graduate School of Medicine,
Science, and Technology

Department :

Division :

Registered Domicile (Prefecture Name) :

* For foreign students, indicate nationality

Student Id Number :

Full Name :

このたび、信州大学学位規程第5条第2項の規定により、博士()の学位を受けたいので、下記の書類に審査手数料57,000円を添え提出いたしますから、御審査くださるよう申請いたします。

記

博士學位論文 部 (うち正本1部)
博士學位論文要旨 部
発表論文目録 部
履歴書 部
その他参考文献等 部

In order to receive a doctoral degree (), as I hereby submit the following documents according to Article 5, Paragraph 1 of the Shinshu University Degree Regulations, I would like to request to conduct the review.

	Note
Doctoral Dissertation	Copy (Copies) (1 original copy included)
Doctoral Dissertation Summary	Copy (Copies)
Published Article List	Copy (Copies)
Curriculum Vitae	Copy (Copies)
Other Reference Articles, etc.	Copy (Copies)

博士學位論文審査申請書

Doctoral dissertation review application

年 月 日

Date: YYYY/MM/DD

To the President of Shinshu University

信州大学長

殿

Registered Domicile (Prefecture Name) :

本籍 (都道府県名) ※外国人は国籍

* For foreign students, indicate nationality.

現住所

Current Address :

氏 名

Full Name :

このたび、信州大学学位規程第5条第2項及び第7条第3項の規定により、博士()の学位を受けたいので、下記の書類を提出いたしますから、御審査くださるよう申請いたします。

To receive a doctoral degree () according to Article 5, Paragraph 2. of the Shinshu University Degree Regulations, I hereby submit the following documents with the review fee of 57,000 yen and request Shinshu University to conduct the dissertation review.

記

- 博士學位論文 部 (うち正本1部)
- 博士學位論文要旨 部
- 発表論文目録 部
- 履歴書 部
- その他参考文献等 部

Note

- Doctoral dissertation Copy (Copies) (1 original copy included)
- Doctoral dissertation summary Copy (Copies)
- List of published articles Copy (Copies)
- Curriculum vitae Copy (Copies)
- Other reference materials, etc. Copy (Copies)

Doctoral dissertation review application

Date: YYYY/MM/DD

To the President of Shinshu University

Registered Domicile (Prefecture Name) :

* For foreign students, indicate nationality.

Current Address :

Full Name :

To receive a doctoral degree () according to Article 5, Paragraph 2, and Article 7, Paragraph 3, of the Shinshu University Degree Regulations, I hereby submit the following documents and request Shinshu University to conduct the dissertation review.

Note

- Doctoral dissertation Copy (Copies) (1 original copy included)
- Doctoral dissertation summary Copy (Copies)
- List of published articles Copy (Copies)
- Curriculum vitae Copy (Copies)
- Other reference materials, etc. Copy (Copies)

博士學位論文要旨

専攻名
分野名
氏名

1. 題目 (外国語の場合は, その和訳を併記すること。)

2. 要旨 (注: 和文の場合は2,000字程度, 英文の場合は1,000語程度にまとめること。)

No

Doctoral dissertation summary

Department :
Division :
Full Name :

1. Dissertation Title
(If the dissertation is written in a foreign language, Japanese translation should be included.)

2. Summary (Note: Summarize about 1,000 English words.)

履 歴 書

報告番号	甲 第	号		
ふりがな氏名	男 女	本籍(都道府県名のみ, 留学生は国籍のみ)	都・道 府・県	
	年 月 日	日生(満 歳)		
現住所	〒			
区分	年 月 日	電話 ()	事 項	
学 歴	年 月 日	高等学校	卒業	
	年 月 日	大学	学部 学科	入学
	年 月 日	同		卒業
	年 月 日	信州大学院	研究科	専攻 入学
	年 月 日	同		修了
職 歴	年 月 日	信州大学大学院総合医理工学研究科	専攻	入学
	年 月 日	同		修了見込
	年 月 日			
	年 月 日			
	年 月 日			
	年 月 日			
	年 月 日			
	年 月 日			
	年 月 日			
	年 月 日			
学会等における活動	年 月 日			
賞 罰	年 月 日			
	年 月 日			
上記のとおり相違ありません。				
年 月 日 氏 名				

Curriculum vitae

Report Number	Kou No.	
Full Name :	Registered Domicile (Prefecture Name Only)	Prefecture
Date of Birth : YYYY MM DD	(Nationality Only for Foreign Students)	
Age : M . F		
Current Address		
Postal Code		
Phone () -		
	YYYY MM DD	Items
	YYYY MM DD	Graduated from High School
	YYYY MM DD	Enrolled in University, Faculty/Division
	YYYY MM DD	Graduated from the University
Academic History	YYYY MM DD	Enrolled in Graduate School, Department
	YYYY MM DD	Completed the Graduate School
	YYYY MM DD	Enrolled in Shinsu University Graduate School of Medicine, Science and Technology, Department of XXXX
	YYYY MM DD	Scheduled Completion
	YYYY MM DD	
	YYYY MM DD	
Occupational History	YYYY MM DD	
	YYYY MM DD	
	YYYY MM DD	
	YYYY MM DD	
	YYYY MM DD	
	YYYY MM DD	
Activities in Academic Societies	YYYY MM DD	
	YYYY MM DD	
	YYYY MM DD	
Rewards and Punishments	YYYY MM DD	
	YYYY MM DD	
The above descriptions are duly correct.		
	YYYY MM DD	Full Name

履 歴 書

報告番号	乙 第 号	男 女	本籍(都道府県名のみ, 留学生は国籍のみ)	都・道 府・県
ふりがな氏名	年 月 日 生 (満 歳)			
現住所	〒			
区分	年 月 日	事 項	電話 () -	
学 歴	年 月 日	高等学校	卒業	
	年 月 日	大学	学部	入学
	年 月 日	同		卒業
	年 月 日	大学大学院	研究科	専攻 入学
職 歴	年 月 日	同		修了
	年 月 日	大学大学院	研究科	専攻 入学
学 会 等 に お け る 活 動	年 月 日	同		単位修得後退学
	年 月 日			
	年 月 日			
	年 月 日			
	年 月 日			
	年 月 日			
	年 月 日			
	年 月 日			
	年 月 日			
	年 月 日			
賞 罰	年 月 日			
	年 月 日			
上記のとおり相違ありません。				
	年 月 日	氏 名		

Curriculum vitae

Report Number	Otsu No.
Full Name :	Registered Domicile (Prefecture Name Only) (Nationality Only for Foreign Students)
Date of Birth : YYYY MM DD	Sex : M · F
Current Address	
Postal Code	
Phone () -	
	Items
	Graduated from High School
	Enrolled in University, Faculty/Division
	Graduated from the University
Academic History	Enrolled in Graduate School, Department
	Completed the Graduate School
	Enrolled in Graduate School, Department
	Obtained the required credits and withdrew from the Graduate School
Occupational History	
Activities in Academic Societies	
Rewards and Punishments	
The above descriptions are duly correct.	
	YYYY MM DD Full Name

履 歴 書

報告番号	乙 第 号
ふりがな氏名	男 本籍(都道府県名のみ, 留学生は国籍のみ) 女
現住所	〒 年 月 日 生(満 歳) 電話 () -
区 分	年 月 日 事 項
学 歴	年 月 日 卒業
	年 月 日 〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科 入学
	年 月 日 同 卒業
	年 月 日 〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻 入学
	年 月 日 同 修了
職 歴	年 月 日 〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻 入学
	年 月 日 同 単位修得後退学
	年 月 日 〇〇株式会社, 〇〇研究部 〇〇研究室に配属 【研究員】
	年 月 日 同 中央研究所 〇〇研究部 〇〇研究室 【研究員】
	年 月 日 同 中央研究所 〇〇研究部 【主任研究員】
学 会 等 に お け る 活 動	年 月 日 同 中央研究所 【技師長補】
	年 月 日 同 〇〇事業本部 〇〇研究部 【〇〇課長】
	年 月 日
	年 月 日
	年 月 日
賞 罰	年 月 日
	年 月 日
上記のとおり相違ありません。	
	年 月 日 氏 名

[Example of Completing]

Curriculum vitae

Report Number	Otsu No.		
Full Name :	Registered Domicile (Prefecture Name Only) (Nationality Only for Foreign Students)	Prefecture	
Date of Birth : YYYY MM DD	Sex : M · F		
Current Address			
Postal Code			
Phone () -			
	YYYY MM DD	Items	
	YYYY MM DD	Graduated from High School	
	YYYY MM DD	Enrolled in University, Faculty/Division	
	YYYY MM DD	Graduated from the University	
Academic History	YYYY MM DD	Enrolled in Graduate School, Department	
	YYYY MM DD	Completed the Graduate School	
	YYYY MM DD	Enrolled in Graduate School, Department	
	YYYY MM DD	Obtained the required credits and withdrew from the Graduate School	
	YYYY MM DD	Assigned to Research Section, Research Room at Co. Inc. [Research Fellow]	
Occupational History	YYYY MM DD	Central Research Center, Research Section, Research Room [Research Fellow]	
	YYYY MM DD	Central Research Center, Research Section [Chief Research Fellow]	
	YYYY MM DD	Central Research Center [Deputy Chief Engineer]	
	YYYY MM DD	Business Headquarters, Research Section [Division Chief]	
Activities in Academic Societies	YYYY MM DD		
	YYYY MM DD		
	YYYY MM DD		
	YYYY MM DD		
Rewards and Punishments	YYYY MM DD		
	YYYY MM DD		
The above descriptions are duly correct.			
	YYYY MM DD	Full Name	

誓約書

年 月 日

信州大学長 殿

総合医理工学研究科

専攻

分野

学位申請者氏名 (自署)

学位論文名 :

私は、博士学位論文の提出にあたり、研究倫理に関する諸規範を遵守し、データや調査結果等の捏造・改ざん・盗用あるいは論文の二重投稿等の研究不正をしていないことを誓約いたします。

Letter of pledge

承 諾 書

年 月 日

信州大学長 殿

Date: YYYY/MM/DD

To the President of Shinshu University,

Graduate School of Medicine, Science and Technology

Department :

Division :

Degree Applicant's Full Name (Signature)

Dissertation

Title

I pledge that I followed various rules regarding research ethics, and that I did not commit any research misconduct, such as fabricating, falsifying, or plagiarizing the data and study results, or dual submission of the dissertation.

共著者氏名：上田 一郎 (※本人自署)

信州 太郎氏が、信州大学院総合医理工学研究科の博士學位申請に使用する論文のうち、私と共著 (共同研究) の下記部分については、**信州 太郎氏**の博士論文とすることを承諾します。

記

1. 信州 太郎, 上田 一郎, 常田 二郎, ○○○○○○に関する研究, ○○○○学会論文誌, Vol. 35, No. 7, pp. 1235-1245 (2020)
2. 信州 太郎, 上田 一郎, 信濃 三郎, ○○○○○○に関する研究, ○○○○学会論文誌, Vol. 46, No.8, pp. 2235-2245 (2021)

□次の理由により、共著(共同研究者)者に代わり、研究代表者が署名をする対応としたいことを申し立てます。

<p>上記のとおり確認しました。 主指導教員署名 _____</p>
--

(注意)

- ・[1] 著者名 (全員), [2] 題名, [3] 学術雑誌名, 巻数, 号数, 頁 (始頁-終頁), 発行西暦年をこの順序で記載すること。
- ・この記載内容は学術論文やその他証明書類等に明記されており確認できること。
- ・共著者氏名は連記も可能とする。
- ・複数論文の記載も可能とする。
- ・原則として共著者全員の承諾書を提出すること。共著者の死亡等、やむを得ない事情のある場合のみ、研究代表者の署名による申し立てを認める。
- ・代表者が署名する場合は、署名欄に「研究代表者」と記入し、申し立ての理由を記載すること。

Note: Passages in red should be either modified and changed to black or deleted prior to submission.

Letter of Acknowledgement

Date: YYYY/MM/DD

To: The President, Shinshu University

Name(Co-Author): _____ (※Signature)

I / We accept that the following part of the paper(s) for a Doctorate submitted by SHINSHU Taro, for which I / We am / are co-author (joint research), can serve as SHINSHU Taro's paper for Doctoral Program at Shinshu University.

- 1. Taro Shinshu, Ichiro Ueda, Jiro Tokida, A Study on ○○○○○○, Journal of ○○○○, Vol. 35, No. 7, pp. 1235 – 1245 (2020)
- 2. Taro Shinshu, Ichiro Ueda, Saburo Shinano, A Study on ○○○○○○, Journal of ○○○○, Vol. 46, No. 8, pp. 2235 – 2245 (2021)

For the following reasons, I wish to have the Principal Investigator sign on behalf of the Co-Author(s).

(Attention)

- [1] Author names, [2] Title [3] Journal name, Vol., No, Page and Year must be included.
- Descriptions in this letter must exactly match your academic papers and/or acceptance letters, etc.
- All authors whose names appear in the paper list above must sign a Letter of Acknowledgement.
- Authors may sign one Letter of Acknowledgement or separately sign copies of the same Letter of Acknowledgement.
- More than one paper can be listed on a Letter of Acknowledgement.
- Only under unavoidable circumstances, such as the death of a co-author, is a petition signed by the principal investigator acceptable.
- When the representative signs, write "Principal Investigator" in the signature line and state the reason for the allegation.

博士学位論文審査及び最終試験結果報告書

総合医理工学研究科長 殿

年 月 日

学位論文審査委員会委員長

学位論文審査及び最終試験の結果を下記のとおり報告します。

記

1. 課程申請者

専攻・分野・ユニット

専攻

分野

ユニット

学籍番号

氏名

2. 審査年月日 論文審査 年 月 日～ 年 月 日

最終試験 年 月 日

3. 学位論文審査及び最終試験の結果(「合格」・「不合格」で記入すること。)

(1) 学位論文審査 「 」

(2) 最終試験 「 」

4. 博士の学位に付記する専攻分野の名称

学 術 ・ 理 学 ・ 工 学 ・ 農 学 ・ 医 工 学

(該当する専攻分野に○を付すこと。)

5. 論文題目 (外国語の場合は、その和訳を併記すること。審査により題目を変更した場合は変更後の題目を記載すること。)

6. 学位論文の審査結果の要旨 (A4版1,500字程度。但し、1,500字を超えても構わないこととする。)

別紙1のとおり

7. 最終試験の結果の要旨 (A4版1,500字程度。但し、1,500字を超えても構わないこととする。)

別紙2のとおり

学位論文審査委員

区 分	氏 名
委員長	
委員	
委員	
委員	
外部委員	(所属機関・部局・職名：)

別紙様式第13号の1・別紙1（甲用）

（学位論文の審査結果の要旨・審査対象論文一覧）

氏名	
論文題目 （申請時） 外国語の場合は、その和訳を併記する。	
審査結果の要旨（1,500字程度。但し、1,500字を超えても構わないこととする。）	

（注1）論文題目に変更がある場合は、変更後の論文題目とその理由も明記する。
（注2）早期修了の場合は、条件等を満たした旨を記載する。
※作成時に不要であれば（注）を削除する。

別紙様式第13号の1・別紙1（甲用）

（学位論文の審査結果の要旨・審査対象論文一覧）

審査対象論文一覧	
論文発表（1）（レフェリー制のある学術雑誌）	
論文発表（2）（レフェリー制のある国際会議議事録）	

（注）発表論文目録の論文発表（1）及び（2）を掲載する。

（注）雑誌名の記載法は国際的な規則（Web of Scienceの表記）に従う。

（注）連名の記載法はカンマで区切り、andは使用しない。著者名は論文記載のまま表記する。英語論文は姓名とも頭文字のみ大文字とする。例）Taro Nagano, Ichiro Wakasato
※作成時に不要であれば（注）を削除する。

氏名	(注、最終試験の下記項目について1,500字程度で記載すること。但し、1,500字を超えても構わないこととする。) 1. 日時 2. 場所 3. 参加者 4. 内容 5. 結果
(注)「内容」は、論文内容を中心にこれに関連する科目について口頭試験により行う。 ※作成時に不要であれば(注)を削除する。	

博士学位論文審査及び最終試験結果報告書

年 月 日

総合医理工学研究所長 殿

学位論文審査委員会委員長

学位論文審査及び最終試験の結果を下記のとおり報告します。
記

1. 論文申請者 氏名

2. 審査年月日 論文審査 年月日～ 年月日 最終試験

3. 学位論文審査及び最終試験の結果(「合格」・「不合格」で記入すること。)
 - (1) 学位論文審査 「 」
 - (2) 最終試験 「 」

4. 博士の学位に付記する専攻分野の名称
学 術 ・ 理 学 ・ 工 学 ・ 農 学 ・ 医 工 学
(該当する専攻分野に○を付すこと。)

5. 論文題目 (外国語の場合は、その和訳を併記すること。審査により題目を変更した場合は変更後の題目を記載すること。)

6. 学位論文の審査結果の要旨 (A4版1,500字程度。但し、1,500字を超えても構わないこととする。)

7. 最終試験の結果の要旨 (A4版1,500字程度。但し、1,500字を超えても構わないこととする。)

別紙2のとおり

学位論文審査委員

区 分	氏 名	名
委員長		
委員		
委員		
委員		
外部委員	(所属機関・部局・職名:)	

別紙様式第13号の2・別紙1(乙用)

(学位論文の審査結果の要旨・審査対象論文一覧)

氏名	
論文題目 (申請時) 外国語の場合は、その和訳を併記する。	
審査結果の要旨(1,500字程度。但し、1,500字を超えても構わないこととする。)	

(注) 論文題目に変更がある場合は、変更後の論文題目とその理由も明記する。
※作成時に不要であれば(注)を削除する。

別紙様式第13号の2・別紙1(乙用)

(学位論文の審査結果の要旨・審査対象論文一覧)

審査対象論文一覧	
論文発表(1)(レフェリー制のある学術雑誌)	
論文発表(2)(レフェリー制のある国際会議議事録)	

(注) 発表論文目録の論文発表(1)及び(2)を掲載する。

(注) 雑誌名の記載法は国際的な規則(Web of Scienceの表記)に従う。

(注) 連名の記載法はカンマで区切り、andは使用しない。著者名は論文記載のまま表記する。英語論文は姓名とも頭文字のみ大文字とする。例) Taro Nagano, Ichiro Wakasato
※作成時に不要であれば(注)を削除する。

別紙様式第13号の2・別紙2(乙用)
(最終試験の結果の要旨)

氏名	<p>(注. 最終試験の下記項目について1,500字程度で記載すること。但し, 1,500字を超えても構わないこととする。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日時 2. 場所 3. 参加者 4. 内容 5. 研究のための学力 6. 英語力 7. 結果 <p>(注) 「内容」については, 次のとおり行う。 ・論文内容に関連ある当該専攻の主要科目について, 口頭試問又は筆記試験により行う。 ・専門の学術研究を行うに十分な英語の素養有無判定を口頭試問又は筆記試験により行う。 ・本研究科に所定の修業年限以上在学し, 所定の単位を修得し退学した者が, 退学後3年以内に学位を申請するに際し, 学位規程第14条第2項に定める上記期間等を免除する場合は, 信州大学大学院総合医理工学研究科専攻及び生命医工学専攻3年制コースにおける博士の学位に関する取扱細則第36条に基づき「注」を明記する。 ※作成時に不要であれば(注)を削除する。</p>
----	---

別紙様式第14号(甲用和文)(第18条関係)【学位論文審査結果審査委員報告書】

学位論文審査委員長 殿 学位論文審査委員会委員 _____ 学位論文審査結果につきまして, 以下のとおり報告します。	年 月 日
学位論文審査論文甲申請者氏名 _____	
論文題目 _____	
(□にレ点を記入願います。) □ 大学院修了者としての学力を有し, 学位論文として認められる。 □ 学位論文として認められない。	
コメント (判定の理由を詳細に400字程度で記入願います。但し, 400字を超えても構いません。記入欄が不足する場合は任意の別紙に記入願います。)	

学位論文審査委員会委員長 殿 学位論文審査委員会委員 _____ 学位論文審査結果につきまして、以下のとおり報告します。	年 月 日
学位論文審査論文乙申請者氏名	
論文題目 （□にレ点を記入願います。）	
評価 <input type="checkbox"/> 大学院修了者と同等の学力を有し、学位論文として認められる。 <input type="checkbox"/> 学位論文として認められない。	
コメント （判定の理由を詳細に400字程度で記入願います。但し、400字を越えても構いません。記入欄が不足する場合は任意の別紙に記入願います。）	

[Dissertation Evaluation Report]
Date:

To Chairperson of the Doctoral Dissertation Evaluation Committee

Doctoral Dissertation Evaluation Committee

Name of Examiner :

(Name) _____

Candidate's Name :

Dissertation Title :

Examiner's Evaluation: (please tick one)

- The candidate is competent as a PhD graduate, and the dissertation meets the requirements for approval.
- The dissertation is deemed unsatisfactory based on the reasons below.

Comments:

[200-400 words on the scientific, technical and/or practical contributions of the dissertation, and questions (if any) to be asked at the oral examination. Please add separate sheet(s) if needed.]

年 月 日

分野

Date: YYYY/MM/DD

世話教員 殿

ふりがな
氏 名

Division :
To the Caring Advisor

Full Name :

博士學位論文草稿下見願

Request for the doctoral dissertation draft preliminary inspection

下記のとおり，学位論文の草稿の下見をお願いします。

I would like to request Shinshu University to conduct a preliminary inspection of the doctoral dissertation draft as specified below.

記

1 論文題目(外国語の場合は，その和訳を併記すること。)

Note

2 希望する博士の学位に付記する専攻分野の名称(該当する専攻分野に○を付すこと。)

1. Dissertation title :
(If the dissertation is written in a foreign language, Japanese translation should be included.)

学術・理学・工学・農学・医学

2. Preferable name of the specialized research fields attached to the doctoral degree.
(To enclose the corresponding research fields listed below with a circle.)

(添付書類)
博士學位論文の草稿 部
博士學位論文要旨の草稿 部
発表論文目録及び別刷 部
履歴書 部
その他参考論文等 部

PHILOSOPHY ・ SCIENCE ・ ENGINEERING ・
PHILOSOPHY in AGRICULTURAL ・ BIOMEDICAL ENGINEERING

(Attached Documents)
Draft of a doctoral dissertation Copy (Copies)
Draft of the doctoral dissertation summary Copy (Copies)
List of published articles and Separate volumes Copy (Copies)
Curriculum vitae Copy (Copies)
Other reference articles, etc. Copy (Copies)

【単位修得退学後3年以内の申請者】 eAPRIN 履修確認(学務担当)
--

eAPRIN Course Taken Confirmation (Academic Affairs Staff)
--

[For applications who apply within 3 year after obtained the required credits and withdrew from the university]

研究従事内容証明書

氏名	
研究に従事していた機関、所属部局、職名等	
研究従事期間	年 月 日から 年 月 日
研究従事態様	1週平均 時間, 1日平均 時間
(研究題目・研究内容)	
(研究業績・その他参考事項)	

上記のとおり相違ないことを証明する。

年 月 日

指導者の所属部局、職、氏名

印

機関の長又は代表者

印

年 月 日

博士学位論文草稿下見結果報告書

氏名			
論文題目 (外国語の場合は、その和訳を併記すること。)			
変更を要する場合は、変更後の論文題目を明記すること。			
学位審査に値する	値しない		
申請学位	博士 ()		
下見委員会	所属専攻	職名	氏名
委員長			
委員			
委員			
委員			
委員			

別紙様式第18号 (第29条第1項関係) 【下見審査結果審査委員報告書】

<p style="text-align: center;">下見審査委員会委員長 殿</p> <p style="text-align: center;">下見審査委員会委員</p> <p style="text-align: center;">学位論文下見審査結果につきまして、以下のとおり報告します。</p>		年 月 日
<p style="text-align: center;">下見審査論文乙 申請者氏名</p>		
論文題目		
提出資格の有無	<input type="checkbox"/> 有 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 大学院の博士課程を所定の修業年限以上在学し、所定の単位を修得して退学した者 <input type="checkbox"/> 大学院の修士課程を修了した後、4年以上の研究歴を有する者 <input type="checkbox"/> 大学を卒業した後、7年以上の研究歴を有する者 <input type="checkbox"/> その他専攻等が認められた者 <input type="checkbox"/> 無	
論文審査	<input type="checkbox"/> 本審査提出期限までにユニット・分野の審査基準の目安に合致する見込みがあることを確認した。 <input type="checkbox"/> 別刷等により内容確認が可能である。 <input type="checkbox"/> 論文内容が公表論文(本審査提出期限までに受理される見込みがあると確認した論文を含む。)に基づいて作成されている。 <small>(□にレ点を記入願います。)</small>	
判定	<input type="checkbox"/> 学位論文審査に値する。 <input type="checkbox"/> 学位論文審査に値しない。	博士の学位に付記する名称は、 <input type="checkbox"/> 専攻分野 <input type="checkbox"/> 学術 <input type="checkbox"/> 理学 <input type="checkbox"/> 工学 <input type="checkbox"/> 農学 <input type="checkbox"/> 医学 <input type="checkbox"/> 工学 <input type="checkbox"/> 農学 <input type="checkbox"/> 医学 <input type="checkbox"/> 工学 が適当である。
コメント	<small>(□にレ点を記入願います。)</small> <small>(良い点、課題・要項点などを詳細に400字程度で記入願います。但し、400字を越えても構いません。記入欄が不足する場合は任意の別紙に記入願います。)</small>	

概要

(注) 論文題目の変更を要する場合の理由も明記する。
 ※作成時に不要であれば(注)を削除する。

